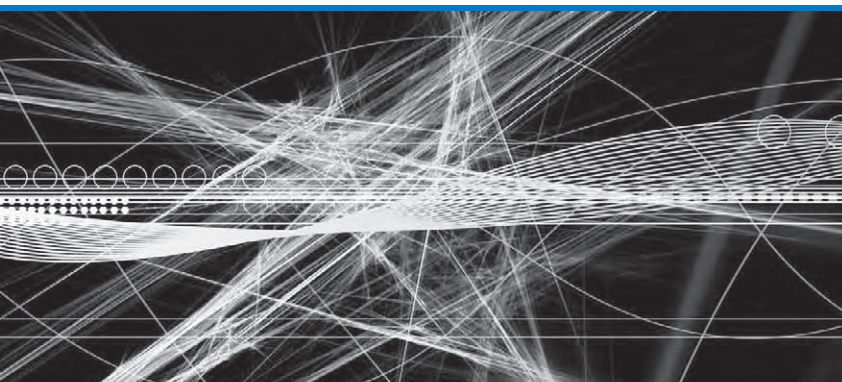


Pioneer

オーディオブック
AUDIO BOOK

応用
編



HDDナビゲーションマップ
TypeIV Vol.5
(for AVIC-ZHシリーズ)

carrozzeria

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能


付録


安全のために必ずお守りください

絵表示について


取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。


- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

 **注意** この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。

 このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。

 このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーチバック

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

警告

【使用方法】

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

【異常時の処置】

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

注意

【使用方法】



モニター部にヒーターの熱などを当てない



モニター部にエアコンのクーラーの冷気やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
 注意	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。
 メモ	メモ 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
戻る	タッチキーを表します。 例：戻るにタッチする
メニュー	ナビゲーション本体やリモコン、ステアリングリモコン（音声認識コントローラー）に いているボタンを表します。 例：メニューを押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→「リンクを付ける」(P54)
つづく→	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。



- ・本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- ・実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- ・本書に記載している製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。

目次

はじめに

安全のために必ずお守りください .. 2
安全上のご注意 3
本書の見かた 4
本書の表記のしかた 4
ご使用前に 知っておいていただきたいこと 8

基本操作

オーディオ基本操作 10
基本操作 10
AVメニューの操作 10
リスト操作 11
AVソースの切り替えかた 12
ソースを切り替える 12
ソースをOFFにする 12
画面の切り替えかた 13
AVソース画面と ナビ画面を切り替える 13
AVソース画面を切り替える 13

放送受信

ラジオを聞く 16
ラジオの放送を受信する 16
いろいろなラジオ操作のしかた 17
交通情報を聞く 18
交通情報を受信する 18
テレビを見る 19
テレビ放送を受信する 19
いろいろなテレビ操作のしかた 20
地上デジタルテレビを見る 22
地上デジタルテレビを見る 22
データ放送や番組表などを操作する 26
いろいろな操作のしかた 28
地上デジタルテレビを見る (GEX-P7DTVを接続した場合) 32
地上デジタルテレビを見る 32

ワンセグを見る (AVIC-ZH099) 34
ワンセグ放送を見る 34
いろいろな操作のしかた 36

音楽ディスク

音楽ディスクの再生 40
再生する 40
いろいろな再生操作のしかた 42

映像ディスク

映像ディスクの再生 46
再生する 46
操作タッチキーの表示のしかた 46
ディスクメニューの操作 (DVD) ... 47
ディスクの再生操作 48
いろいろな再生操作のしかた 53
DVDビデオの初期設定のしかた ... 55
初期設定をする 55
言語コード表 57

ミュージックサーバー

ミュージックサーバーについて ... 60
ミュージックサーバー (MSV) とは ... 60
録音できるメディアについて 60
ミュージックサーバーに録音する ... 61
録音についてのご注意 61
CD録音の制限について 61
タイトル表示について 61
CDを自動的に録音する 61
CDを手動で録音する 62
CDの1曲目だけを自動的に録音する ... 62
CD以外のソースを録音する 63
録音設定 63
ミュージックサーバーの聴きかた ... 65
グループ、プレイリスト、 トラックについて 65
再生する 65
再生を一時停止する 66
詳細情報を表示する 66
表示画面を切り替える 66

いろいろな再生操作のしかた	67
ヒットチャートプレイ	69
ヒットチャートについて	69
ヒットチャート順に再生する (ヒットチャートプレイ)	69
ヒットチャートプレイを中止して 通常再生に戻る	71
チャート情報を更新する	71
最新のヒットチャートを見る	72
リンクを付ける	72
フィーリングプレイ	74
フィーリングプレイとは	74
プレイモード選択画面を表示する ...	74
オートモードで再生する	74
マニュアルモードで再生する	75
フィーリングプレイを中止して 通常再生に戻る	76
フィーリングプレイの設定	76
リンクゲートプレイ	79
リンクゲートプレイで再生する	79
リンクゲートプレイを中止して 通常再生に戻る	80
プレイリストやグループを作成する ...	81
ユーザーグループに プレイリストを作成する	81
カスタマイズグループを作成する ...	82
プレイリストやグループ、 トラックを編集する	84
グループを編集する	84
プレイリストを編集する	86
トラックを編集する	90
タイトル情報を取得する	92
タイトル情報について	92
タイトル情報を取得する	92
メモリーデバイスから 楽曲を読み込む	94
メモリーデバイスから 楽曲を読み込む	94

その他の機器

iPod の操作のしかた	96
再生する	96
聴きたい曲を探す	96
いろいろな再生操作のしかた	97

マルチ CD の操作のしかた	98
再生する	98
いろいろな再生操作のしかた	99
登録した曲だけを再生する	100
エクスターナルユニットの 操作のしかた	102
基本操作	102
ビデオなどを見る	103
ビデオなどの見かた	103
外部機器(AUX)の音声を聞く ...	104

オーディオ設定

オーディオ設定のしかた	106
チャンネルモードを切り替える ...	106
2チャンネルモードの オーディオ設定	107
フェーダー/バランス	107
ソースレベルアジャスター	107
デジタルダイレクト	108
ダイナミックレンジコントロール ...	108
ダウン MIX	108
オートサウンドセッティング ...	109
サウンドセッティング (詳細設定)	109
マルチチャンネルモードの オーディオ設定	114
フェーダー/バランス	114
ソースレベルアジャスター	114
デジタルダイレクト	114
Dolby Pro Logic II	115
Neo: 6	116
ダイナミックレンジコントロール ...	117
ダウン MIX	117
オートサウンドセッティング ...	117
サウンドセッティング (詳細設定)	117
車に合わせて音場を自動で補正する (AUTO TA&EQ)	124
AUTO TA&EQ を行う前に	124
AUTO TA&EQ の設定方法	125

システム設定

システム設定のしかた	128
システム設定をする	128
AUTO TA&EQ	128

デジタルアッテネーター	128
録音設定	128
消音設定	128
ワイドモード	129
AV 入力設定	129
ガイド / ハンズフリー SP 設定 ...	130
オーディオ設定リセット	130
オートアンテナ・ACC 電源連動 ...	130
光デジタル入力設定	131
DivX VOD コード	131

その他の機能

AV スケジューラー	134
AV スケジューラーとは	134
スケジュールを作成する	134
予約したスケジュールを 確認・編集する	136
予約したスケジュールを消去する ...	136
画面を設定する	138
画質を調整する	138
ワイド画面の拡大方法を切り替える ...	138
画面の表示モードを切り替える ...	139
リアモニターを組み合わせる	141
リアモニターに表示される 映像について	141
タッチパネルのタッチ位置を調整する (タッチパネルキャリブレーション)	142

付録

再生できるディスクの種類	144
DVD に表示されているマークの意味 ...	145
ディスクの操作について	145
ディスクの構成について	146
DVD ビデオ	146
CD	146
WMA/MP3/AAC ディスクに ついて	147
フォルダーと WMA/MP3 および AAC ファイルについて	147
WMA とは?	148
MP3 とは?	148
AAC とは?	149
DivX とは?	149
Gracenote について	150

故障かな?と思ったら	151
共通項目	151
TV	152
FM/AM	152
DVD	153
CD, ROM (WMA/MP3/AAC) ...	154
ミュージックサーバー	154
地上デジタルテレビ	155
ワンセグ	157
メッセージと対処方法	159
共通項目	159
DVD、CD、 ROM (WMA/MP3/AAC)	159
ミュージックサーバー	160
iPod	160
地上デジタルテレビ	160
ワンセグ	162
索引	163
メニュー索引	163
用語索引	166

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

ご使用前に知っておいていただきたいこと

■安全走行のために

本機は、安全のため走行中にテレビやVTRなどの映像を見ることができないようになっています。(走行中は、映像の上に以下のようなメッセージが表示されます。)また、一部のメニュー操作はできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから、操作してください。

(例) DVDを見ようとしたとき



■リアモニターについて

リアモニター出力に後部座席専用のモニターを接続すれば、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リアモニター出力は、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中映像を見ることができる位置には、設置しないでください。

基本操作

オーディオ基本操作.....	10
基本操作.....	10
タッチ操作とリモコン操作の違いについて	10
AV メニューの操作.....	10
リスト操作.....	11
基本的なリストの操作.....	11
サイドメニューの操作.....	11
チェックリストの操作.....	11
AVソースの切り替えかた.....	12
ソースを切り替える.....	12
(SRC) ボタンで切り替える.....	12
AV ソース選択画面で切り替える.....	12
ソースを OFF にする.....	12
画面の切り替えかた.....	13
AV ソース画面とナビ画面を切り替える.....	13
AV ソース画面を切り替える.....	13

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

オーディオ基本操作

オーディオの基本操作について説明します。

基本操作

本機はタッチパネルとリモコンのどちらでも操作することができます。

タッチパネルで操作するときは、画面上のタッチキー（マークや項目など）にタッチします。

リモコンで操作するときは、ユニバーサルパッドの上下左右に触れることで操作し、画面上の項目を選んで**決定**を押します。

- 本書では、タッチキーでの操作を基本的に説明していますが、リモコンでも同様の操作を行うことができます。
- リモコン操作がタッチキーの操作と異なる場合は、「リモコン操作：○○」で表記しています。

■ タッチ操作とリモコン操作の違いについて

画面上に表示されるタッチキーのうち、銀色で表示されているキーはリモコンで選ぶことはできません。その場合は次のボタンを押して操作します。

タッチキー	リモコンボタン
	ユニバーサルパッド上/下

AV メニューの操作

AV メニューとは、オーディオや映像に関する設定や各機能の操作を行うためのメニューです。

1 AV ソース画面 (→ P12) で **メニュー**を押す

ソースがONの状態では**メニュー**を押します。



AV メニューが表示されます。

2 操作したい項目にタッチする



ソースメニュー

※ソースメニューの内容は、ソースごとに異なります。詳しくは、各ソースの説明ページをご覧ください。

AV 初期設定

オーディオ設定	オーディオ設定画面を表示する (→ P106)
システム設定	システム設定画面を表示する (→ P128)
スケジューラー	スケジューラー画面を表示する (→ P134)

- **メニュー**を閉じるには、**戻る**にタッチするかリモコンの**戻る**または**メニュー**を押します。

リスト操作

再生中などに表示されるリスト画面の操作について説明します。

■基本的なリストの操作



1 行送り

リストを上下に 1 行移動します。

タッチ操作	▲ ▼ にタッチする
リモコン操作	ユニバーサルパッドを上/下に操作する

ページ送り

一画面ずつ移動します。

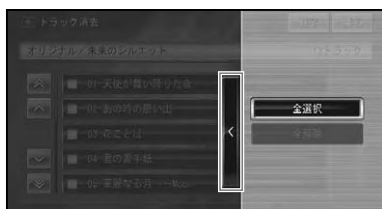
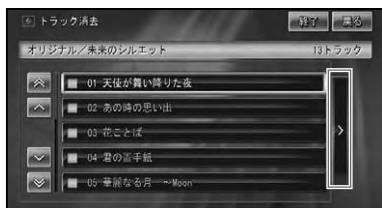
タッチ操作	⌂ ☰ にタッチする
リモコン操作	(別ルート)、(送り) を押す

タブ送り

タブ付きリストでは、選んだタブのリストに切り替わります。

タッチ操作	タブ(例: プレイリスト)にタッチする
リモコン操作	ユニバーサルパッドを左/右に操作する

■サイドメニューの操作



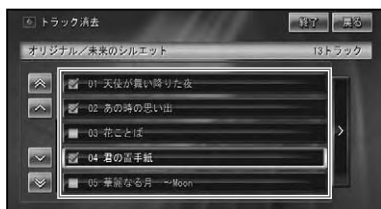
サイドメニュー

▶が表示されているときは、サイドメニューを表示できます。サイドメニューでは、リストの全選択や全解除などの操作をすることができます。

タッチ操作	▶ にタッチする
リモコン操作	ユニバーサルパッドを右に操作する

- サイドメニューを閉じるには、◀ にタッチするかユニバーサルパッドを左に操作します。

■チェックリストの操作



チェックリストでは、項目にタッチすると「✓」(チェックマーク)が表示され、選択中であることを示します。もう一度項目にタッチすると「✓」が消え、選択が解除されます。またチェックリストでは、サイドメニューを表示できるものがあり、サイドメニューから、**全選択**、**全解除**を操作することもできます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

AVソースの切り替えかた

CD、ミュージックサーバー、DVDなどの音源や映像のことをソースと呼びます。

- ナビゲーション画面のときにソースを切り替えると音声のみ切り替わります。**[NAVI/AV]**を押すとAVソース画面に切り替えることができます。→「画面の切り替えかた」(P13)
- 接続していないソースや、再生の準備ができていないソースには切り替わりません。

- 本機にワンセグチューナー「GEX-PO1DTV」を接続した場合は、エクスターナルユニット(→P102)として認識します。

ソースを切り替える

ソースの切り替えは、**[SRC]**で行う方法と、ソース選択画面から行う方法があります。

[SRC]ボタンで切り替える

1 **[SRC]**を押す

AVIC-ZH099G/ZH099

[SRC]を押すごとに、以下のように切り替わります。

CD/ROM/DVD-V/DivX → MSV(ミュージックサーバー) → FM → AM → TV → DTV(地上デジタルTV) → ワンセグ → iPod → M-CD(マルチCD) → VTR → AUX → EXT1 → EXT2 → 元に戻る

- AV入力設定(→P129)でVTRをONにしないと、VTRに切り替わりません。
- AV入力設定(→P129)でAUXをONにしないと、AUXに切り替わりません。
- 本機でアナログテレビ放送を受信するには、別売のアナログTVチューナー「GEX-PO3TV」が必要です。

AVIC-ZH009

[SRC]を押すごとに、以下のように切り替わります。

CD/ROM/DVD-V/DivX → MSV(ミュージックサーバー) → FM → AM → TV → DTV(地上デジタルTV) → iPod → M-CD(マルチCD) → VTR → AUX → EXT1 → EXT2 → 元に戻る

- AV入力設定(→P129)でVTRをONにしないと、VTRに切り替わりません。
- AV入力設定(→P129)でAUXをONにしないと、AUXに切り替わりません。

■ AVソース選択画面で切り替える

AVソース選択画面を表示して、ソースを直接選ぶことができます。

1 AVソース画面でソース名にタッチする

ソース名



2 お好みのソースにタッチする



選んだソースに切り替わります。

- 「TI(交通情報)」は、AVソース選択画面からのみ切り替えられます。

ソースをOFFにする

1 **[SRC]**を1秒以上押す

ソースがOFFになります。

もう一度**[SRC]**を押すと、OFFにする前のAVソース画面に戻ります。

- AVソース選択画面で**OFF**にタッチしても、ソースをOFFにすることができます。

画面の切り替えかた

AV ソース画面の切り替えかたについて説明します。

AV ソース画面とナビ画面を切り替える

ソースの音声はそのまま、画面だけナビゲーション画面と AV ソース画面を切り替えることができます。

1 NAVI/AV を押す

NAVI/AV を押すごとに、以下のように映像が切り替わります。

ナビゲーション画面



AV ソース画面



AV ソース画面を切り替える

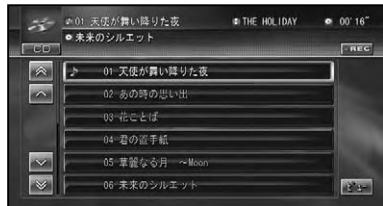
AV ソース画面の表示方法を切り替えることができます。

- MSV (ミュージックサーバー) の AV ソース画面の表示方法切り替えについては、「表示画面を切り替える」(→ P66) を参照してください。

1 AV ソース画面でビューにタッチする

タッチすることにより、画面表示が以下のように切り替わります。

通常リスト画面



リストオフ画面



オールオフ画面



- リストオフ画面およびオールオフ画面のときに画面にタッチすると、通常リスト画面に戻ります。
- 映像ソースのときは、映像画面に切り替わります。通常リスト画面を表示させるときは、映像画面にタッチします。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

放送受信

ラジオを聞く.....	16	データ放送や番組表などを操作する.....	26
ラジオの放送を受信する.....	16	リモコンで操作する.....	26
プリセットの種類を選ぶ.....	16	操作ボタン一覧.....	27
放送局の手動登録.....	16	操作タッチキーで操作する.....	27
いろいろなラジオ操作のしかた.....	17	いろいろな操作のしかた.....	28
バンドを切り替える.....	17	AVメニューを表示する.....	28
放送局の自動登録.....	17	放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン).....	28
交通情報を聞く.....	18	番組情報を取得する.....	28
交通情報を受信する.....	18	リストを切り替える.....	28
テレビを見る.....	19	機能設定を行う.....	28
テレビ放送を受信する.....	19	設定内容の詳細.....	29
プリセットの種類を選ぶ.....	19	ダウンロードの手順.....	31
放送局の手動登録.....	19	地上デジタルテレビを見る (GEX-P7DTVを接続した場合).....	32
いろいろなテレビ操作のしかた.....	20	地上デジタルテレビを見る.....	32
バンドを切り替える.....	20	バンドを切り替える.....	32
放送局の自動登録.....	20	サービスを切り替える.....	32
音声多重の切り替え.....	20	放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン).....	33
リストの切り替え.....	21	ワンセグを見る (AVIC-ZH099).....	34
アナログテレビ放送から デジタルテレビ放送への移行について.....	21	ワンセグ放送を見る.....	34
地上デジタルテレビ放送をご覧になるには.....	21	アイコン (画面に表示されるマーク) 一覧.....	34
地上デジタルテレビを見る.....	22	ワンセグの操作タッチキーについて.....	34
地上デジタルテレビを見る.....	22	プリセットの種類を切り替える.....	35
アイコン一覧.....	22	放送局を手動で登録する.....	35
地上デジタルテレビの 操作タッチキーについて.....	23	番組情報を表示する.....	35
プリセットの種類を切り替える.....	23	1つ前の放送に戻る.....	35
バンドを切り替える.....	23	バンドを切り替える.....	36
放送局を手動で登録する.....	24	音声を切り替える.....	36
受信可能な中継局を探す.....	24	字幕を切り替える.....	36
番組表を表示する.....	24	サービスリストからチャンネルを選ぶ.....	36
裏番組表を表示する.....	25	いろいろな操作のしかた.....	36
番組内容を表示する.....	25	AVメニューを表示する.....	36
サービスを切り替える.....	25	放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン).....	36
前回視聴していたサービスに切り替える.....	25	リストを切り替える.....	37
データ放送を見る.....	25	お知らせメッセージを表示する.....	37
映像を切り替える.....	26		
字幕を切り替える.....	26		
音声を切り替える.....	26		
サービスリストからチャンネルを選ぶ.....	26		

ラジオを聞く

ラジオの受信のしかたを説明します。

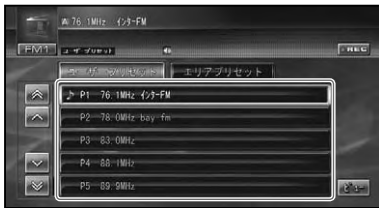
ラジオの放送を受信する

1 (SRC)を押してソースをFMまたはAMにする(→P12)

AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

- AVソース選択画面からソースを選ぶこともできます。(→P12)
- 受信をやめるには、ソースをOFFにします。(→P12)

2 受信したい放送局(周波数)にタッチする



本体またはリモコンで操作する場合：

▲/▼	リストの放送局順に送る
◀/▶	周波数を順に送る
◀/▶ (長押し)	受信できる放送局を自動的に探す (SEEK)

- 放送局がリスト表示されていても、現在の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。
- ステレオ放送を受信した場合は [STEREO] が表示されます。

プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが登録させた放送局(ユーザープリセット)を呼び出すか、ハードディスクに登録されている自車周辺の放送局(エリアプリセット)を呼び出すかを選びます。

1 ユーザープリセットまたはエリアプリセットにタッチする



- エリアプリセットに設定しておく、自車周辺の放送局がリストに表示され、簡単に放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

放送局の手動登録

ユーザープリセットメモリー(→前記)に、FM1とFM2、AM1、AM2に各6局まで、手動で登録させることができます(マニュアルプリセット)。

1 ユーザープリセットにタッチする

2 ◀/▶を押して登録させたい放送局を選ぶ

3 登録させたいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の放送局が、選んだプリセットに登録されます。

いろいろなラジオ操作のしかた

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します。

1 **メニュー**を押す

ソースごとのAVメニューが表示されます。

2 機能にタッチする



■ バンドを切り替える

本機ではソースごとに2つのバンドがあり、それぞれのバンドごとにメモリーを使い分けることができます。

1 AVメニューで **BAND** にタッチする

タッチすることにより、以下のように切り替わります。

FM1 ↔ FM2 (各6局)
AM1 ↔ AM2 (各6局)

- リモコンの **(BAND/ESC)** を押して、バンドを切り替えることもできます。

■ 放送局の自動登録

受信状態の良い放送局をユーザープリセットメモリーに自動的に登録させることができます。

1 AVメニューで **BSM** に2秒以上タッチする



中止 にタッチすると、自動登録を中止します。

自動登録が完了すると、ユーザープリセットに放送局が登録されます。

- 受信状態の良い放送局が登録可能数より少ない場合は、前の登録が残る場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

交通情報を聞く

幹線道路などで放送されている AM の交通情報の受信のしかたを説明します。



交通情報を受信する


1 AVソース選択画面(→ P12)で にタッチする



交通情報画面が表示され、前回聞いた周波数の交通情報を受信します。

2 / で周波数を切り替える

	1 620kHz にするとき
	1 629kHz にするとき

-  交通情報を受信しているときに、音量を調整すると、交通情報用の音量として設定することができます。別のソースに切り替えて音量を調整しても、次に交通情報を受信するときは、前回設定した音量で聞くことができます。

テレビを見る

アナログテレビ放送の視聴のしかたを説明します。

テレビ放送を受信する

注意

- テレビ映像は、停車中でパーキングブレーキがかかっているときに見ることができます。走行中は安全のために、テレビ映像は表示されません。

- AVIC-ZH099 でアナログテレビ放送を受信するには、別売のアナログ TV チューナー「GEX-PO3TV」が必要です。

1 [SRC]を押してソースをTVにする (→P12)

AV ソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

- 放送局のリスト画面は約8秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、画面にタッチします。
- 映像がナビゲーション画面のときに、ソースをテレビにした場合は、音声のみ切り替わります。**[NAVI/AV]**を押すとAVソース画面に切り替わります。(→P13)
- AV ソース選択画面からソースを選ぶこともできます。(→P12)
- 受信をやめるには、ソースをOFFにします。(→P12)

2 受信したい放送局にタッチする



本体またはリモコンで操作する場合：

	リストの放送局順に送る
	チャンネルを順に送る
	受信できる放送局を自動的に探す (SEEK)

- 放送局がリスト表示されていても、現在の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。
- ステレオ放送を受信した場合は [STEREO] が表示され、音声多重放送を受信した場合は [BILINGUAL] が表示されます。

■プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが登録させた放送局 (ユーザープリセット) を呼び出すか、ハードディスクに登録されている自車周辺の放送局 (エリアプリセット) を呼び出すかを選びます。

1 ユーザープリセットまたはエリアプリセットにタッチする



- エリアプリセットに設定しておく、自車周辺の放送局がリストに表示され、簡単に放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数 (チャンネル) 変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

■放送局の手動登録

ユーザープリセットメモリー (→前記) に、TV1 と TV2 に各 12 局まで、手動で登録させることができます (マニュアルプリセット)。

1 ユーザープリセットにタッチする

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ナビゲーション

その他の機能

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

2 ◀/▶を押して登録させたい放送局を選ぶ

3 登録させたいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の放送局が、選んだプリセットに登録されます。

いろいろなテレビ操作のしかた

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します。

1 メニューを押す

ソースごとのAVメニューが表示されます。

2 機能にタッチする



■ バンドを切り替える

本機では2つのバンドがあり、それぞれのバンドごとにメモリーを使い分けることができます。

1 AVメニューで **BAND** にタッチする

タッチすることにより、以下のように切り替わります。

TV1 ↔ TV2 (各12局)

- リモコンの **(BAND/ESC)** を押して、バンドを切り替えることもできます。

■ 放送局の自動登録

受信状態の良い放送局をユーザープリセットメモリーに自動的に登録させることができます。

1 AVメニューで **BSSM** に2秒以上タッチする



中止 にタッチすると、自動登録を中止します。

自動登録が完了すると、ユーザープリセットに放送局が登録されます。

- 受信状態の良い放送局が登録可能数より少ない場合は、前の登録が残る場合があります。

■ 音声多重の切り替え

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えることができます。

- 音声多重放送の場合は、一般的に主音声を日本語、副音声を外国語で放送していますが、逆の場合もあります。

1 AVメニューで **音声多重** にタッチする

タッチすることにより、以下のように切り替わります。

MAIN → SUB → MAIN + SUB → 元に戻る

MAIN	主音声 (日本語)
SUB	副音声 (外国語)
MAIN + SUB	主・副音声 (日本語+外国語)

- 「MAIN + SUB」の場合、左側スピーカーより主音声、右側スピーカーより副音声が出力されます。

■ リストの切り替え

表示されるリストの大小を選ぶことができます。

1 AVメニュー (→P 20) で**リスト** **大小**にタッチする



- すでにリスト小で画面表示されている場合は、タッチキーが**リスト大**となります。
- 走行中は、リストの大小の設定に関係なくリスト大で表示されます。

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。

地上デジタルテレビ放送をご覧になるには

アナログテレビ受信機能のみ搭載の機器単体では、地上デジタルテレビ放送をご覧になれません。地上デジタルテレビ放送をご覧になるには、専用の地上デジタルTVチューナーが必要です。

地上デジタルテレビを見る

付属または別売の地上デジタル TV チューナー「GEX-P09DTV」または「GEX-P07DTV」または「GEX-P9DTV」を接続すると、地上デジタルテレビジョン放送を視聴することができます。

- AVIC-ZH099G には、地上デジタル TV チューナーが付属しています。
- 地上デジタル TV チューナー「GEX-P7DTV」をお使いの場合は、「地上デジタルテレビを見る (GEX-P7DTV を接続した場合)」(→ P32) をご覧ください。
- 地上デジタル TV チューナーを初めて使用するときやバッテリーを外したとき、視聴者設定クリア (→ P30) をしたとき、別のエリアに移動したときは、チャンネルスキャンをしてください。→ 「放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)」(P28)

地上デジタルテレビを見る

注意

- 地上デジタル放送は、停車中でパーキングブレーキがかかっているときに見ることができます。走行中は安全のため、地上デジタル放送は表示されません。

地上デジタル放送を受信します。

1 [SRC] を押してソースを DTV (地上デジタル TV) に切り替える (→ P12)

リスト画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

2 放送局にタッチする



本体またはリモコンで操作する場合：

	リストの放送局順に送ります。
	3桁チャンネルを順に送ります。
	物理チャンネルを自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)

- リスト画面は約8秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、画面にタッチします。
- 受信をやめるには、ソースを OFF にします (→ P12)。
- リモコンのモードスイッチを「DTV」に切り替えると、一部のボタンが地上デジタル TV の機能に切り替わります。(→ 「スタートブック」)

アイコン一覧

放送内容により、次のアイコンがソースプレートに表示されます。

	2 カ国語放送
	ワンセグから通常放送へ切り替え可能
	データ連動放送
	マルチビュー放送
	HDTV (ハイビジョン放送)
	SDTV (標準画質放送)
	ワンセグ (1 セグメント放送)
	サラウンド放送
	ステレオ放送
	マルチ編成
	複数の音声あり
	字幕あり
	アンテナの受信感度
	未読のお知らせメッセージあり

■地上デジタルテレビの操作タッチキーについて

地上デジタルテレビの操作は、操作タッチキーにタッチして操作します。地上デジタルテレビの操作タッチキーは2ページあります。操作タッチキーに表示される**次ページ**または**前ページ**にタッチして表示を切り替えます。

操作タッチキー1ページ目：



エリア または ユーザー	プリセットの種類 (→後記) を切り替えます。
番組表	番組表を表示します (→P24)。
番組内容	番組内容を表示します (→P25)。
サービス切替	同じ放送局内のサービスを切り替えます (→P25)。
操作	パネルタッチキーを表示します (→P27)。*1
BAND	バンドを切り替えます (→P23)。
裏番組	裏番組表を表示します。長くタッチすると、番組情報を更新します (→P25)。
前選局	1つ前に視聴したサービスに切り替えます (→P25)。
d	データ放送画面に切り替えます。
次ページ	2ページ目を表示します。

*1 AVIC-ZH099/ZH099G の場合のみ表示されます。

操作タッチキー2ページ目：



映像切替	マルチ映像の場合、映像を切り替えます (→P26)。
-------------	----------------------------

字幕切替	複数の字幕がある場合、字幕を切り替えます (→P26)。
音声切替	複数の音声がある場合、音声を切り替えます (→P26)。
サービスリスト	サービスリストを表示します。
前ページ	1ページ目を表示します。

■プリセットの種類を切り替える

ユーザーが登録した放送局 (ユーザープリセット) を呼び出すか、ハードディスクに登録されている自車周辺の放送局 (エリアプリセット) を呼び出すかを選びます。

1 ユーザーまたはエリアにタッチする



- エリアプリセットに設定しておくと、自車周辺の放送局がリストに表示され、簡単に放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数 (チャンネル) 変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

■バンドを切り替える

本機では2つのバンド (DTV1/DTV2) があり、それぞれのバンドごとにプリセットメモリー (P1~P12) を使い分けすることができます。

1 BANDにタッチする

タッチするごとにDTV1 ↔ DTV2が切り替わります。

- 普段はDTV1を使用し、旅行先ではDTV2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

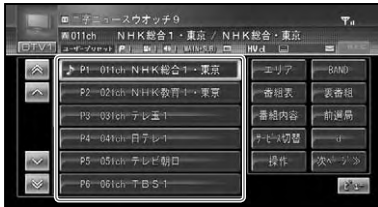
■ 放送局を手動で登録する

ユーザープリセットメモリにバンドごとに12局まで手動で登録させることができます(マニュアルプリセット)。

1 ユーザーにタッチする

2 本体またはリモコンで登録させたい放送局を選ぶ

3 登録させたいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の放送局が、選んだリストに登録されます。

■ 受信可能な中継局を探す

エリアプリセットで同じ放送局の別エリアの中継局が存在する場合は、放送局名の右側に「×2」など中継局数が表示されます。受信状態が悪くなった場合などは次の操作で受信可能な中継局を探して切り替えることができます。

1 エリアプリセットに切り替える

2 受信中の放送局名にタッチし「はい」にタッチする



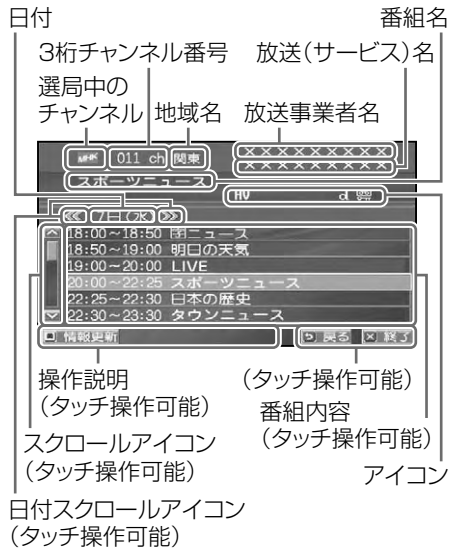
- 「AVIC-ZH099G」をお使いの場合、および「AVIC-ZH099」に地上デジタルTVチューナー「GEX-P09DTV」または「GEX-P07DTV」を組み合わせた場合は、「中継局サーチ設定」を「ON」にしておくと、エリア内の受信状態の良い中継局に自動で切り替えることができます。→「機能設定を行う」(P28)
- エリア外に移動した場合は、チャンネルスキャン(→P28)をしてください。

■ 番組表を表示する

現在受信中のチャンネルの電子番組表(EPG)を表示します。

1 番組表にタッチする

番組表が表示されます。



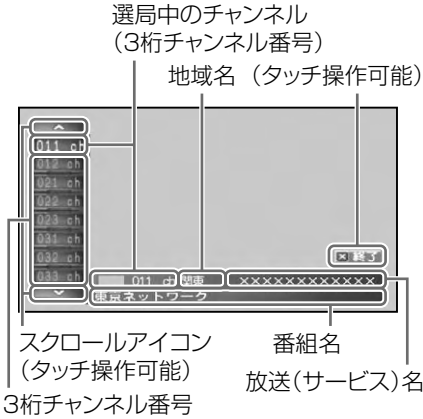
- 画面の項目に直接タッチして操作できます。また、リモコンで操作することもできます。→「リモコンで操作する」(P26)
- **×終了**にタッチするか、約60秒間何も操作しないと、通常の放送画面に戻ります。

裏番組表を表示する

裏番組の番組表を表示します。

1 裏番組にタッチする

受信済みの裏番組表が表示されます。



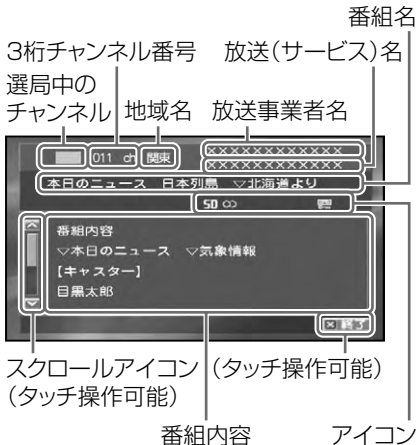
- 画面の項目に直接タッチして操作できます。また、リモコンで操作することもできます。→「リモコンで操作する」(P26)
- **×終了**にタッチするか、約60秒間何も操作しないと、通常の放送画面に戻ります。
- 裏番組表を最新にしたい場合は、**裏番組**に長くタッチするか、AVメニューで**番組情報取得**にタッチします。(→P28)

番組内容を表示する

現在受信中の番組の番組内容を表示します。

1 番組内容にタッチする

番組内容が表示されます。



- 画面の項目に直接タッチして操作できます。また、リモコンで操作することもできます。→「リモコンで操作する」(P26)
- **×終了**にタッチするか、約60秒間何も操作しないと、通常の放送画面に戻ります。

サービスを切り替える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスが提供されている場合、サービスを切り替えることができます。

1 サービス切替にタッチする

別のサービスが表示されます。

前回視聴していたサービスに切り替える

1 前選局にタッチする

1つ前に受信していたサービスが表示されます。

データ放送を見る

視聴中の番組にデータ放送がある場合は、データ放送に切り替えることができます。

- 地域を対象としたサービス(設定した地域の天気予報や選挙速報など)を行っている場合は、郵便番号設定(→P29)で設定した地域の情報を受信します。出荷時は、オート(自車位置)に設定されています。

1 dにタッチする

- 「AVIC-ZH009」をお使いの場合は、「この画面は、地上デジタルTVリモコンを使って操作してください。」とメッセージが表示されます。次回もメッセージを表示させる場合は**はい**、表示させない場合は**いいえ**にタッチしてください。

データ放送の画面に切り替わります。

- 画面の項目に直接タッチして操作することはできません。リモコンや操作タッチキーで項目を選んで操作します。→「データ放送や番組表などを操作する」(P26)
- データ放送画面から、通常の放送画面に戻るには、画面にタッチしてから**d**にタッチします。

■映像を切り替える

マルチビューなど、複数の映像がある番組のときに、映像を切り替えます。

1 操作タッチキー 2 ページ目の映像切替にタッチする

タッチすることにより次のように切り替わります。

映像 1 → 映像 2 → 映像 3 → 元に戻る

■字幕を切り替える

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示の ON/OFF を切り替えることができます。

1 操作タッチキー 2 ページ目の字幕切替にタッチする

タッチすることにより次のように切り替わります。

字幕 1 → 字幕 2 → 字幕 OFF → 元に戻る


■音声を切り替える

番組に複数の音声があるときに、切り替えることができます。

1 操作タッチキー 2 ページ目の音声切替にタッチする

タッチすることにより次のように切り替わります。

- 複数の音声があるとき
第 1 音声 → 第 2 音声 → 第 3 音声 → 元に戻る
- 2カ国語放送 (2 重音声) のとき
主音声 → 副音声 → 主音声 + 副音声 → 元に戻る

 本機と地上デジタル TV チューナーを光デジタルケーブルで接続している場合、「主音声」または「副音声」を選択しているときに「2カ国語放送」または「複数音声放送」を受信すると、スピーカーセッティングによってセンタースピーカーだけから音声が出力されたり、サブウーファーから音声が出力されない場合があります。この場合、2チャンネルモードに設定 (→ P106) すると、左右のスピーカーおよびサブウーファーから音声を出力させることができます。

■サービスリストからチャンネルを選ぶ

1 操作タッチキー 2 ページ目のサービスリストにタッチする

2 受信したいサービスチャンネルにタッチする



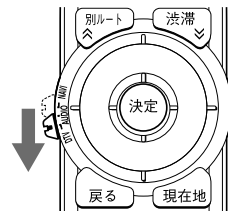
■データ放送や番組表などを操作する


リモコンや操作タッチキーを使った操作について説明します。

■リモコンで操作する

本機に付属のリモコンの操作モードを「DTV」に切り替えると、データ放送や、番組表、裏番組表、番組内容などの画面をリモコンで操作することができます。

1 リモコンの操作モード切り替えスイッチを「DTV」にする



-  操作が終わったら、操作モード切り替えスイッチをもとの位置に戻してください。

■ 操作ボタン一覧

操作ボタン	名称	動作
	決定ボタン	項目を決定します。
	カーソルボタン	カーソルを操作します。
	d 青ボタン	データ放送に切り替えます。
	▼3桁CH▲	3桁チャンネルをダウン/アップします。
	青ボタン	青ボタンとして使います。
	赤ボタン	赤ボタンとして使います。
	緑ボタン	緑ボタンとして使います。
	黄ボタン	黄ボタンとして使います。
	ESCボタン	操作を中止(キャンセル)します。
	戻るボタン	1つ前の操作に戻ります。

決定	項目を決定します。
	カーソルを操作します。
戻る	1つ前の操作に戻ります。
d	データ放送画面と通常の放送画面を切り替えます。
青	青ボタンとして使います。
赤	赤ボタンとして使います。
緑	緑ボタンとして使います。
黄	黄ボタンとして使います。
ブックマーク	ブックマーク機能に使います。
ボタン消し	パネルタッチキーを消します。
数字	数字パネルタッチキーを表示します。
位置	パネルタッチキーの表示位置を切り替えます。

- ・ブックマーク機能に対応したデータ放送を見ているとき、ブックマーク機能を使うことができます。画面に表示されている説明に従って**ブックマーク**にタッチして、カーソルキーで項目を選んで操作できます(操作のしかたは番組によって異なります)。

■ 操作タッチキーで操作する

データ放送画面では、操作タッチキーで操作することもできます。

- ・この機能は「AVIC-ZH009」ではお使いになれません。

1 データ放送画面で、画面にタッチして操作タッチキー(→P25)を表示させる

2 操作にタッチする

十字パネルタッチキーが表示されます。パネルタッチキーには十字パネルタッチキーと数字パネルタッチキーがあります。

十字パネルタッチキー

十字パネルタッチキーでは、カーソル操作や項目の決定、各機能ボタンの操作ができます。



数字パネルタッチキー

十字パネルタッチキー(→前記)で**数字**にタッチすると数字パネルタッチキーが表示されます。この画面では、プリセットメモリーの操作や数字の入力などができます。



数字キー	数字を入力します。数字入力画面以外では、プリセットメモリーキーとして動作します。
決定	項目を決定します。
戻る	1つ前の操作に戻ります。
ボタン消し	パネルタッチキーを消します。
	十字パネルタッチキー(前記)に戻ります。
位置	パネルタッチキーの表示位置を切り替えます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサービシング

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

いろいろな操作のしかた

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します。

■ AVメニューを表示する

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューのソースメニューの中から機能を選びます。

1 **メニュー**を押す

AVメニュー画面が表示されます。

2 **機能にタッチする**



■ 放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）

バンドごとに受信状態の良い放送局をユーザープリセットメモリーとサービスリストに自動的に登録させることができます。

1 AVメニューで**スキャン**に2秒以上タッチする



停止にタッチすると、スキャンを中止します。

■ 番組情報を取得する

番組情報を取得して、裏番組表を最新の状態にします。

1 AVメニューで**番組情報取得**に2秒以上タッチする



中止にタッチすると、取得を中止します。

- 操作タッチキーの**裏番組** (→ P23) に長くタッチしても番組情報を取得できます。

■ リストを切り替える

表示されるリストの大きさを切り替えます。

1 AVメニューで**リスト大**または**リスト小**にタッチする



■ 機能設定を行う

地上デジタルテレビジョン放送を受信する際の機能を設定します。

機能設定には、視聴設定、環境設定、受信機能情報メニューがあります。

1 AVメニューで**機能設定**にタッチする

2 メニューの種類(タブ)を選ぶ



視聴設定	[視聴設定] メニューが表示されます。
環境設定	[環境設定] メニューが表示されます。
受信機情報	[受信機情報] メニューが表示されます。

3 メニュー項目にタッチして設定を行う

■ 設定内容の詳細

【視聴設定】メニュー

太字は工場出荷時の設定です。

ワンセグ設定

視聴している番組の受信レベルが低くなった場合に、通常の放送とワンセグを自動的に切り替えるか手動で切り替えるかを設定します。

「オート」 受信状況に応じて、通常の放送とワンセグを自動で切り替えます。

「マニュアル」 通常の放送とワンセグを手動で切り替えます。

選局モード設定

地上デジタル放送の受信モードを設定します。

「標準モード」 標準画質放送やハイビジョン放送だけを受信します。

「ワンセグモード」 ワンセグだけを受信します。

「オートモード」 全ての放送を受信します。

文字スーパー表示設定

文字スーパーの言語や表示を設定します。

「第1言語」 第1言語で表示します。

「第2言語」 第2言語で表示します。

「OFF」 文字スーパーを表示しません。

イベントリレー設定

別のチャンネルで延長番組が放送されるときに、自動的にチャンネルを切り替えるか、手動で切り替えるかを設定します。

「オート」 自動でチャンネルを切り替えます。

「マニュアル」 手動でチャンネルを切り替えます。

緊急警報放送設定

緊急警報放送が始まったときに、チャンネルを自動で切り替えるか、手動で切り替えるかを設定します。

「オート」 自動でチャンネルを切り替えます。

「マニュアル」 手動でチャンネルを切り替えます。

中継局サーチ設定

他の受信状態の良い中継局を自動で探すかを設定します。

「ON」 自動で中継局を探します。

「OFF」 中継局を探しません。

- 「中継局サーチ設定」は、「AVIC-ZH099G」をお使いの場合、および「AVIC-ZH099」に「GEX-P09DTV」または「GEX-P07DTV」を組み合わせた場合のみ表示されます。
- 「GEX-P07DTV」をお使いの場合は、受信可能なエリアを外れたときのみ、他の中継局を自動で探します。

【環境設定】メニュー

太字は工場出荷時の設定です。

地域設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、エリアプリセットで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

「オート」 自転車位置情報をもとに自動的に設定されます。

「マニュアル」 手動で地域を設定します。

郵便番号設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、データ放送の地域を対象にしたサービスで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

「オート」 自転車位置情報をもとに自動的に設定されます。

「マニュアル」 手動で使用する地域を郵便番号で入力します。

つづく→

ダウンロード設定

放送波に含まれたデータをダウンロードして、本機内のデータや機能をバージョンアップするかどうかを設定します。

※ダウンロード中は、放送を見ることはできません。

- 「ON」 データをダウンロードします。
- 「OFF」 データをダウンロードしません。

番組名称情報取得設定

DTV 以外のソースのときに、自動的に最新の番組情報を取得 (→ P28) するかどうかを設定します。

- 「ON」 自動的に取得します。
- 「OFF」 自動的に取得しません。

視聴者設定クリア

廃棄や譲渡などで地上デジタル TV チューナーを手放すときに、地上デジタル TV チューナーに記録されている視聴者設定を消去するための設定です。

※チャンネルおよび番組表、機能設定 (視聴設定、環境設定)、データ運動放送のブックマークが消去されます。

- 「はい」 設定をクリアします。
- 「いいえ」 設定をクリアしません。

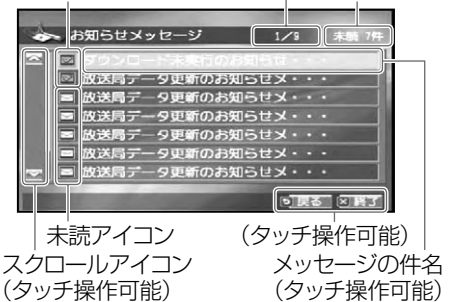
【受信機情報】メニュー

お知らせメッセージ

地上デジタル TV チューナーに送られてきたメッセージを表示します。

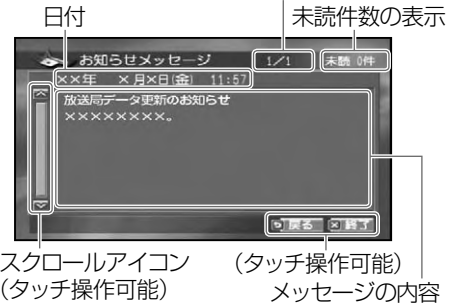
メッセージ一覧画面


選択中のメッセージ番号と総メッセージ数
既読アイコン 未読件数の表示



1 内容を見たいメッセージにタッチする

選んだメッセージの内容が表示されます。
選択中のメッセージ番号と総メッセージ数

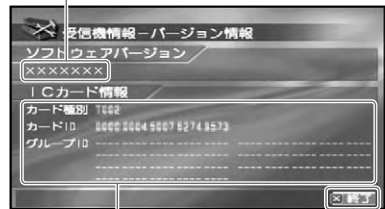


- 「戻る」または「終了」にタッチするか、約 30 秒間何も操作しないと、放送画面 (視聴画面) に戻ります。
- 未読メッセージがあると、画面に  (→ P22) が表示されます。

バージョン情報

地上デジタル TV チューナーのソフトウェアのバージョンや、B-CAS カードなどの情報を表示します。

本機ソフトウェアのバージョン



B-CAS カードの情報 (タッチ操作可能)

■ ダウンロードの手順

更新されたソフトウェアが地上デジタル放送で配信されたときに、ダウンロードして本機をバージョンアップすることができません。

- ✎ • あらかじめ、**環境設定**メニュー (→ P29) の「ダウンロード設定」を「ON」にしておく必要があります。
- ダウンロードが予定された時刻は、お知らせメッセージ (→ 前記) で配信されます。
- ダウンロードが予定された時刻の 5 分前から、画面に「ダウンロード待機中」のメッセージが表示されます。
- 走行中よりも停車中のほうが受信状態が安定してダウンロードが成功する確率が高くなります。
- ダウンロードが完了するまで、エンジンスイッチを OFF にしないでください。
- ダウンロードが成功してソフトウェアを更新すると、本機の設定内容が消去される場合があります。その場合は、お使いになる前に機能設定 (→ P28) を行ってください。また、設定内容などは事前にメモしておくことをおすすめします。

1 「ダウンロード待機中」のメッセージが表示されたら、エンジンスイッチを切らずに待つ

▼
ダウンロードが完了します。

- ✎ • ダウンロードを中止する場合は、**中断**などのキーにタッチします。
- ACC が ON の状態であれば、AV ソースの ON/OFF にかかわらず、ダウンロードを行います。
- ダウンロードが成功すると、画面にメッセージが表示されます。画面に従って、**再起動**などのタッチキーにタッチしてください。
- ダウンロードが失敗したときは、受信状態が安定しているかどうか受信レベルを確認してください。
- 受信状態が安定しているのにダウンロードが何度も失敗してしまうときは、販売店または弊社サービスステーションにご相談ください。

地上デジタルテレビを見る

(GEX-P7DTV を接続した場合)

別売の地上デジタル TV チューナー「GEX-P7DTV」を接続した場合は、次のような操作となります。

- 地上デジタル TV チューナー「GEX-P7DTV」を接続した場合は、リスト画面に放送局名は表示されません。また、一部の機能のみ本機から操作できます。その他の機能は、「GEX-P7DTV」に付属のリモコンで操作してください。→「GEX-P7DTV に付属の取扱説明書」
- 地上デジタル TV チューナーを初めて使用するときやバッテリーを外したとき、視聴者設定クリア (→ P30) をしたとき、別のエリアに移動したときは、チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)」(P33)

地上デジタルテレビを見る

注意

- 地上デジタル放送は、停車中でパーキングブレーキがかかっているときに見ることができません。走行中は安全のため、地上デジタル放送は表示されません。

地上デジタル放送を受信します。

1 **[SRC]** を押してソースを DTV (地上デジタル TV) に切り替える (→ P12)

リスト画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

2 プリセット番号にタッチする



本体またはリモコンで操作する場合：

	リストの放送局順に送ります。
	3桁チャンネルを順に送ります。
	物理チャンネルを自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)

- リスト画面は約8秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、画面にタッチします。
- 受信をやめるには、ソースを OFF にします (→ P12)。
- リモコンのモードスイッチを「DTV」に切り替えてもデータ放送などの操作はできません。「GEX-P7DTV」に付属のリモコンで操作してください。

■ バンドを切り替える

本機では2つのバンド (DTV1/DTV2) があり、それぞれのバンドごとにプリセットメモリー (P1 ~ P12) を使い分けることができます。

1 **BAND** にタッチする

タッチすることにより DTV1 ↔ DTV2 が切り替わります。

- 普段は DTV1 を使用し、旅行先では DTV2 を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

■ サービスを切り替える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスが提供されている場合、サービスを切り替えることができます。

1 **サービス切替** にタッチする

別のサービスが表示されます。

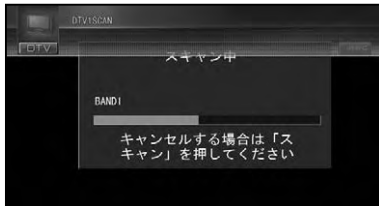
■ 放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）

バンドごとに受信状態の良い放送局をプリセットメモリーに自動的に登録させることができます。

1 **メニュー**を押す

AV メニューが表示されます。

2 **スキャン**に2秒以上タッチする



スキャンを中止する場合は、「GEX-P7DTV」に付属のリモコンの「スキャン」を押してください。

ワンセグを見る (AVIC-ZH099)

別売のワンセグチューナー「GEX-PO1DTV」を接続すると、ワンセグ放送を視聴することができます。

- 「AVIC-ZH009」にワンセグチューナーを接続したときは、エクスターナルユニット (EXT) として認識しますので、「システム設定」の「AV入力設定」を「EXT」に切り替えてください。操作については、ワンセグチューナーに付属の説明書をご覧ください。

ワンセグ放送を見る

注意

- ワンセグ放送は、停車中でパーキングブレーキがかかっているときに見ることができます。走行中は安全のため、地上デジタル放送は表示されません。

ワンセグ放送を受信します。

1 [SRC]を押してソースをワンセグに切り替える (→ P12)

リスト画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

2 放送局にタッチする



本体またはリモコンで操作する場合：

	リストの放送局順に送ります。
	3桁チャンネルを順に送ります。
	物理チャンネルを自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)

- リスト画面は約8秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、画面にタッチします。
- 受信をやめるには、ソースを OFF にします (→ P12)。

■アイコン(画面に表示されるマーク) 一覧

	デュアルモノ放送 (2カ国語、2音声)
	ステレオ放送
	モノラル放送
	複数の音声あり
	字幕あり
	受信状態
	未読のお知らせメッセージあり

- 「デュアルモノ放送」と「モノラル放送」のマークは、番組情報画面 (→ P35) のみ表示されます。
- デュアルモノ放送とは、主音声と副音声を別々に独立させたモノラル音声での放送のことです。
(例 主音声：日本語、副音声：英語)
- 受信状態は、4段階で表示されます。
- 上記のアイコンは、実際に画面に表示されるアイコンと異なる場合があります。
- 切り替えできる音声や字幕があるときは、画面にアイコンが表示されます。
- 切り替えできる音声や字幕、複数の番組は放送によって異なります。

■ワンセグの操作タッチキーについて

ワンセグの操作は、操作タッチキーにタッチして操作します。



エリア または ユーザー	プリセットの種類(→次項)を切り替えます。
番組情報	番組情報を表示します。
全画面	全画面表示に切り替えます。
前選局	1つ前に視聴したサービスに切り替えます。
BAND	バンド(ワンセグ1 ↔ ワンセグ2)を切り替えます。
音声切替	複数の音声がある場合、音声を切り替えます。
字幕切替	複数の字幕がある場合、字幕を切り替えます。
サービスリスト	サービスリストを表示します。

■ プリセットの種類を切り替える

ユーザーが登録した放送局(ユーザープリセット)を呼び出すか、ハードディスクに登録されている自車周辺の放送局(エリアプリセット)を呼び出すかを選びます。

1 ユーザーまたはエリアにタッチする



- エリアプリセットに設定しておく、自車周辺の放送局がリストに表示され、簡単に放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数(チャンネル)変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

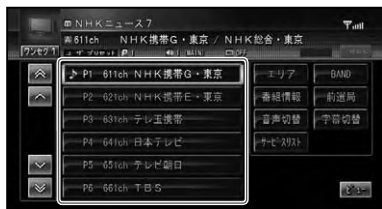
■ 放送局を手動で登録する

ユーザープリセットメモリにバンドごとに12局まで手動で登録させることができます(マニュアルプリセット)。

1 ユーザーにタッチする

2 本体またはリモコンで登録させたい放送局を選ぶ

3 登録させたいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする

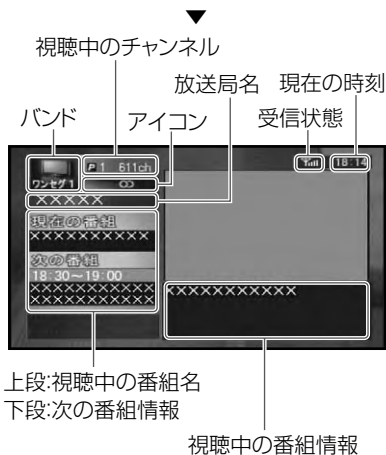


現在受信中の放送局が、選んだリストに登録されます。

■ 番組情報を表示する

現在視聴している番組の内容と次の番組の内容を表示します。

1 番組情報にタッチする



- 全画面表示に戻すには、画面にタッチしてから**全画面**にタッチします。
- 字幕があるときは、番組情報に字幕が表示されます。

■ 1つ前の放送に戻る

1つ前に視聴したサービスに戻ります。

1 前選局にタッチする

1つ前に視聴していたサービスが表示されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ユーザーインターフェース

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

■ バンドを切り替える

本機では2つのバンド（ワンセグ1/ワンセグ2）があり、それぞれのバンドごとにプリセットメモリー（P1～P12）を使い分けることができます。

1 BAND にタッチする

タッチすることによりワンセグ1 ↔ ワンセグ2 が切り替わります。



・普段はワンセグ1を使用し、旅行先ではワンセグ2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

■ 音声を切り替える

番組に複数の音声があるときに、切り替えられます。

1 音声切替にタッチする

タッチすることにより次のように切り替わります。

音声コンポーネント1 / 主音声 → 音声コンポーネント1 / 副音声 → 音声コンポーネント1 / 主+副音声 → 音声コンポーネント2 → 元に戻る

■ 字幕を切り替える

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示のON/OFFを切り替えられます。

1 字幕切替にタッチする

タッチすることにより次のように切り替わります。

第1言語 → 第2言語 → 字幕OFF

■ サービスリストからチャンネルを選ぶ

1 サービスリストにタッチする

2 受信したいサービスチャンネルにタッチする



いろいろな操作のしかた

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します。

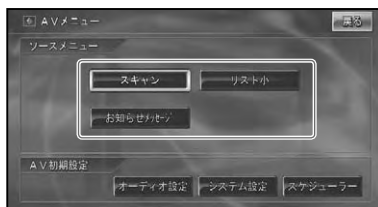
■ AVメニューを表示する

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューのソースメニューの中から機能を選びます。

1 メニューを押す

AVメニュー画面が表示されます。

2 機能にタッチする



■ 放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）

バンドごとに受信状態の良い放送局をユーザープリセットメモリーとサービスリストに自動的に登録させることができます。

1 AVメニューで スキャンに2秒以上タッチする



中止にタッチすると、スキャンを中止します。

■ リストを切り替える

表示されるリストの大きさを切り替えます。

1 AVメニューで**リスト大**または**リスト小**にタッチする



■ お知らせメッセージを表示する

取得しているお知らせメッセージを表示します。

1 AVメニューで**お知らせメッセージ**にタッチする



音楽ディスク

音楽ディスクの再生.....	40
再生する.....	40
再生画面について.....	40
再生を一時停止する.....	41
詳細情報を表示する (MP3).....	41
いろいろな再生操作のしかた.....	42
リPEAT再生.....	42
ランダム再生.....	42
スキャン再生.....	43
サーチモードの切り替え.....	43
ミックスCD内のデータ形式の切り替え.....	44

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

音楽ディスクの再生

CD、ROM(WMA/MP3/AAC)の基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

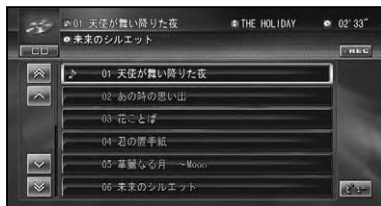
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P144)を参照してください。

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、ソースを切り替えてください。(→P12)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生を中止するには、ソースをOFFにします。(→P12)

2 聴きたい曲にタッチする



本体またはリモコンで操作する場合：

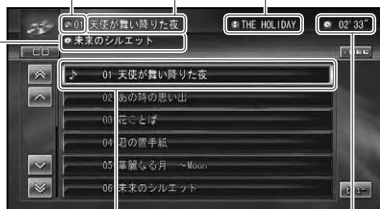
▲/▼	フォルダー操作 (ROMのみ)
◀/▶	トラック/ファイル操作
◀/▶ (押し続ける)	早戻し/早送り

- 早戻し/早送りの動作は、10曲飛びに選曲する「ラフサーチ」に切り替えることもできます。(→P43)

再生画面について

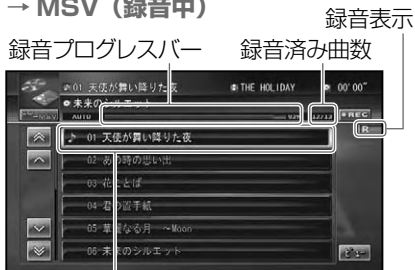
CD (通常再生中)

ディスクタイトル トラックタイトル
トラックNo. アーティスト名



再生中の曲 再生中のトラックの経過時間

CD → MSV (録音中)



再生中の曲

- 録音していないCDを再生すると、自動的にミュージックサーバー (MSV) への録音が始まります。全ての曲の録音が終わると通常再生に切り替わります。
- 全ての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生 (ランダム再生など) はできません。選曲操作が必要な場合は、**REC** にタッチするカリモコンの **解除** を押して録音を中止してください。
- 内蔵の Gracenote 音楽認識サービス (CDDb) から情報が取得できた場合は、ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。
- ミュージックサーバーへの録音およびタイトル表示については「ミュージックサーバーに録音する」(→P61)を参照してください。

ROM (WMA/MP3/AAC)



- WMA/MP3/AAC は ID3/WMA/AAC タグ (→ P148) からタイトル情報を取得できた場合、ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。
- フォルダータイトルやトラックタイトル、アーティスト名は全角 16 文字 (半角 32 文字) の表示ができます。
- MP3/WMA/AAC は、タイトル情報を取得できなかった場合、フォルダー名がフォルダータイトル、ファイル名がトラックタイトルとしてソースプレートに表示されます。アーティスト名は表示されません。
- WMA のときにタグの Author 情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- にタッチすると、選んだフォルダー内の情報を表示します。
- 上へ にタッチすると、上位階層のフォルダー内の情報を表示します。
- 音楽データ (CD) と WMA/MP3/AAC 形式のデータが混在したディスクを挿入した場合、最初に音楽データ (CD) が再生されます。WMA/MP3/AAC ファイルを再生するには「ミックス CD 内のデータ形式の切り替え」(→ P44) を参照してください。

再生を一時停止する

1 再生中の曲にタッチする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポーズ / 再生にタッチする



ディスクの再生が一時停止します。

ポーズ / 再生にもう一度タッチすると、再生を再開することができます。

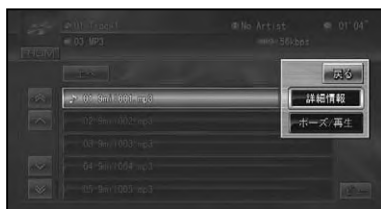
■ 詳細情報を表示する (MP3)

MP3 では現在再生中の曲の詳細情報を見ることができます。

1 再生中の曲にタッチする

ポップアップメニューが表示されます。

2 詳細情報にタッチする



ID3 Tag の情報がある場合には、現在再生中の曲の詳細情報 (ディスク名、トラック名、フォルダー名、ファイル名、アーティスト名、ジャンル名、発売年) が表示されます。

戻る にタッチすると元の画面に戻ります。

いろいろな再生操作のしかた

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します。

✎ CD 録音中は、操作できません。

1 **メニュー**を押す

ソースごとのAVメニューが表示されます。

2 **機能にタッチする**

CD



ROM(WMA/MP3/AAC)



■ **リピート再生**

指定した範囲を繰り返して再生します。

1 **AVメニューで**リピート**にタッチする**



タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

CD

DISC REPEAT ↔ TRACK REPEAT

ROM (WMA/MP3/AAC)

DISC REPEAT → TRACK REPEAT
→ FOLDER REPEAT → **元に戻る**

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します(WMA/MP3/AACのみ)。

- ✎
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作(TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
 - 通常再生であるDISC REPEATは、ソースプレートに表示されません。

■ **ランダム再生**

選んだりリピートの範囲内で、曲順を変えて再生することができます。

1 **AVメニューで**ランダム**にタッチする**



タッチするごとに、ランダム再生のON/OFFが切り替わります。

- ✎
- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はそれぞれ以下のように自動的に切り替わります。

CD	DISC REPEAT
WMA/MP3/AAC	FOLDER REPEAT

- ランダム再生中にその他の再生操作(リピート再生、スキャン再生など)を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

■ スキャン再生

選んだリピートの範囲内で、ディスク内の各曲の演奏開始部分や、各フォルダー内の1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。聴きたい曲やフォルダーを探すときに使います。

1 リピート範囲を以下のように指定する

聴きたい曲を探すとき

再生中のディスク(CD)、フォルダー(WMA/MP3/AAC)内の各曲の演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

リピートの範囲を以下のように指定します

CD	DISC REPEAT
WMA/MP3/AAC	FOLDER REPEAT

- リピートの範囲が TRACK REPEAT の場合、スキャン再生を ON にすると、リピートの範囲はそれぞれ上記のリピート範囲に切り替わります。

聴きたいフォルダーを探すとき(WMA/MP3/AAC)

ディスク内の全フォルダーの1曲目だけの演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。リピートの範囲を DISC REPEAT に指定します。

2 AVメニューでスキャンにタッチする



タッチすることにより、スキャン再生の ON/OFF が切り替わります。

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

3 聴きたい曲またはフォルダーが再生されたら、もう一度スキャンにタッチする

スキャン再生が OFF になり、選んだ曲またはフォルダーが再生されます。

- スキャン再生中にその他の再生(リピート再生、ランダム再生など)やリピートの範囲を超える操作(フォルダーの切り替えなど)を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

■ サーチモードの切り替え

◀/▶ を押し続けたときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

1 AVメニューでサーチモードにタッチする



2 設定するサーチモードにタッチする



FF/REV	早送り/早戻しになります。
ラフサーチ	ラフサーチになります。

■ ミックスCD内のデータ形式の切り替え

音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)とDivXのデータが混在しているディスク(ミックスCD)の場合に形式を切り替えます。

1 AVメニュー(→P42)で**CD切替**または**ROM切替**または**DivX切替**にタッチする



再生するデータ形式が切り替わります。



- 音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。
- リモコンの**(BAND/ESC)**を押して切り替えることもできます。

映像ディスク

映像ディスクの再生.....	46
再生する.....	46
操作タッチキーの表示のしかた.....	46
DVD ビデオの操作タッチキー.....	46
DivX の操作タッチキー.....	47
ディスクメニューの操作 (DVD).....	47
ディスクの再生操作.....	48
チャプターを進める / 戻す.....	48
タイトルを進める / 戻す.....	48
一時停止 / 再生.....	48
コマ送り再生.....	48
スロー再生.....	48
再生を停止する.....	49
CM スキップ / バック.....	49
ブックマークの登録 (DVD).....	49
ファイルを選んで再生する (DivX).....	50
ダイレクトサーチ.....	51
字幕言語の切り替え (DVD).....	51
音声言語の切り替え.....	52
アングルの切り替え (DVD).....	52
リターン再生 (DVD).....	52
いろいろな再生操作のしかた.....	53
リピート再生.....	53
音声出力の切り替え (DVD).....	53
再生メディアの切り替え (DivX).....	54
DVD ビデオの初期設定のしかた.....	55
初期設定をする.....	55
基本字幕.....	55
基本音声.....	55
メニュー言語.....	55
アシスト字幕.....	55
マルチアングル.....	56
テレビアスペクト.....	56
視聴制限.....	56
オートプレイ.....	56
言語コード表.....	57

映像ディスクの再生

DVD ビデオ、DivX などの基本的な再生のしかたについて説明します。

再生する

注意

- ・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。



・再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P144)を参照してください。

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。



- ・すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、ソースを切り替えてください。(→P12)
- ・DVDによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に再生が開始されない場合があります。その場合は、ディスクメニューをタッチで操作して再生してください。(→「ディスクメニューの操作(DVD)」(P47))
- ・オートプレイの設定をONにすると、タイトル順に自動的に再生することができます。(→「オートプレイ」(P56))
- ・DVDの録音レベルは他のソースより低いいため、他のソースからDVDに切り替えると、音が小さく感じられる場合があります。その場合は、ソースレベルアジャスターでソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P107, 114)
- ・再生を中止するには、ソースをOFFにします。(→P12)

操作タッチキーの表示のしかた

ディスクの操作をタッチパネルで行うときは、操作タッチキーを表示して操作します。

1 再生中に画面にタッチする



- ・リモコンの**決定**を押しても操作タッチキーを表示することができます。**ピュ**にタッチするか、リモコンの**ピュ**を押すと操作タッチキーは消えます。

DVD ビデオの操作タッチキー

DVD ビデオの操作タッチキーは2ページあります。

操作タッチキーに表示される**次ページ**または**前ページ**にタッチして表示を切り替えます。

DVD ビデオ操作タッチキー 1 (1ページ目)





■ DivX の操作タッチキー

DivX の操作タッチキーは2ページあります。操作タッチキーに表示される**次ページ**または**前ページ**にタッチして表示を切り替えます。

DivX 操作タッチキー 1 (1ページ目)



DivX 操作タッチキー 2 (2ページ目)



ディスクメニューの操作 (DVD)

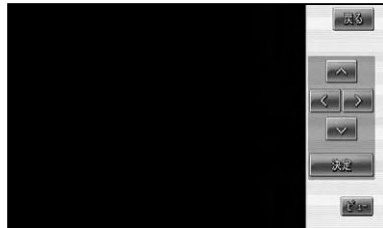
ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。

1 トップメニューまたはメニューにタッチする



- リモコンの **TOP.M** または **MENU** を押した場合も、ディスク特有のメニューが表示されます。

2 画面にタッチして操作する



- リモコンのユニバーサルパッドで操作することもできます。
- ビュ** にタッチするか、リモコンの **ビュ** を押すと操作タッチキーを表示して操作することもできます。
- ビュ** にタッチするか、リモコンの **ビュ** を押すと操作タッチキーは消えます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ユニバーサル

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

ディスクの再生操作

- ここで説明されている各機能は、ディスクや再生位置によって、 (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

■チャプターを進める / 戻す

チャプターを前後に送ったり、早送り / 早戻しをすることができます。

1 操作タッチキー1 (→ P46) の または にタッチする



- / でも操作できます。
- / にタッチし続けるか / を押し続けると、早戻し / 早送りの動作となります。約5秒以上操作し続けると、早送り / 早戻しのままになります。通常の再生に戻すには / または にタッチします。
- リモコンのスケールレバーを 側に倒しても通常再生に戻ることができます。

■タイトルを進める / 戻す

タイトルを順に進めたり、戻したりすることができます。

1 / を押す

- 操作タッチキーでは、この操作はできません。

■一時停止 / 再生

再生中の映像を一時停止して静止画にした後、通常の再生に戻すことができます。

1 操作タッチキー1 (→ P46) の にタッチする



- もう一度 にタッチすると通常再生に戻ります。
- にタッチしても一時停止します。
- リモコンのスケールレバーを 側に倒しても一時停止 / 再生の操作を行うことができます。

■コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見るすることができます。

1 操作タッチキー1 (→ P46) の にタッチする

タッチするごとに、映像が1コマずつ送られます。



- にタッチすると通常再生に戻ります。
- リモコンのスケールレバーを 側に倒しても通常再生に戻ることができます。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。

■スロー再生

再生スピードを遅くして見るることができます。

1 操作タッチキー1 (→ P46) の **III** にタッチし続ける

送り方向にスロー再生されます。



DVD の場合は、スロー再生中に再生速度を変えることができます。

DVD スロー再生の場合：

スロー DOWN	再生スピードが遅くなります。
スロー UP	再生スピードが速くなります。

- ▶III にタッチすると通常再生に戻ります。
- リモコンのスケールレバーを **広域▶III** 側に倒しても通常再生に戻ることができます。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。

■再生を停止する

ディスクの再生を停止します。

1 操作タッチキー1 (→ P46) の **II** にタッチする



- リモコンのスケールレバーを **詳細** 側に倒しても再生を停止することができます。
- ▶II にタッチすると通常再生に戻ります。
- リモコンのスケールレバーを **広域▶II** 側に倒しても通常再生に戻ることができます。
- 再生を停止した場所を登録し、次回同じディスクを再生したときは前回の続きから再生されます (ディスクによっては続きから再生されない場合があります)。

■CM スキップ / バック

再生中の映像を、一定の秒数だけ早送り / 早戻しします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 操作タッチキー1 (→ P46) の **CMスキップ** または **CMバック** にタッチする



タッチすることにより、以下のような秒数で早送り / 早戻しされます。

CM スキップ (早送り)	「30秒」→「1分」→「1分30秒」→「2分」→「3分」→「5分」→「10分」→「0秒」→元に戻る
CM バック (早戻し)	「5秒」→「15秒」→「30秒」→「1分」→「2分」→「3分」→「0秒」→元に戻る

■ブックマークの登録 (DVD)

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。

- 1枚のディスクに**ブックマーク**またはリモコンの **メモ** と、ディスク取り出しボタンの両方を登録することができます。その場合、ディスク取り出しボタンで登録したブックマークが優先されます。

再生中に登録する

1 操作タッチキー1 (→ P46) の **ブックマーク** にタッチする



つづく→

▼
選んだ場面がブックマークとして登録され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

消去する場合は、**ブックマーク**に2秒以上タッチします。



- リモコンの **メモ** を押してもブックマークの登録、消去操作を行うことができます。
- 再生中のブックマークの登録は、ディスク1枚につき1場面登録でき、ディスク5枚分のブックマークを登録します。5枚を超えて新しいディスクにブックマークが登録されると、一番使用時期の古いディスクのブックマーク情報に上書きされます。

ディスク取り出しの際に登録する

1 再生中に **▲** (ディスク取り出しボタン) を2秒以上押してからディスクを取り出す

▼
ボタンが押されたときに再生中だった場面がブックマークとして登録され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

消去する場合は、**▲** を短く押してディスクを取り出します。



- ディスク取り出し時のブックマークの登録は、ディスク1枚分のブックマークを登録します。

■ ファイルを選んで再生する (DivX)

DivX では、リストから見たいファイルを選んで再生することができます。



- DivX のレンタルコンテンツをダウンロードする場合は、システム設定の **[DivX VOD コード]** (→P131) でレジストレーションコードを入手して行ってください。

1 操作タッチキー1 (→P47) の **ファイルを探す** にタッチする



2 見たいファイルにタッチする



選んだファイルが再生されます。



- DivX のリスト画面は約 30 秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、**ファイルを探す** にタッチします。
- **□** を選んだ場合は、フォルダー内のファイルのリストが表示されます。
- **上へ** にタッチすると、1つ上のフォルダー内を表示します。
- **終了** にタッチすると、現在再生しているファイルの先頭に戻って再生を開始します。

レンタルコンテンツのファイルを選んだ場合

レンタルコンテンツのファイルを選んで再生する場合は、以下の画面が表示されます。



はい または **いいえ** にタッチします。

□	ディスクを停止します。
◀	前のファイルを表示します。
▶	次のファイルを表示します。

■ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 操作タッチキー2 (→ P47) のサーチ/10キーまたはサーチにタッチする

DVD



DivX



2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする

DVD

TITLE、**CHAPTER**、**TIME**、**10キーモード** が選べます。



DivX

FOLDER、**FILE**、**TIME** が選べます。



3 見たい場面の番号を入力し、決定にタッチする

DVD

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。 分・秒にタッチすると分と秒を確定します。
10キーモード	数字のコマンドを入力します。

指定した場面から再生を始めます。

DivX

FOLDER	フォルダー番号を入力します。
FILE	ファイル番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。 分・秒にタッチすると分と秒を確定します。

指定した場面から再生を始めます。

■字幕言語の切り替え (DVD)

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り替えることができます (マルチ字幕)。

1 操作タッチキー2 (→ P47) の字幕切替にタッチする



タッチするごとに、字幕言語が切り替わります。

- リモコンの **削除(主音)** を押しても字幕言語を切り替えることができます。
- パッケージについている **[.?)** マークの数字が、字幕の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。

■ 音声言語の切り替え

音声が多音録されているディスクの場合、再生中に音声を切り替えることができます(マルチ音声)。

1 操作タッチキー2 (→P47) の音声切替にタッチする

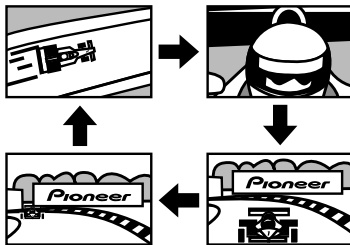


▼
タッチすることにより、音声言語が切り替わります。

- リモコンの「**切替** 音声」を押しても音声言語を切り替えることができます。
- DVDの場合、パッケージについている②のマークの数字が、音声の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。
- DTS 音声はデジタル出力のみ対応しています。
- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

■ アングルの切り替え (DVD)

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り替えることができます(マルチアングル)。



- マルチアングルが収録されている場で操作します。マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。

1 操作タッチキー2 (→P47) のアングル切替にタッチする

アングル選択マークが表示されている間は、アングル切り替えが行えます。



▼
タッチすることにより、アングルが切り替わります。

- リモコンの「**切替** アングル」を押してもアングルを切り替えることができます。
- パッケージについている③のマークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示 / 非表示は、初期設定メニューの「マルチアングル」で行います。→「マルチアングル」(P56)

■ リターン再生 (DVD)

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生することができます。

1 操作タッチキー2 (→P47) のリターンにタッチする



▼
ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

いろいろな再生操作のしかた

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します。

1 **メニュー**を押す

AVメニューが表示されます。

2 機能にタッチする

DVD



DivX



■ リPEAT再生

指定した範囲を繰り返して再生します。

1 AVメニューで**リPEAT**にタッチする



タッチすることにより、リPEATの範囲が以下のように切り替わります。

DVD

DISC REPEAT → CHAPTER REPEAT → TITLE REPEAT →元に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

DivX

DISC REPEAT → FILE REPEAT → FOLDER REPEAT →元に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
FILE REPEAT	再生中のファイルを繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します。



- 設定したリPEAT範囲は、ソースプレートに表示されます。
- 通常再生であるDISC REPEATはソースプレートに表示されません。
- DVDの場合、ディスクまたは再生位置によっては、禁止マークが表示され、リPEAT再生できない場合があります。
- リPEAT再生中にリPEATの範囲を超える操作（CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り替えなど）を行うと、リPEAT再生が中止される場合があります。
- オートプレイ（→P56）の設定がONのときは機能しません。

■ 音声出力の切り替え（DVD）

音声が入力されたPCMのディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り替えます。

1 AVメニューで**L/R切替**にタッチする

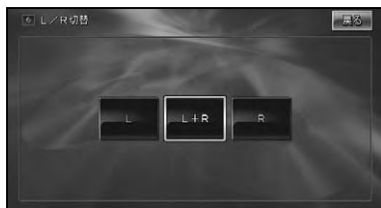


つづく→

DVD

DISC REPEAT → CHAPTER REPEAT → TITLE REPEAT →元に戻る

2 設定する項目にタッチする



L	左の音声を出力します。
L+R	左右両方の音声を出力します。
R	右の音声を出力します。



選んだ側の音声を出力します。

■再生メディアの切り替え (DivX)

再生するメディアを切り替えます。

1 AVメニュー (→P53) で **CD切替** または **ROM切替** にタッチする



選んだメディアを再生します。

DVD ビデオの初期設定のしかた

DVD の再生条件をあらかじめ使用する環境に合わせて設定しておきます。

初期設定できる項目は、以下のとおりです。

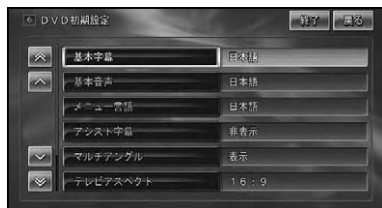
- 基本字幕言語
- 基本音声言語
- メニュー言語
- アシスト字幕の表示 / 非表示
- マルチアングルの表示 / 非表示
- テレビアスペクト (画面の縦横比)
- 視聴制限 (パレンタルロック)
- オートプレイの ON/OFF

初期設定をする

1 DVD 再生中に「メニュー」を押し、DVD 初期設定にタッチする



2 各項目にタッチし、設定を行う



各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。

■ 基本字幕

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます (マルチ言語字幕)。

日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、その他から選んでタッチします。

工場出荷時は「日本語」です。



- **その他**にタッチしたときは、「言語コード表」(→ P57) より、4桁の言語コードを数字で入力します。
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ディスクによっては設定した言語が優先されない場合があります。
- この設定にかかわらず、再生中にリモコンの「**削除字幕**」を押して字幕言語を切り替えることができます。押しごとに字幕が切り替わりますが、初期設定には反映されません。

■ 基本音声

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます (マルチ音声)。

設定項目は基本字幕と同じです。

■ メニュー言語

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。

設定項目は基本字幕と同じです。

■ アシスト字幕

アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕は、ディスクに収録されている場合のみ表示することができます。

工場出荷時は「非表示」です。

表示	アシスト字幕を表示します。
非表示	アシスト字幕を表示しません。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュー
ユーザー
サージック

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

■ マルチアングル

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示 / 非表示を設定することができます。工場出荷時は「表示」です。

表示	アングルマークを表示します。
非表示	アングルマークを表示しません。



- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像（マルチアングル）が収録されているディスクに対して有効です。

■ テレビアスペクト

接続したテレビのアスペクト（画面の縦横比）を設定します。工場出荷時は「16:9」です。

16:9	ワイドモニター（16:9）使用時に選びます。16:9で収録された画像が16:9で表示されます。
-------------	---

レターボックス	ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16:9で収録された画像の横幅を4:3モニターの横幅に合わせて16:9の比率で表示します。
----------------	---

パンスキャン	ノーマルモニター（4:3）使用時に選びます。16:9で収録された画像の縦幅を4:3モニターの縦幅に合わせて16:9の比率で表示します（左右にはみ出た映像は表示されません）。
---------------	--



- 通常は16:9に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、パンスキャンに設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで**16:9 PS**マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

■ 視聴制限

視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面にパスワードを設定して視聴制限をかけることができます（パレンタルロック）。

設定レベル	内容
8	ディスクを全て再生します。
7~2	成人向けディスクの再生を禁止します（子供向けや一般向けディスクを再生します）。
1	子供向けのディスクのみ再生します。



- 視聴制限**にタッチすると、暗証番号入力画面が表示されますので、希望の暗証番号を登録してください。以後、視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要になります。

■ 暗証番号を忘れたときは

暗証番号入力画面で**削除**に10回連続でタッチするかリモコンの**削除**（字幕）を10回連続で押すと、暗証番号が解除されます。

■ オートプレイ

DVDを挿入したときに、メニューのタイトル順に自動的に再生を開始するかどうかを設定します。工場出荷時は「OFF」です。

ON	自動再生します。
OFF	自動再生しません。



- オートプレイの設定をONにしても、ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにして再生してください。
- オートプレイの設定がONの時はリピート再生は機能しません。

言語コード表

言語名 (言語コード)	入カコード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブバジア語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハーリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712

言語名 (言語コード)	入カコード
グララニ語 (gn)	0714
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
interlingue (ie)	0905
イヌビアク語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カンナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612

言語名 (言語コード)	入カコード
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
サルボアクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
ショナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スンダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジル語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チグリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トウィ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サービング

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

ミュージックサーバー

ミュージックサーバーについて.....	60	オートモードで再生する.....	74
ミュージックサーバー (MSV) とは.....	60	オートモードの操作画面について.....	75
録音できるメディアについて.....	60	マニュアルモードで再生する.....	75
ミュージックサーバーに録音する.....	61	マニュアルモードの操作画面について.....	75
録音についてのご注意.....	61	再生曲が選択した曲調と合わないとき.....	76
CD 録音の制限について.....	61	フィーリングプレイを中止して通常再生に戻る... 76	
タイトル表示について.....	61	フィーリングプレイの設定.....	76
CD を自動的に録音する.....	61	フィーリングプレイ対象外設定.....	77
CD を手動で録音する.....	62	オートモード設定.....	77
CD の 1 曲目だけを自動的に録音する.....	62	学習クリア.....	78
CD 以外のソースを録音する.....	63	リンクゲートプレイ.....	79
録音設定.....	63	リンクゲートプレイで再生する.....	79
録音時間 (CD 以外).....	63	リンクゲートプレイの操作画面について.....	79
録音モード.....	63	属性を選んで再生する.....	79
無音検出.....	64	属性を解除する (オールランダム).....	80
ミュージックサーバーの聴きかた.....	65	曲を探す.....	80
グループ、プレイリスト、トラックについて.....	65	リンクゲートプレイを中止して通常再生に戻る... 80	
再生する.....	65	プレイリストやグループを作成する.....	81
再生を一時停止する.....	66	ユーザーグループにプレイリストを作成する.....	81
詳細情報を表示する.....	66	カスタマイズグループを作成する.....	82
表示画面を切り替える.....	66	プレイリストやグループ、 トラックを編集する.....	84
いろいろな再生操作のしかた.....	67	グループを編集する.....	84
リピート再生.....	67	グループの詳細情報を表示する.....	84
ランダム再生.....	68	グループ内のプレイリストを消去する.....	85
ダイジェストスキャン再生.....	68	グループ内のプレイリストの再生順を変更する... 85	
ヒットチャートプレイ.....	69	カスタマイズグループを初期化する.....	86
ヒットチャートについて.....	69	プレイリストを編集する.....	86
ヒットチャート順に再生する (ヒットチャートプレイ).....	69	プレイリストの詳細情報を表示する.....	87
ヒットチャートのリスト画面について.....	70	プレイリストのタイトルやよみを変更する.....	87
カウントダウンとカウントアップを切り替える... 71		プレイリストのアーティスト名を変更する.....	88
ヒットチャートプレイを中止して通常再生に戻る... 71		プレイリストのジャンルを変更する.....	88
チャート情報を更新する.....	71	プレイリストに画像を設定する.....	88
最新のヒットチャートを見る.....	72	ユーザープレイリストにトラックを追加する... 89	
リンクを付ける.....	72	プレイリストからトラックを消去する.....	89
フィーリングプレイ.....	74	ユーザープレイリストの トラック再生順を変更する.....	90
フィーリングプレイとは.....	74	トラックを編集する.....	90
プレイモード選択画面を表示する.....	74	タイトル情報を取得する.....	92
		タイトル情報について.....	92
		取得できる情報.....	92
		NO TITLE 表示について.....	92
		タイトル情報を取得する.....	92
		マイデータベースの作成.....	93
		メモリーデバイスから楽曲を読み込む.....	94
		メモリーデバイスから楽曲を読み込む.....	94

ミュージックサーバーについて

ミュージックサーバー (MSV) とは

音楽 CD やラジオなどの音源を本機のハードディスクに録音していろいろな方法で再生できる機能です。ミュージックサーバーを楽しむには、まず CD などから音源を録音することから始めます。



- ミュージックサーバーには、CD 約 240 枚分の録音ができます。

録音できるメディアについて

録音方法と録音できるメディアおよびソースは次のとおりです。

デジタル録音

- CD

アナログ録音

- TV、AM、FM、TI (交通情報)、M-CD (マルチCD)、AUX

PC からメモリーデバイス経由で転送^{※1}

- WMAファイル、MP3ファイル

※録音できないソース

- DVDビデオ、ROM (WMA/MP3/AAC)、DivX、DTV、ワンセグ、VTR、iPod、EXT

※録音できないメディア

- ROM やメモリーデバイスに保存されている WMA/MP3/AAC ファイル^{※1}、DivX ファイル、コンバインドディスク、CD などからデジタル録音した記録媒体



- ※1 : WMA/MP3/AAC ファイルを記録した媒体 (CD-R やメモリーデバイスなど) から、ミュージックサーバーに直接録音することはできませんが、PC リンクソフト「NAVI*STUDIO Ver.2.1」を使用すると、メモリーデバイス経由で WMA/MP3 ファイルを転送することができます。
- ミュージックサーバーでは VBR 形式の MP3 ファイルの再生は対応していません。

ミュージックサーバーに録音する

音楽用 CD などの音楽を、本機のハードディスクに録音することができます。

録音についてのご注意

録音する前にお読みください。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音操作の確認や録音後に録音内容の確認を行ってください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 高効率の圧縮方式を採用しているため、音源によっては原音と異なって聞こえる場合があります。またノイズが発生する可能性があります。ご容赦ください。

CD 録音の制限について

- 標準的な CD (44.1kHz、16ビットステレオの PCM デジタル音声データ) 以外の CD からは録音できません。
- コピーコントロール CD の録音については保証していません。
- CD などをデジタル録音した記録媒体 (CD-R など) から、ミュージックサーバーに録音 (コピー) することはできません。また、ミュージックサーバーからメモリーデバイスにコピーすることもできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム (SCMS) の働きによるものです。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- ライブ CD などの曲間が途切れない CD を録音しているときにエンジンを停止したりして電源が OFF になった場合には、再生時に曲間で音が途切れる場合があります。
- CD 録音時に、1つのプレイリストに録音できるトラック数は最大で 99 個までです。

タイトル表示について

内蔵の Gracenote 音楽認識サービス (CDDDB) から情報が取得できた場合は、ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。



- タイトル情報に複数の候補があった場合や、タイトル情報が収録されていなかった場合は、「No Title」と表示されます。その場合は、タイトル情報を取得しなおすと、正しいタイトルを表示させることができる場合があります。→「タイトル情報を取得する」(P92)
- CD 再生中画面や CD → MSV 録音中画面に表示されるタイトル情報は、ミュージックサーバーと共通のタイトル情報を使用しています。ミュージックサーバーでタイトル情報を編集すると、それぞれの画面のタイトルにも反映されます。
- タイトル情報は、そのディスクの曲が 1 曲以上ミュージックサーバーに録音されていないと編集できません。→「プレイリストを編集する」(P86)

CD を自動的に録音する

録音していない CD を再生すると、自動的にミュージックサーバー (MSV) への録音を開始されます。

1 録音モードをオートにする (→ P63)

※出荷時は「オート」になっています。

つづく→

2 録音したい CD を挿入する

自動的に録音が始まります。

CD → MSV (録音中画面)



- 録音が完了した曲のトラックタイトルに色が付きます。現在再生中の曲には♪マークが付きます。
- 全ての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生(ランダム再生など)はできません。選曲操作が必要な場合は、**REC** にタッチするかリモコンの **削除** を押して録音を中止してください。
- CDからの録音は4倍速で録音していません。録音中に再生している音はミュージックサーバーに録音された音になります。
- CD録音中に他のソースを楽しむことができます。他のソースに切り替えてもCDの録音は継続しています。
- CDからの録音中は、画面右上に **R** (赤) マークが表示されます。

CDを手動で録音する

CDの中から、好みの曲だけを録音することができます。

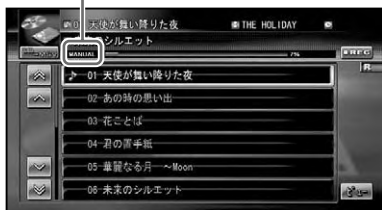
1 録音モードを**マニュアル**にする (→ P63)

※出荷時は「オート」になっています。

2 録音したい曲を再生する (→ P40)

3 **REC** にタッチする

「MANUAL」表示



再生中の曲は始めに戻って録音が始まります。録音が終了すると、CD再生画面に切り替わります。

- リモコンの **削除** を押して操作することもできます。

CDの1曲目だけを自動的に録音する

CDの1曲目だけを録音することができます。シングルCDなどを連続して録音するときに便利なモードです。

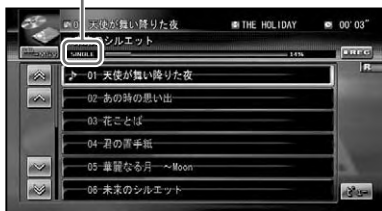
1 録音モードを**シングル**にする (→ P63)

※出荷時は「オート」になっています。

2 録音したい CD を挿入する

自動的に録音が始まります。

「SINGLE」表示



1曲目の録音が終了すると、CD再生画面に切り替わります。

CD以外のソースを録音する

CD以外のソースを録音するときは、アナログ録音となります。

- アナログ録音の場合は、CDの録音と異なり、録音の開始と終了のタイミングは手動となります。
- 「録音時間」(→後記)で設定された時間が経過すると、録音は自動停止します。
- DVDビデオ、DivX、ROM(WMA/MP3/AAC)、DTV、ワンセグ、iPod、VTR、EXTソースは録音できません。

1 録音するソースに切り替える(→P12)

2 RECにタッチする



録音が始まります。

- リモコンの **削除** を押して操作することもできます。
- アナログ録音中は、画面右上に **R** (橙) マークが表示されます。
- 実際に録音が始まるまで数秒かかります。
- アナログ録音の場合、1回の操作で1つのプレイリストが作成されます。
- 「録音設定」の「無音検出」(→P62)を「ON」に設定しておく、無音箇所を検出し自動的にトラックを区切り、以降を新しいトラックとして作成します。
- 無音検出により作成されるトラックは、最大で99個までです。

3 RECにタッチして録音を停止する

- リモコンの **削除** を押して操作することもできます。

録音設定

CDの録音モード(自動録音、手動録音)やCD以外のソースの録音時間、無音検出などの録音設定を行います。

- 録音中は設定できません。

1 AVソース画面でメニューを押し、システム設定→録音設定にタッチする



2 設定する



■ 録音時間 (CD 以外)

CD以外のソースをアナログ録音する場合の設定をします。設定された時間になると、録音は自動停止します。工場出荷時は「70分」です。

10分、30分、50分、70分、90分、160分、320分から選んでタッチします。

■ 録音モード

CDの録音モードを設定します。工場出荷時は「オート」です。

オート	CDを再生すると、自動的に全ての曲を録音します。
マニュアル	録音したい曲を手動で選び、録音します。
シングル	CDの1曲目だけを自動的に録音します。

■無音検出

マルチ CD、AUXソースのアナログ録音時に、2 秒間の無音箇所が検出された時点でトラックを区切り、その箇所以降を新しいトラックとして作成します。

工場出荷時は「ON」です。

ON	無音箇所を検出します。
OFF	無音箇所を検出しません。



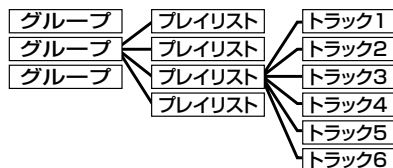
- 録音する曲によっては、曲の途中を終わりと判断したり、曲の終わりの判断ができない場合があります。

ミュージックサーバーの聴きかた

ハードディスクに録音した音楽は、ミュージックサーバー (MSV) というソースで聴きます。

グループ、プレイリスト、トラックについて

ミュージックサーバーは、次のようにグループ、プレイリスト、トラックの3つの階層で構成されています。



グループには以下のようなものがあります。

オリジナルグループ	録音した曲データそのものが格納されているグループです。CDを1枚録音した場合や、メモリーデバイスから楽曲を読み込んだ場合に、プレイリストが作成されます。
アーティストグループ	タイトル情報のアーティスト名別に自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。
ジャンルグループ	リンクゲートプレイ時、ジャンル属性で再生すると自動的に作成されるグループです。編集は行えません。
ユーザーグループ	ユーザーが好みに応じて作成したお好みの曲順プレイリストが格納されているグループです。
カスタマイズグループ1~5	ユーザーが好みに応じて作成したお好みのプレイリストが格納されているグループです。

再生する

ミュージックサーバーに録音した曲を再生します。

1 [SRC]を押してソースをMSV (ミュージックサーバー) に切り替える (→ P12)

前回再生していたトラックリストが表示され、再生されます。

2 聴きたい曲 (トラック) にタッチする



本体またはリモコンで操作する場合：

▲ / ▼	プレイリストを順に送る
◀ / ▶	トラックを順に送る
⏪ / ⏩ (押し続ける)	早戻し / 早送り

- **グループリスト**や**プレイリスト**のタブにタッチしてリストを切り替え、グループやプレイリストを選んで再生することもできます。
- 再生中のグループ、プレイリスト、トラックには、項目名の頭に▶マークが付きます。
- アナログ録音した曲のプレイリストおよびトラック名には項目名の頭に▶マーク、PCから転送した曲のプレイリストおよびトラック名には▶マークが付きます。PCから転送した曲のプレイリストおよびトラックは、デジタル録音中は再生できません。
- 再生を中止するには、ソースをOFFにします。(→ P12)

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

再生を一時停止する

1 再生中の曲にタッチする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポーズ / 再生にタッチする



▼
ディスクの再生が一時停止します。

ポーズ / 再生にもう一度タッチすると、再生を再開することができます。

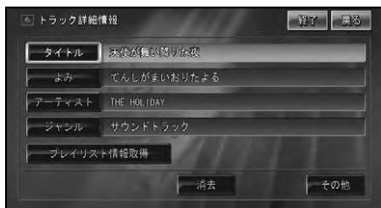
詳細情報を表示する

現在再生中のグループ、プレイリスト、トラックの詳細情報を見ることができます。

1 再生中の曲にタッチする

ポップアップメニューが表示されます。

2 詳細情報 / 編集にタッチする



▼
詳細情報（タイトル、よみ、アーティスト、ジャンルなど）が表示されます。

戻るにタッチすると、元の画面に戻ることができます。



• タイトル、よみ、アーティスト、ジャンルなどを選ぶとそれぞれの編集画面が表示され、編集することができます。→「プレイリストやグループ、トラックを編集する」(P84)

• 詳細情報表示画面内に**その他**がある場合は、タッチすることで他の情報も表示することができます。

表示画面を切り替える

ミュージックサーバーの表示画面を切り替えることができます。

1 プューにタッチする

タッチすることにより、画面表示が以下のように切り替わります。



• リモコンの**プュー**を押して操作することもできます。

• プレイリストに画像を設定しておく、プレイリストおよびトラックリスト表示中に、通常リストを除き、設定した画像が表示されます。→「プレイリストに画像を設定する」(P88)

• プログレッシブ JPEG には対応していません。

• ヒットチャートプレイおよびフィーリングプレイ再生中は、3行リストには切り替わりません。

• リンクゲートプレイ再生中は、3行リスト、リストオフには切り替わりません。

• フィーリングプレイ再生中は、再生中のフィーリングに応じた画像が背景に表示されます。

通常リスト画面



3行リスト画面



リストオフ画面



オールオフ画面



- リストオフ画面、およびオールオフ画面のときに画面にタッチすると、通常リストに戻ります。
- オールオフ画面のときにリモコンの **ピュ** を押すと、通常リストに戻ります。

いろいろな再生操作のしかた

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します。

1 **メニュー**を押す

AVメニューが表示されます。

2 機能にタッチする



■ リpeat再生

リピートとは繰り返して聴く再生範囲を指定することです。例えば、リピートをTRACK REPEATにすると再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

1 AVメニューで**リピート**にタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

GROUP REPEAT → TRACK REPEAT → PLAYLIST REPEAT → **元に戻る**

GROUP REPEAT	通常の再生状態です。再生中のグループを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック（曲）を繰り返します。
PLAYLIST REPEAT	再生中のプレイリストを繰り返します。

- リpeat再生中にリピートの範囲を超える操作を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- TRACK REPEAT 再生中に、ランダム再生、ダイジェストスキャン再生を行うと、リピート範囲はPLAYLIST REPEATに切り替わります。
- ヒットチャート再生中は、ヒットチャートをプレイリストとしたリピート再生をします。
- フィーリングプレイ再生中は、リピート再生できません。
- 通常再生であるGROUP REPEATは、ソースプレートに表示されません。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

■ ランダム再生

選んだリピートの範囲内(→P65)で、トラックの再生順を変えて再生することができます。

1 AVメニュー(→P67)で**ランダム**にタッチする



タッチするごとに、ランダム再生のON/OFFが切り替わります。

- リピートの範囲が TRACK REPEAT の場合、ランダム再生を ON にすると、リピートの範囲は PLAYLIST REPEAT に自動的に切り替わります。
- ヒットチャート再生中はヒットチャートをプレイリストとしたランダム再生をします。
- ランダム再生中にその他の再生操作(リピート再生、ダイジェストスキャン再生など)やリピートの範囲を超える操作(プレイリストの切り替えなど)を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。
- 通常の再生リスト(→P65)から、グループやプレイリストを選んで再生している場合のランダム再生は、選んだグループまたはプレイリスト内で行われます。

■ ダイジェストスキャン再生

選んだリピートの範囲内(→P65)で、各トラックや各プレイリストの先頭曲のハイライト部分を、約15秒間ずつ聴くことができます。

- ハイライト部分は、本機の曲調・ハイライト検出処理機能で検出します。検出できなかったトラックに関しては、演奏開始部分約15秒間を再生します。
- VBR方式のファイルに対するダイジェストスキャンは先頭からの再生になります。

1 AVメニュー(→P67)で**ダイジェスト**にタッチする



タッチするごとに、ダイジェストスキャン再生のON/OFFが切り替わります。

- 聴きたいトラックまたはプレイリストが再生されたら、もう一度**ダイジェスト**にタッチします。
- ダイジェストスキャン再生を始めたトラックまで戻ると、ダイジェストスキャン再生は解除されます。
- ヒットチャート再生中はヒットチャートをプレイリストとしたダイジェストスキャン再生をします。
- ダイジェストスキャン再生中にその他の再生やリピートの範囲を超える操作を行うと、ダイジェストスキャン再生が中止される場合があります。
- フィーリングプレイ再生中は、ダイジェストスキャン再生できません。

ヒットチャートプレイ

ヒットチャートプレイとは、ミュージックサーバーに録音されている曲をヒットチャート順に再生する機能です。

ヒットチャートについて

チャート情報は、本機のハードディスクまたは専用サーバーから取得することができます。また、画面でチャート情報を見ることもできます。

お知らせ

- ・ヒットチャートプレイの通信サービスは、2009年6月30日をもって終了しました。最新のヒットチャート情報を専用サーバーから取得することはできません。

ヒットチャートプレイ

年別のヒット曲	過去10年間の最大100位までの年間チャート、タイアップ(テレビ、CMなど)別チャート
最近のヒット曲	3カ月前までの発売日順のリスト(100曲まで)

最新チャート表示

週間チャート	3週間前までの30位
月間チャート	3カ月前までの50位

- ・ヒットチャートはオリコンランキングをもとに作成されています。
- ・専用サーバーから取得したヒットチャート情報(年間チャート10年分、最近のヒット曲3カ月、月間チャート3カ月分、週間チャート3週間分)は、ハードディスク内に保存され、古い情報は削除されます。
- ・専用サーバーから取得できるのは、チャート情報のみで、曲そのもののダウンロードはできません。
- ・ヒットチャートプレイは、タイトル情報取得で自動的にリンクされた曲のみ有効です。しかし、自動的にリンクされなかった場合は、自分でリンクを付けることができます。→「リンクを付ける」(P72)

ヒットチャート順に再生する(ヒットチャートプレイ)

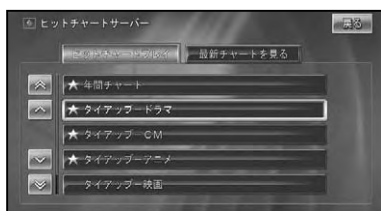
選んだヒットチャート順にしたがってミュージックサーバー内の曲が再生されます。

1 [メニュー] を押し、**ヒットチャートプレイ** にタッチする



- ・ヒットチャート再生を解除(通常再生)するには、ソースメニューの**通常再生**にタッチします。(→P71)

2 ★マークの付いている項目にタッチする



- ・チャート内に録音済み(再生可能)の曲がある場合のみ★マークが表示されます。

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

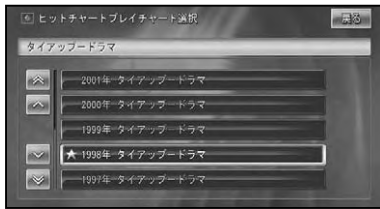
オーディオ設定

システム設定

その他の機能

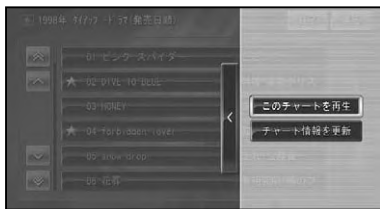
付録

3 ★マークの付いているチャートにタッチする



- 走行中は、選んだヒットチャートで再生が始まり、通常操作画面が表示されます。

4 ▶このチャートを再生にタッチする



▼
選んだチャートをカウントダウンしながら再生します。

- ★マークが表示されている曲を選び、**この曲から再生**にタッチすると、選んだ曲からチャートをカウントダウンしながら再生していきます。
- リスト中の曲を選び、**チャート情報**または**ディスク情報**にタッチすると、選んだ曲の情報を表示させることができます。

■ ヒットチャートのリスト画面について

ヒットチャートの各リスト画面は、チャート種別、順位（「最近のヒット曲」、タイアップチャートは除く）、トラックタイトル、アーティスト名、チャート再生順を表示します。



再生できる曲がある場合は、★が表示されます。通常のミュージックサーバー同様リストから選曲できます。

本体またはリモコンで操作する場合：

- | | |
|-------|-------------------------|
| ▲ / ▼ | 次の年 / 前の年のヒットチャートを選びます。 |
| ◀ / ▶ | リスト内で前の曲 / 次の曲を選びます。 |

- 自動でリンク付けされたタイトルには★マーク、マニュアルでリンク付けしたタイトルには **TM** マークが表示されます。

■ カウントダウンとカウントアップを切り替える

ヒットチャートプレイ中に、チャートに沿ったカウントダウン（下位から上位へ）、カウントアップ（上位から下位へ）を切り替えることができます。

1 ヒットチャート再生中に **メニュー** を押し、 **カウントアップ** または **カウントダウン** にタッチする



■ ヒットチャートプレイを中止して通常再生に戻る

ヒットチャートプレイを止めて通常のミュージックサーバーに戻します。

1 ヒットチャート再生中に **メニュー** を押し、 **通常再生** にタッチする



通常再生に戻ります。

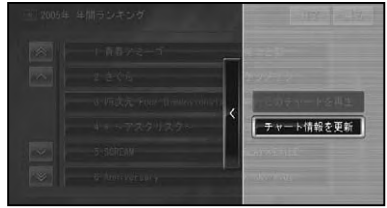
■ チャート情報を更新する

ヒットチャートの情報を更新します。最近発売されたCDなどをヒットチャートプレイで再生するには、チャート情報を更新してください。

• ヒットチャートプレイの通信サービスは、2009年6月30日をもって終了しました。最新のヒットチャート情報を専用サーバーから取得することはできません。

1 ヒットチャートのトラックリストを表示する (→ P70)

2 > チャート情報を更新にタッチする



通信が開始されます。

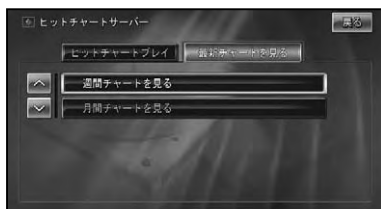
ダウンロードが完了すると、最新チャートが表示されます。

最新のヒットチャートを見る

専用サーバーから最新の週間、月間チャートをダウンロードして見ることができます。

- ヒットチャートプレイの通信サービスは、2009年6月30日をもって終了しました。最新のヒットチャート情報を専用サーバーから取得することはできません。

1 **メニュー**を押し、**ヒットチャートプレイ**最新チャートを見るにタッチする



2 **週間チャートを見る**または**月間チャートを見る**にタッチする

3 **はい**にタッチする



ダウンロードが完了すると、最新チャートが表示されます。

4 **見たい週や月にタッチする**

チャートが表示されます。



リンクを付ける

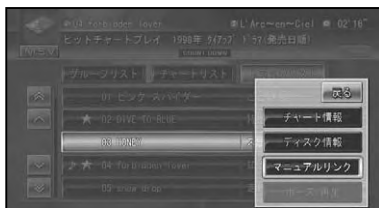
ヒットチャートリンク情報はタイトル情報と一緒にダウンロードされますが、発売直後のCDなどは、リンク情報が更新されていない場合があります。そのような場合は、タイトル情報とのリンクをマニュアルで行います。

1 **リンク付けしたい曲をリスト表示する**

2 **曲名にタッチする**



3 **マニュアルリンク**にタッチする

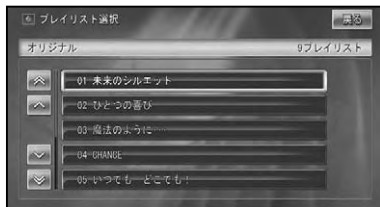


4 リンク先選択にタッチする

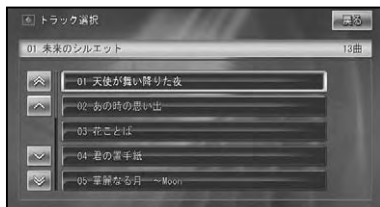


- リンク設定後に**リンク消去**にタッチすると、リンクを解除できます。

5 リンクする曲のプレイリストにタッチする



6 リンクする曲にタッチする



リンク付けが完了すると、手順 **4** の画面に戻ります。**終了**にタッチするとリンク付けを終了します。

- 1つのトラックに対して最大5件までのチャートをリンクさせることができます。
- この操作でリンク付けしたトラックが優先して再生されます。

フィーリングプレイ

お使いになるときの気分や車の走行状態などに合わせた曲を集めて、自動的に再生する機能です。

フィーリングプレイとは

録音時に抽出した曲の特徴（明るい、ノリがいい、静かな、かなしい、癒される）から、周りの環境（走行状態・天気・時間）に合った曲を本機が自動的に選曲したり、お客様が曲の特徴を選び、それに合った選曲で再生することができる機能です。また、最後まで聴いた曲を学習して、よりお客様好みの選曲をするよう成長していきます。

なお、以下の場合にはフィーリングプレイの選曲対象外となります。

- 音楽でないもの
- 1分以下の楽曲
- アナログ録音（→P63）されたもの

- ✎ フィーリングプレイ機能は、ポップスやロックなどの音楽に調整されています。
- フィーリングプレイで再生したくない場合は、対象外設定を行うことができます。（→P77）
- フィーリングプレイを解除（通常再生）するには、ソースメニューの**通常再生**にタッチします。（→P76）
- 表示されるトラックリストは、これまでの学習内容（曲を最後まで聴く/UNFIT）を考慮した上で、曲調にマッチする曲をランダムに並べたものです。
- オートモード時の「天気」は、ウェザーライブ（→『ナビゲーションブック』）による天候情報が取得されているときに考慮されます。
- 再生中の曲調に応じて背景が変化します。

プレイモード選択画面を表示する

- 1 **メニュー**を押し、**フィーリングプレイ**にタッチする



プレイモード選択画面が表示されます。

オートモードで再生する

走行状態や天気、現在の時間を考慮して、現在のシチュエーションに合った曲を自動的に選曲し再生します。

- 1 **メニュー**を押し、**フィーリングプレイ** **オートモード**にタッチする



▼
オートモードの操作画面が表示されます。

- 現在のシチュエーションに該当する曲がない場合は、フィーリングプレイ対象の曲をランダムに再生します。
- 再生される曲はマニュアルモードにおける学習を反映したものです。

■ オートモードの操作画面について

オートモードの操作画面には、走行状態や天気、時間などで選曲された曲のリストが表示されます。

現在再生中の曲には♪マークが表示されます。



■ マニュアルモードで再生する

フィーリング（明るい、ノリがいい…）からお好みの曲調を選ばると、それに合った曲を自動的に選曲し再生します。

マニュアルモードでの再生操作は、基本的にミュージックサーバーと同様です。（→P65）

選べるプレイリストがフィーリングリストになります。

1 **メニュー** を押し、**フィーリングプレイ** - 聴きたい曲調にタッチする



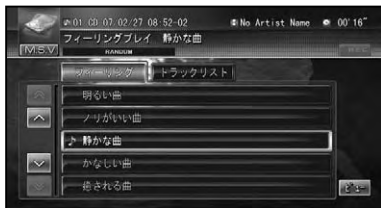
▼
選んだ曲調の曲が再生され、マニュアルモード操作画面が表示されます。

- 選んだ曲調に該当する曲がないときは、メッセージが表示されます。
- AVメニュー（→P68）で**ランダム**にタッチすると、再生順を曲調にマッチする曲順に切り替えることができます。

■ マニュアルモードの操作画面について

マニュアルモードの操作画面には、フィーリング（リスト）とトラックリストの表示があります。

フィーリング（リスト）

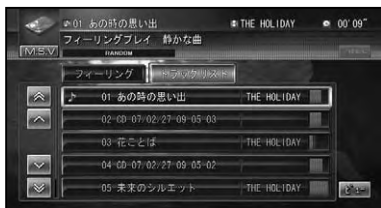


リストには本機で選択できるジャンル（曲調）の名前が表示されます。

現在再生中の曲調には♪マークが表示されます。

表示されている曲調を選択すると、その曲調にマッチした曲が選択されます。

トラックリスト



リストには選曲した曲の情報（タイトル、アーティスト名）が表示されます。

現在再生中の曲調には♪マークが表示されます。

選曲した曲の曲調との一致度合いが右側のバーに表示されます。

トラックリストから選曲した場合は、その曲からリスト順に再生されます。

通常ミュージックサーバー同様リストから選曲できます。

つづく→

本体またはリモコンで操作する場合：

◀/▶ リスト内で前の曲/次の曲を選びます。

■再生曲が選択した曲調と合わないとき

再生している曲が選択した曲調と合わないときは、次の操作をすることにより本機に学習させることができます。

1 トラックリストを表示し再生中のトラックにタッチする



2 UNFIT にタッチする



再生している曲が選択した曲調と合わないと判断し、次回以降のトラックリスト作成に反映します。

再生は次のトラックに切り替わります。

フィーリングプレイを中止して通常再生に戻る

フィーリングプレイを止めて通常のミュージックサーバーに戻します。

1 フィーリングプレイ再生中に **メニュー** を押し、**通常再生** にタッチする



通常再生に戻ります。

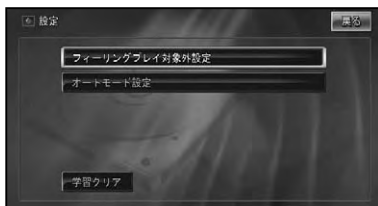
フィーリングプレイの設定

フィーリングプレイで再生したくないプレイリストがある場合、そのプレイリストをフィーリングプレイの対象外として設定することができます。また、オートモードの周りの環境に対する曲調を変更したり、学習値をクリアすることもできます。

1 **メニュー** を押し、**フィーリングプレイ設定** にタッチする



フィーリングプレイ設定画面が表示されます。

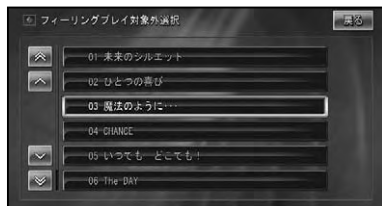


■ フィーリングプレイ対象外設定

プレイリストをフィーリングプレイ対象から外すことができます。

1 フィーリングプレイ設定画面で フィーリングプレイ対象外設定 にタッチする

2 対象から外すプレイリストに タッチする



▼
選ばれたプレイリストには (禁止マーク) が付き、フィーリングプレイでは再生できなくなります。

- ✎ もう一度 (禁止マーク) の付いたプレイリストにタッチすると、設定した対象外設定は解除されます (禁止マークが消えます)。
- アナログ録音されたプレイリストは選ぶことはできません。
- 対象外の設定は、次にフィーリングプレイで再生するときから有効となります。

■ オートモード設定

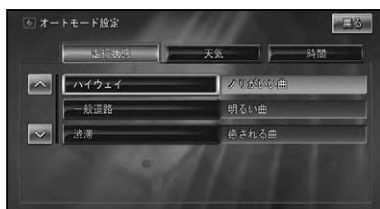
オートモード再生時の、周りの環境に適した曲調の設定を変更することができます。

1 フィーリングプレイ設定画面で オートモード設定にタッチする

2 設定にタッチする



3 変更したい項目にタッチする



4 変更する曲調にタッチする



つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録



- 「走行状態」・「天気」・「時間」に適した曲調を設定できます。
- 手順 2 で**初期化**にタッチすると、設定した曲調を工場出荷時の状態に戻すことができます。工場出荷時の状態は以下のとおりです。

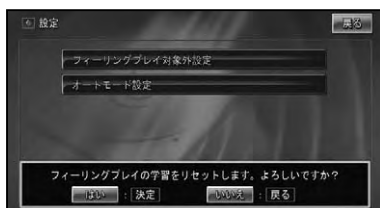
走行状態	ハイウェイ	ノリがいい曲
	一般道路	明るい曲
	渋滞	癒される曲
天気	晴れ	ノリがいい曲
	曇り	明るい曲
	雨	静かな曲
	雪	かなしい曲
時間	早朝	癒される曲
	朝	明るい曲
	昼	ノリがいい曲
	夜	静かな曲
	深夜	かなしい曲

■ 学習クリア

本機がマニュアルモード (→ P75) により学習してきた学習値をクリアします。

1 フィーリングプレイ設定画面 (→ P76) で**学習クリア**にタッチする

2 **はい**にタッチする



学習値をクリアします。

リンクゲートプレイ

リンクゲートプレイとは、現在再生中の曲と同じ種類の曲を簡単な操作で選出し、再生する機能です。

リンクゲートプレイで再生する

1 **メニュー** を押し、**リンクゲートプレイ** にタッチする



リンクゲートプレイで再生が開始されます。

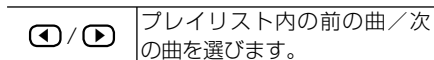
- 最初にリンクゲートプレイモードに切り替えたときは、全ての楽曲（オリジナルグループ）をランダムに再生するオールランダムモードで再生します。
- 再生中の曲にジャケット写真情報が含まれる場合、画面に表示されます。
- プログレッシブ JPEG には対応しておりません。

■ **リンクゲートプレイ** の操作画面について

5つの属性とリピートの状態が表示されます。現在選択中の属性には、再生中の属性の総曲数が表示されます。次の曲の予約がされている場合は、「NEXT」が表示されます。再生中のプレイリストに画像情報やジャケット情報がある場合は、画面に表示されます。



本体またはリモコンで操作する場合：



■ **属性を選んで再生する**

現在再生中の曲と同じ属性の曲を再生することができます。



Artist	現在再生中の曲と同じアーティストの曲をランダムに再生します。
Playlist	現在再生中の曲が収録されているオリジナルプレイリスト内をプレイリスト順に再生します。
Genre	現在再生中の曲と同じジャンルの曲をランダムに再生します。
Feeling	現在再生中の曲と同じフィーリングの曲をランダムに再生します。
Tempo	現在再生中の曲と同じテンポの曲をランダムに再生します。
All Songs	属性を解除して、全ての楽曲（オリジナルグループ）をランダムに再生します。

- フィーリング情報が表示されていても、該当する楽曲がない場合があります。

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

1 リンクゲートプレイ再生中に他の属性にタッチする



選んだ属性が予約状態となり、現在再生中の曲が終わると、選んだ属性のプレイリストをランダムで再生します。

- 予約を行うと、画面右側に「Next」と表示されます。
- 予約した属性を解除するには、もう一度同じ属性にタッチします。
- 予約した属性ですぐに再生したいときは、**▶**を押します。
- 選んだ属性の曲の再生が開始すると、画面右側にその属性の曲数が表示されます。
- 再生中の属性にタッチすると、ポップアップが表示され、トラックリピート / 解除、一時停止（ポーズ） / 解除が行えます。
- 「Feeling」は、同じ属性の総曲数が表示されていても、再生できない場合があります。

■ 属性を解除する（オールランダム）

指定した属性を解除して、全ての楽曲（オリジナルグループ）をランダムに再生します。

1 リンクゲートプレイ再生中に **All Songs** にタッチする

全ての楽曲をランダムに再生します。

■ 曲を探す

オリジナルグループ内すべての曲から聞きたい曲を探します。

1 オールランダムモードで再生中に **All Songs** - **ダイジェスト** にタッチする

オリジナルグループ内の全ての楽曲のハイライト部分が、約15秒ずつランダムに再生されます。

- ハイライト部分は、本機の曲調・ハイライト検出処理機能で検出します。検出できなかったトラックに関しては、演奏開始部分約15秒間を再生します。
- **All Songs** - **ダイジェスト解除** にタッチすると、オールランダムに戻ります。

リンクゲートプレイを中止して通常再生に戻る

リンクゲートプレイを止めて通常再生に戻します。

1 リンクゲートプレイ再生中に **メニュー** を押し、**通常再生** にタッチする



通常再生に戻ります。

プレイリストやグループを作成する

プレイリストやグループを作成しておく、いつでも呼び出して指定した順番で再生することができます。

ユーザーグループにプレイリストを作成する

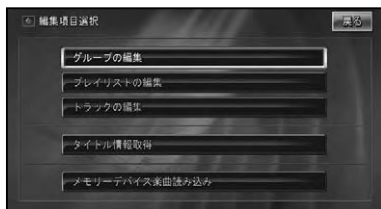
ミュージックサーバーに録音した曲から、曲を選んでプレイリストを作成しておく、いつでも呼び出して指定した順番で曲を再生することができます。作成したプレイリストはユーザーグループに保存されます。

- プレイリストは 99 個まで作成できます。
- 1 つのプレイリストには、99 曲（トラック）まで登録できます。

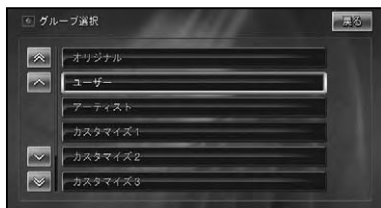
1 **メニュー** を押し、**編集** にタッチする



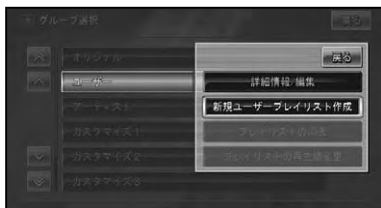
2 **グループの編集** にタッチする



3 **ユーザー** にタッチする



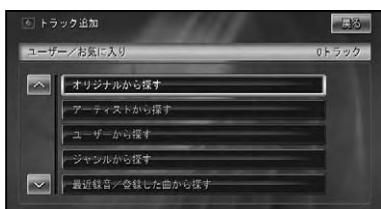
4 **新規ユーザープレイリスト作成** にタッチする



5 **タイトル** を入力し、**入力終了** にタッチする



6 **トラックを探す方法** にタッチする



- **最近録音／登録した曲から探す**以外を選んだ場合は、プレイリストやジャンルを順に選びます。

つづく→

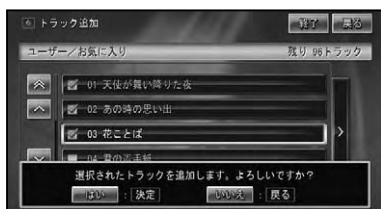
7 登録したいトラックにタッチする



他のリストからもトラックを選びたい場合は、**戻る**にタッチして手順**6**に戻り、他のリストからトラックを選びます。

- **▶**にタッチしてサイドメニューを表示すると、**全選択**が表示され全ての曲を選択することができます。ただしリストに100曲以上ある場合は、選択できません。選択を解除するには、**全解除**にタッチするか解除したい曲にタッチします。

8 終了—はい—toタッチする



▼
ユーザープレイリストが作成され、ユーザーグループに登録されます。

カスタマイズグループを作成する

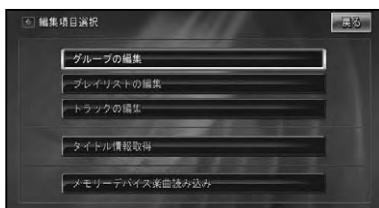
カスタマイズグループは、ミュージックサーバー内のプレイリストを選んで、カスタマイズグループ1～5のいずれかに登録(追加)することで、作成できます。カスタマイズグループを作成しておくと、いつでも呼び出して指定した順番でプレイリストを再生することができます。作成したグループには好きな名前が付けられます。

- グループは5個まで作成できます。
- 1つのグループには、99個までのプレイリストが登録できます。

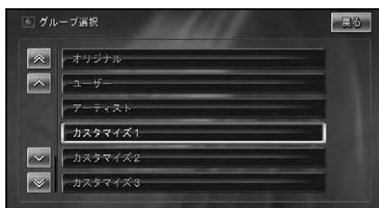
1 **メニュー**を押し、**編集**にタッチする



2 **グループの編集**にタッチする



3 **カスタマイズグループ1～カスタマイズグループ5**のいずれかにタッチする

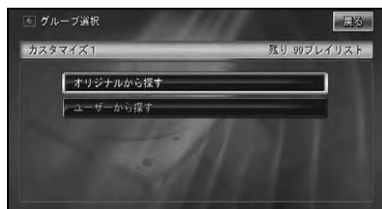


- カスタマイズグループ名(カスタマイズグループ1～5)は、他の名称に変更することができます。→「**グループを編集する**」(P84)

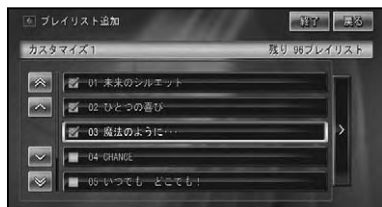
4 **プレイリストの追加**にタッチする



5 プレイリストを探すグループにタッチする



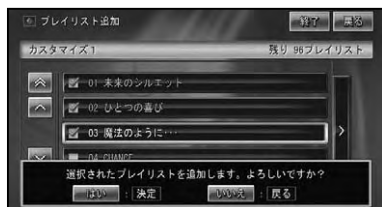
6 登録したいプレイリストにタッチする



他のグループからもプレイリストを選びたい場合は、**戻る**にタッチして手順 **5** まで戻り、他のグループからプレイリストを選びます。

- ✎ **▶**にタッチしてサイドメニューを表示すると、**全選択**が表示され全てのプレイリストを選択することができます。ただしリストにプレイリストが 100 以上ある場合は、選択できません。選択を解除するには、**全解除**にタッチするか解除したいプレイリストにタッチします。

7 終了—はいにタッチする



▼
選んだプレイリストが追加され、カスタマイズグループに登録されます。

プレイリストやグループ、トラックを編集する

ミュージックサーバーに録音した曲やユーザーが作成したグループやプレイリストの編集や削除をすることができます。

グループを編集する

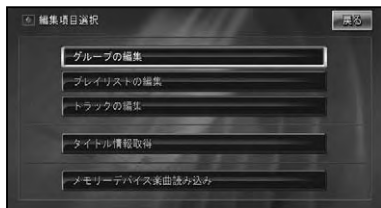
グループ内のプレイリストの消去や再生順の変更などを行います。

- ✎ カスタマイズグループ内のプレイリストは、直接編集できません。他のグループを選んでプレイリストを変更した場合、その変更内容が反映されます。
- ジャンルグループは編集できません。他のグループを選んでプレイリストやトラックを変更した場合、その変更内容が反映されます。

1 **メニュー** を押し、**編集** にタッチする



2 **グループの編集** にタッチする



3 **編集するグループを選ぶ** (→ P81)

4 **編集したい内容にタッチする**



詳細情報 / 編集

グループの詳細情報の表示と名称やよみの編集ができます。

新規ユーザープレイリスト作成

ユーザーグループにユーザープレイリストを新規作成します。(→ P81)

プレイリストの追加

カスタマイズグループに、プレイリストを追加します。(→ P82)

プレイリストの消去

プレイリストを消去します。

プレイリストの再生順変更

プレイリストの再生順を変更します。

グループの初期化

カスタマイズグループのグループを初期化します。(→ P86)

- ✎ 選択したグループによって編集できる内容(表示される内容)は異なります。

■ **グループの詳細情報を表示する**

グループの詳細情報を表示します。カスタマイズグループを選んだときは、名称とよみの編集ができます。

1 **前記手順 4** で**詳細情報 / 編集** にタッチする

2 詳細情報を確認する



グループ内プレイリスト編集 グループ内のプレイリストの編集ができます。(→P86)

- カスタマイズグループを選んだときは、**名称**または**よみ**にタッチするとそれぞれの内容を編集することができます。「よみ」は音声操作で再生するグループを呼び出すときに使われます。

■グループ内のプレイリストを消去する

オリジナル、ユーザー、カスタマイズの各グループに登録されているプレイリストをそれぞれ消去します。消去するプレイリストの種類により、消去されるデータが異なります。

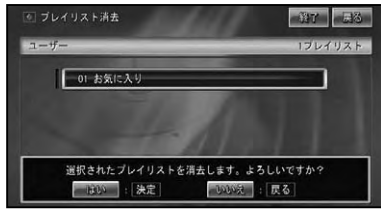
オリジナルグループのプレイリスト	ユーザーが録音した曲のデータがプレイリストごと消去されます。
ユーザーグループのプレイリスト	ユーザーが作成した曲順データがプレイリストごと消去されます。
カスタマイズグループ1～5のプレイリスト	ユーザーが作成したプレイリスト順データがプレイリストごと消去されます。

- アーティストグループはプレイリストを消去できません。

1 P84 手順 4 でプレイリストの消去にタッチする

2 消去するプレイリストにタッチする

3 はいにタッチする



- オリジナルグループのプレイリストを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したトラックおよびプレイリストがユーザーグループおよびカスタマイズグループ内で登録されていた場合は、そのトラックおよびプレイリストも同時に消去されます。

■グループ内のプレイリストの再生順を変更する

オリジナル、ユーザー、カスタマイズの各グループに登録されているプレイリストの再生順を変更します。

- アーティストグループは再生順を変更できません。

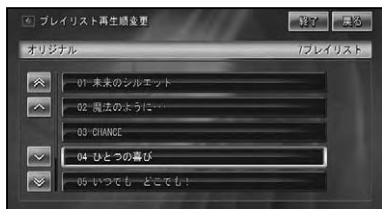
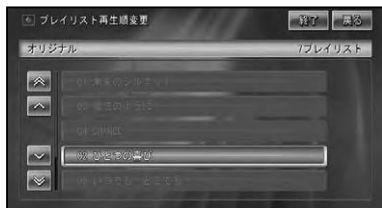
1 P84 手順 4 でプレイリストの再生順変更

2 順番を変更したいプレイリストにタッチする



つづく→

3 ▲/▼にタッチして移動先を決め、もう一度プレイリストにタッチする



4 編集を終了する場合は**終了**にタッチする

- ✎ **戻る**にタッチすると引き続き他のプレイリストの情報を編集することができます。

■ カスタマイズグループを初期化する

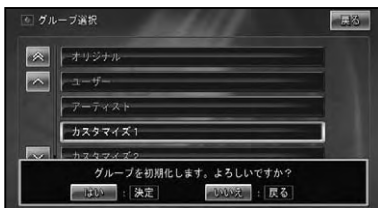
お好みで作成したカスタマイズグループは、初期化して全てのプレイリストを消去できます。

- ✎ カスタマイズグループ以外は初期化できません。

1 P84 手順 3 で初期化するカスタマイズグループ(1~5)にタッチする

2 P84 手順 4 で**グループの初期化**にタッチする

3 **はい**にタッチする



プレイリストを編集する

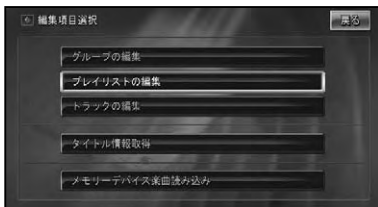
各グループに登録されているプレイリストの情報を編集します。また、プレイリストの再生順を変更したり、トラックの追加・消去を行うことができます。

- ✎ カスタマイズグループ内のプレイリストは、直接編集できません。他のグループを選んでプレイリストを変更した場合、その変更内容が反映されます。

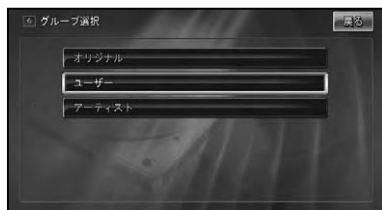
1 **メニュー**を押し、**編集**にタッチする



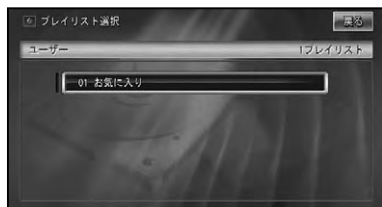
2 **プレイリストの編集**にタッチする



3 編集したいプレイリストが登録されているグループにタッチする



4 編集するプレイリストにタッチする



5 編集したい内容にタッチする



詳細情報 / 編集	プレイリストの詳細情報の表示とタイトルやよみなどの編集ができます。
トラックの追加	ユーザーグループのプレイリストに、トラックを追加します。(→ P89)
トラックの消去	オリジナルグループとユーザーグループのトラックを消去します。(→ P89)
トラックの再生順変更	ユーザーグループのトラックの再生順を変更します。(→ P90)

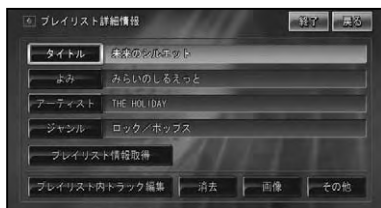
- 選択したグループやプレイリストによって編集できる内容(表示される内容)は異なります。

■ プレイリストの詳細情報を表示する

プレイリストの詳細情報を表示します。この画面からタイトルやよみなどの編集ができます。

1 前記手順 5 で詳細情報 / 編集にタッチする

2 詳細情報を確認する



タイトル、よみ	プレイリストのタイトルとよみを変更できます。
アーティスト	プレイリストのアーティスト名を変更できます。(→ P88)
ジャンル	プレイリストのジャンルを変更できます。(→ P88)
プレイリスト内トラック編集	オリジナルプレイリストのトラック情報が変更できます。(→ P90)
消去	プレイリストを消去できます。(→ P85)
画像	プレイリストの背景画像を設定できます。(→ P88)
その他	プレイリストの「録音時間」、「録音日」、「曲数」、「発売年」が表示されます。

- 各項目の編集後は、プレイリスト詳細画面に戻ります。終了するときは、**終了**にタッチします。

■ プレイリストのタイトルやよみを変更する

プレイリストのタイトルとよみを変更します。タイトルは表示用に、よみは音声操作に使用します。ここで変更したタイトルはCDやミュージックサーバーの再生画面に表示されます。

つづく→

はじめに
基本操作
放送受信
音楽ディスク
映像ディスク
ミュージックサーバー
その他の機器
オーディオ設定
システム設定
その他の機能
付録

1 プレイリスト詳細情報画面 (→ P87) で**タイトル**または**よみ**にタッチする

2 文字を入力して**入力終了**にタッチする

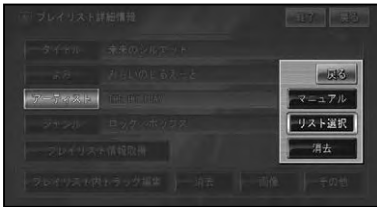
▼
プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

■ プレイリストのアーティスト名を変更する

オリジナルグループまたはユーザーグループ内のプレイリストのアーティスト名を変更します。

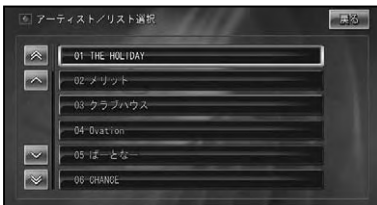
1 プレイリスト詳細情報画面 (→ P87) で**アーティスト**にタッチする

2 **リスト選択**にタッチする

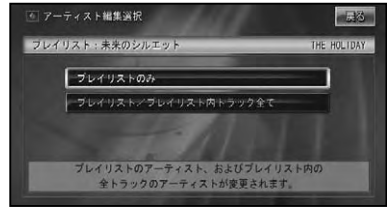


- **マニュアル**にタッチすると文字入力画面になり、文字が入力できます。
- **消去**にタッチするとアーティスト選択画面が表示され、消去するアーティストを選択できます。他のプレイリストにも登録されているアーティストは消去できません。

3 変更するアーティストにタッチする



4 編集方法にタッチする (オリジナルプレイリスト選択時のみ)



プレイリストのみ プレイリストに表示されるアーティスト名のみを変更します。

プレイリスト / プレイリスト内トラック全て プレイリストとプレイリスト内の全トラックで表示されるアーティスト名を変更します。

▼
プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

■ プレイリストのジャンルを変更する

1 プレイリスト詳細情報画面 (→ P87) で**ジャンル**にタッチする

2 **ジャンル**にタッチする



▼
プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

■ プレイリストに画像を設定する

ミュージックサーバー再生時に、AVソース画面に画像を表示させることができます (プレイリスト画像リンク)。あらかじめ収録されている8つの画像以外に、スキャナーなどで取り込んだ画像をメモリーデバイス経由で読み込ませることができます。



- PCリンクソフト「NAVI*STUDIO Ver.2.1」を使用すると、簡単にプレイリスト用画像を最適サイズに加工してメモリーデバイスに転送することができます。
- PCリンクソフトを使用しない場合は、次の形式の画像データを、メモリーデバイスに保存して本機にセットします。

画像形式	JPEG
ファイル拡張子	.jpe、.jpg、.jpeg、.jiff
推奨画像サイズ	400 × 400 ピクセル
最大ファイルサイズ	300KB
検索フォルダ	ルートディレクトリを含む8階層以内
検索ファイル数	最大200（本機収録画像数8個を含む）

- 推奨画像サイズを超える画像の場合は、縦横比率を変えずに縮小表示されますが、読み込めない場合もあります。
- プログレッシブJPEGには対応していません。
- 長いファイル名や特殊なコードを使ったファイル名は認識できない場合があります。

1 メモリーデバイスをセットする (→『スタートブック』)

2 プレイリスト詳細情報画面(→P87)で画像にタッチする

3 お好みの画像を選んで、もう一度画像名にタッチする



▼
選んだ画像が設定されます。

■ ユーザープレイリストにトラックを追加する

ユーザープレイリストには、トラックを追加することができます。



- オリジナルグループ、アーティストグループのプレイリストには追加できません。

1 P87手順5でトラックの追加にタッチする

以降は、「ユーザーグループにプレイリストを作成する」(→P81)の手順7以降と同様です。

■ プレイリストからトラックを消去する

オリジナルグループ、ユーザーグループのプレイリスト内のトラックを消去します。消去するプレイリストの種類により、消去されるデータが異なります。

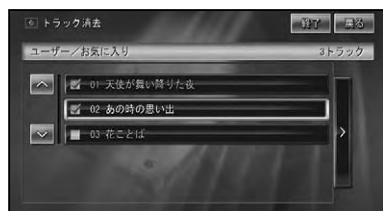
オリジナルグループのトラック	ユーザーが録音した曲のデータが消去されます。
ユーザーグループのトラック	ユーザーが作成した曲順データが消去されます。



- オリジナルプレイリストのトラックを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したトラックがユーザーグループおよびカスタマイズグループ内で登録されていた場合は、そのトラックも同時に消去されます。
- アーティストグループ、カスタマイズグループからプレイリスト内のトラックは消去できません。

1 P87手順5でトラックの消去にタッチする

2 消去したいトラックにタッチする

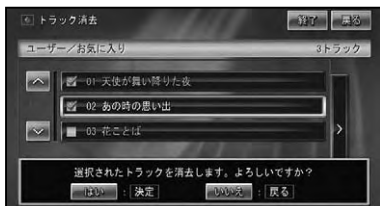


つづく→



▶にタッチしてサイドメニューを表示すると、**全選択**が表示され全ての曲を選択することができます。選択を解除するには、**全解除**にタッチするか解除したい曲にタッチします。

3 終了**はい**にタッチする

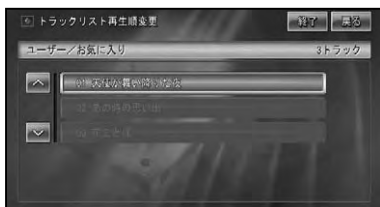


■ ユーザープレイリストのトラック再生順を変更する

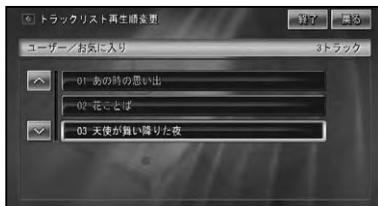
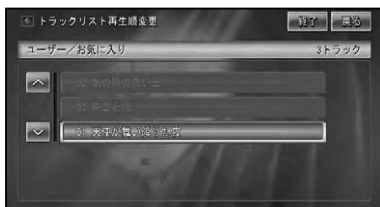
ユーザープレイリスト内のトラックの再生順を変更します。

1 P87手順 5 で**トラックの再生順変更**にタッチする

2 順番を変更したいトラックにタッチする



3 ▲/▼にタッチして移動先を決め、もう一度トラックにタッチする



4 編集を終了する場合は**終了**にタッチする

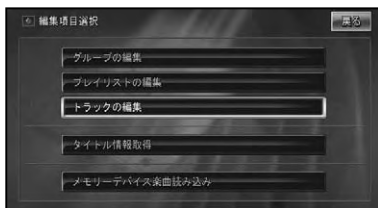
トラックを編集する

オリジナルプレイリストのトラックの詳細情報を編集します。オリジナルプレイリストのトラックの内容を編集すると、ユーザープレイリストのトラックの内容も変更されます。

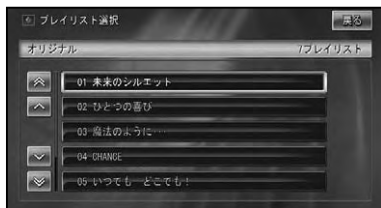
1 **メニュー**を押し、**編集**にタッチする



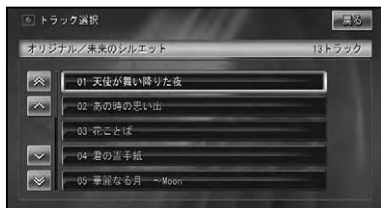
2 **トラックの編集**にタッチする



3 編集したいトラックが登録されているプレイリストにタッチする



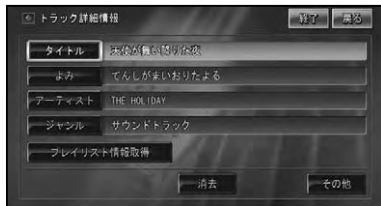
4 編集するトラックにタッチする



- プレイリスト詳細情報画面 (→ P87) から **プレイリスト内トラック編集** にタッチして、この画面を表示することもできます。

5 編集したい項目にタッチする

各項目の編集操作は、「プレイリストを編集する」(→ P86) とほぼ同様ですので、参照してください。



タイトル、よみ	トラックのタイトルとよみが変更できます。(→ P87)
アーティスト	トラックのアーティスト名が変更できます。(→ P88)
ジャンル	トラックのジャンルが変更できます。(→ P88)
プレイリスト情報取得	タイトル情報を取得できます。(→ P92)
消去	編集中のトラックを消去できます。(→ P89)
その他	トラックの「録音時間」、「録音日」、「録音ソース」、「録音ビットレート」、「コンテンツID」が表示されます。

タイトル情報を取得する

ハードディスク内の Gracenote 音楽認識サービス (CDDDB) にタイトル情報が見つからなかったときは、専用サーバーやテキストファイルからタイトル情報を取得することができます。

タイトル情報について

取得したタイトル情報は、CD やミュージックサーバーの再生画面などに表示されます。

取得できる情報

CD または曲によっては取得できない情報もあります。

- アルバムタイトル
- アルバムタイトルのよみ
- アルバムのアーティスト
- アルバムのジャンル
- アルバムの発売年
- トラックタイトル
- トラックタイトルのよみ
- トラックのアーティスト
- トラックのジャンル

- タイトル情報は、まずハードディスクから探し、見つからないときは自動的に通信で探します。
- 専用サーバーから取得したタイトル情報はハードディスクに保存されます。
- 通信で探すには、本機が専用サーバーに接続できる環境になっている必要があります。詳しくは、『ナビゲーションブック』の「通信接続設定」をご覧ください。

NO TITLE 表示について

CD やミュージックサーバーの再生画面に「NO TITLE」と表示されたときは、次のことが考えられます。

- タイトル情報が見つからなかった
- タイトル情報が複数候補あった

タイトル情報が複数候補あった場合は、タイトル情報の取得を行うと、複数のタイトルの中から選択することができます。

タイトル情報を取得する

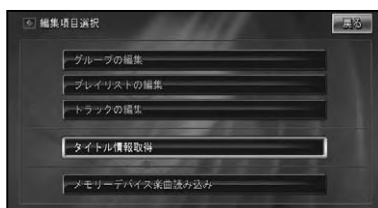
タイトル情報の取得は、まず本機の Gracenote 音楽認識サービス (CDDDB) から検索され、該当する情報がなかった場合は、自動的に専用サーバーの Gracenote 音楽認識サービス (CDDDB) に検索しに行きます。また、メモリーデバイスからタイトル情報を取得することもできます (マイデータベース)。

- プレイリスト詳細情報画面 (→ P87) やトラック詳細情報画面 (→ P91) の**プレイリスト情報取得**にタッチして情報を取得することもできます。
- タイトル情報のない CD を録音したときに、通信機器が接続され、通信可能な状態にあるときは、ハードディスク内の CDDDB を検索したあと自動で通信によるタイトル取得をします。

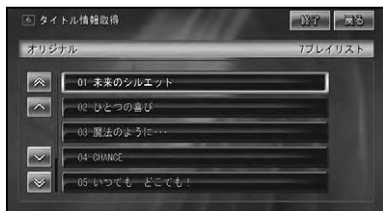
1 **メニュー** を押し、**編集** にタッチする



2 **タイトル情報取得** にタッチする



3 情報を取得するプレイリストにタッチする

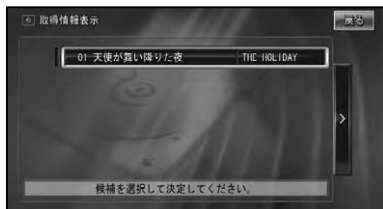



自動的に情報の探索が開始されます。



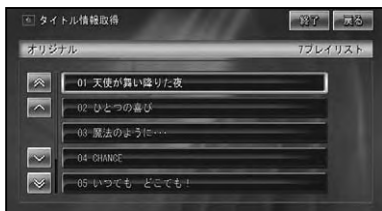
- タイトル情報は、まずハードディスクから探し、見つからないときは自動的に通信で探します。
- タイトルが取得できた場合は、取得情報表示画面が表示されます。

4 タイトルにタッチする



- **通信で取得**にタッチして通信でタイトルを再取得することができます。
- メモリーデバイス内にマイデータベースがある場合は、タイトル候補の選択画面から曲数が一致しているタイトルを選ぶことができます。テキストファイルのタイトルは頭にが付きます。
- タイトル候補は、メモリーデバイス内のマイデータベースのタイトルを含め、最大105タイトルを表示できます。

5 終了にタッチする




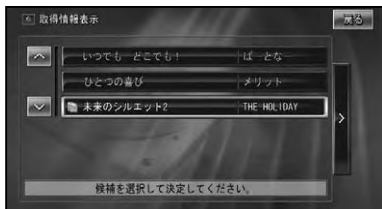
- 通信で情報を取得した場合、通信の状態および検索サーバの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。

■マイデータベースの作成

タイトル情報が見つからなかった場合は、PCリンクソフト「NAVI*STUDIO Ver.2.1」を使って簡単にタイトル情報(MSV my DB)を作成することができます。

マイデータベースを読み込む

マイデータベースの保存されているメモリーデバイスをナビゲーション本体にセットし、タイトル情報の取得(→P92)を行います。タイトル候補の選択画面から曲数が一致しているタイトルを選ぶことができます。(マイデータベースのタイトルの頭にが付きます。)



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

メモリーデバイスから楽曲を読み込む

PCリンクソフト「NAVI*STUDIO Ver.2.1」を使用すると、パソコンからメモリーデバイスを経由して音楽データ（WMA/MP3 ファイル）を転送することができます。

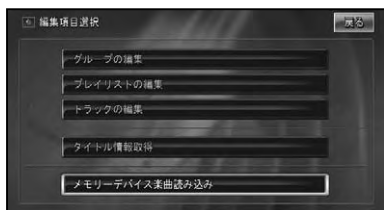
メモリーデバイスから楽曲を読み込む

PCリンクソフト「NAVI*STUDIO Ver.2.1」を使用してパソコンからメモリーデバイスに転送した音楽データをミュージックサーバーに読み込みます。読み込まれた音楽データは、オリジナルグループのプレイリストとして保存されます。

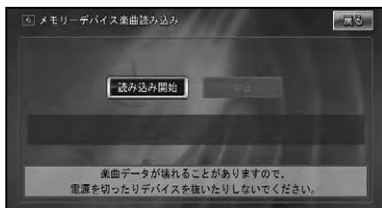
1 **メニュー** を押し、**編集** にタッチする



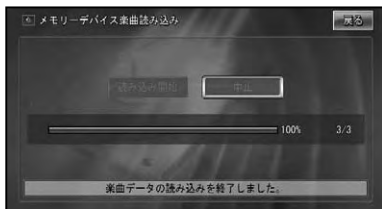
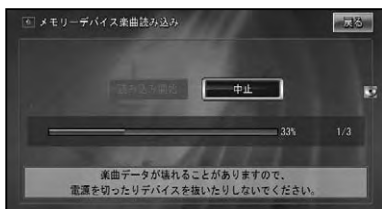
2 **メモリーデバイス楽曲読み込み** にタッチする



3 **読み込み開始** にタッチする



読み込み状況を示すバーが表示されます。



- 読み込み中は、エンジンを切ったり、かけたりしないでください。
- 読み込みが途中で中止された場合、すでに読み込みを完了したファイルのみがプレイリストとして保存されます。
- 読み込まれた音楽データには **WMA/MP3** マークが表示されます。
- VBR 形式の WMA ファイルは分秒がずれる場合があります。

その他の機器

iPod の操作のしかた	96
再生する	96
聴きたい曲を探す	96
いろいろな再生操作のしかた	97
リピート再生	97
シャッフル再生	97
マルチ CD の操作のしかた	98
再生する	98
再生画面について	98
いろいろな再生操作のしかた	99
リピート再生	99
ランダム再生	99
スキャン再生	99
再生の一時停止	100
CD の音質を調整する	100
登録した曲だけを再生する	100
ITS を登録する	100
ITS で再生する	101
ITS の登録を消去する	101
エクスターナルユニットの操作のしかた ...	102
基本操作	102
ビデオなどを見る	103
ビデオなどの見かた	103
外部機器 (AUX) の音声を聞く	104

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

iPod の操作のしかた

本機に接続した iPod を操作することができます。

- 本機に iPod を接続するには、別売の iPod 用アダプター「CD-IB10 II」または「CD-IB10」が必要です。

再生する

1 (SRC)を押してソースを iPod に切り替える (→ P12)

前回再生していたトラックから再生されます。



曲を探す	選曲画面に切り替わります。
ポーズ/再生	再生中の曲を一時停止したり、再生したりします。

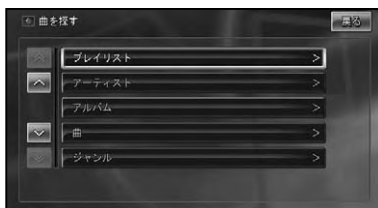
本体またはリモコンで操作する場合：

◀ / ▶	ソングアップ / ソングダウン
◀ / ▶ (押し続ける)	早戻し / 早送り

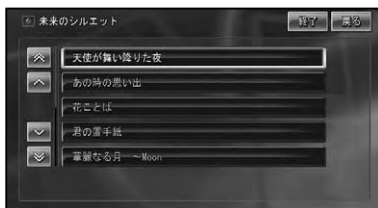
聴きたい曲を探す

1 再生画面で曲を探すにタッチする

2 カテゴリにタッチする



3 曲を絞り込み、聴きたい曲にタッチする



- 1つ以上絞り込んだ後は、選択するリスト項目に長くタッチすると、絞り込んだ中の先頭曲を再生しながら次の画面に切り替わります。ただし、手順 2 でプレイリストを選択した場合は動作しません。
- iPod のリスト画面は約 30 秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、**曲を探す** にタッチします。

いろいろな再生操作のしかた

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します。

1 **メニュー**を押す

AVメニュー画面が表示されます。

2 機能を選ぶ



■ リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 AVメニューで**リピート**にタッチする

タッチするごとに、画面表示が以下のように切り替わります。

REPEAT ONE ↔ REPEAT ALL

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作 (REPEAT ONE 中の選曲操作など) を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。

■ シャッフル再生

曲順を変えて再生することができます。

1 AVメニューで**シャッフル**にタッチする

タッチするごとに、画面表示が以下のように切り替わります。

OFF (表示なし) → SHUFFLE SONGS
→ SHUFFLE ALBUMS → 元に戻る

- シャッフル再生中にその他の操作 (リピート再生、早送り/早戻しなど) を行うと、シャッフル再生が中止される場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

マルチ CD の操作のしかた

接続したマルチ CD プレーヤーを本機で操作することができます。

再生する

1 (SRC)を押してソースをM-CD (マルチCD) に切り替える (→ P12)

ソースプレートとディスクリストが表示され、再生が開始されます。

2 聴きたいディスクにタッチする



- タッチ操作では、トラックの選択はできません。
- 再生を中止するには、ソースを OFF にします (→ P12)。

再生画面について

「CD TEXT」に対応しているマルチ CD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」再生中にソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。



- タイトルやアーティスト名は、半角、全角の混在はできません。
- 「CD TEXT」が収録されていない場合は、ソースプレートに「No Title」、「No Artist Name」と表示されます。
- 「CD TEXT」の内容はミュージックサーバーには反映されません。

本体またはリモコンで操作する場合：

▲ / ▼	ディスクを選択します。
◀ / ▶	トラックを選択します。
◀ / ▶ (押し続ける)	早戻し / 早送りになります。

いろいろな再生操作のしかた

基本操作以外の機能を使うには、AVメニューを表示させてから操作します。

1 **メニュー**を押す

AVメニュー画面が表示されます。

2 機能を選ぶ



■ リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 AVメニューで**リピート**にタッチする

タッチすることにより、リピート範囲が以下のように切り替わります。

MAGAZINE REPEAT → TRACK REPEAT
→ DISC REPEAT → **元に戻る**

MAGAZINE REPEAT	マガジン内の全てのディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。
DISK REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作 (TRACK REPEAT 中の選曲操作など) を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。

■ ランダム再生

選んだリピートの範囲内で、曲順を変えて再生することができます。

1 AVメニューで**ランダム**にタッチする

タッチすることにより、ランダム再生の ON/OFF が切り替わります。

- リピートの範囲が TRACK REPEAT の場合、ランダム再生を ON にすると、リピートの範囲は DISC REPEAT に切り替わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作 (リピート再生、スキャン再生など) やリピートの範囲を超える操作 (DISC REPEAT 中のディスクの切り替えなど) を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

■ スキャン再生

選んだリピートの範囲内で、ディスク内の各曲の演奏開始部分や、各ディスクの1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。

1 リピート範囲を以下のように指定する

聴きたい曲を探すとき

リピートの範囲を DISC REPEAT に指定します。

再生中のディスク内の各曲の演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

- リピートの範囲が TRACK REPEAT の場合、スキャン再生を ON にすると、リピートの範囲は DISC REPEAT に切り替わります。

聴きたいディスクを探すとき

リピートの範囲を MAGAZINE REPEAT に指定します。

マガジン内の全ディスクの1曲目だけの演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

2 AVメニューで**スキャン**にタッチする

タッチすることにより、スキャン再生の ON/OFF が切り替わります。

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

つづ→

3 聴きたい曲またはディスクが再生されたら、もう一度**スキャン**にタッチする

スキャン再生が OFF になり、選んだ曲が再生されます。

- スキャン再生中にその他の再生 (リピート再生、ランダム再生など) やリピートの範囲を超える操作 (DISC REPEAT 中のディスクの切り替えなど) を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

■再生の一時停止

1 AVメニューで**ポーズ/再生**にタッチする

ディスクの再生が一時停止します。もう一度**ポーズ/再生**にタッチすると再生を再開することができます。

■CDの音質を調整する

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりします。(デジタルコンプレッション)

- COMP/DBE 機能付きのマルチ CD プレーヤーを接続したときに操作できます。
- COMP とは、「Compression」の略で、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。
- DBE とは、「Dynamic Bass Emphasis」の略で、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 AVメニューで**COMP/DBE**にタッチする

タッチすることにより、以下のように切り替わります。

OFF → COMP1 → COMP2 → OFF → DBE1 → DBE2 → 元に戻る

- COMP、DBE とともに、1 より 2 のほうが効果が大きくなります。
- コンプレッション非対応のチェンジャーが接続されている場合は、**COMP/DBE**は選択できません。

登録した曲だけを再生する

聴きたい曲を登録しておき、登録した曲だけを再生する機能です。この機能を使うには、ITS メニューを表示させてから操作します。

- ITS とは、「Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション)」の略です。
- 曲の登録は CD ごとに行われます。CD を入れ替えても、その CD の登録は消えません。
- CD 1 枚につき 99 曲まで登録することができます。(一部のマルチ CD プレーヤーでは 24 曲までになります。)
- ITS は、CD 100 枚分の登録ができます。(100 枚を超えたときは、いちばん古い CD から消去されます。)

1 **メニュー** を押し、**ITS** にタッチする



ITS メニューが表示されます。



■ITSを登録する

聴きたい曲を登録します。

1 ITS 登録したい曲のあるディスクを再生する

- 2 ITSメニュー(→P100)で◀
または▶にタッチして曲を選
び、**1曲登録**にタッチする



「1曲登録しました」のメッセージが表示され、曲が登録されます。以降、手順2の操作を繰り返して複数の曲を登録します。

■ ITS で再生する

ITS登録された曲だけを検索して再生します。

- 1 ITS登録された曲のあるディスクを再生する
- 2 ITSメニュー(→P100)で**ON**にタッチする



ITS登録された曲だけが順番に再生され、再生状態表示部に「ITS」と表示されます。

OFFにタッチすると通常の再生に戻ります。

■ ITSの登録を消去する

ITS登録した曲を消去(解除)することができます。

- 1 ITSで再生する
- 2 ◀または▶にタッチして消去する曲を選び、**1曲消去**にタッチする



選んだ曲のITS登録が消去されます。

- ✎ **OFF**にタッチしてITS再生OFFにしてから**全曲消去**にタッチすると、再生中のディスク内のITS登録曲を全曲消去することができます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サービシング

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

エクスターナルユニットの操作のしかた

本機では、ソースとして対応していない IP-BUS 機器(エクスターナルユニット)を最大2台までコントロールできます。

- 「AVIC-ZH099G/ZH099」では、アナログ TV チューナー、地上デジタル TV チューナー、ワンセグチューナー、iPod 用アダプター、マルチ CD プレーヤー以外の IP-BUS 機器がエクスターナルユニットとして扱われます。
- 「AVIC-ZH009」では、地上デジタル TV チューナー、iPod 用アダプター、マルチ CD プレーヤー以外の IP-BUS 機器がエクスターナルユニットとして扱われます。
- 本機に映像ソースのエクスターナルユニット(マルチ DVD プレーヤー「XDV-P9 II」など)を接続したときは、「システム設定」の「AV 入力設定」で VTR を「EXT」に設定する必要があります。(→ P129)

基本操作

1 **[SRC]**を押してソースをEXT1またはEXT2に切り替える(→ P12)

2 **▲ / ▼ / ◀ / ▶** または **1~6**で操作する(→操作例)



- 本機に映像ソースのエクスターナルユニットを接続した場合は、しばらくすると映像画面に切り替わります。操作画面を再表示させたい場合は画面にタッチするか、リモコンの**[決定]**を押してください。

1~6キーの操作

基本操作画面で**1~6**にタッチすると、接続機器に割り当てられた操作を行うことができます。



ファンクションキーの操作

基本操作画面で**[X-Menu]**を押してAVメニューを表示すると、ファンクションキーの操作を行うことができます。(→操作例)



操作例

- 接続した製品によって、操作内容異なります。詳しくは、接続した製品の取扱説明書をご覧ください。

マルチ DVD プレーヤー「XDV-P9 II」の場合:

BAND/ESC	ディスク送り
1~6	ディスク番号選択
FUNCTION 1	表示切り替え
FUNCTION 2	一時停止、ランダム再生*
FUNCTION 3	スキャン再生
FUNCTION 4	リピート範囲切り替え
AUTO/MANU	モード切り替え

* CD 再生時に2秒以上タッチしたときの動作です。

ビデオなどを見る

本機にビデオなどの映像を表示したい場合は、次のような操作をしてください。

- ✎ ビデオなどの映像を見るためには、「システム設定」の「AV 入力設定」で VTR を「ON」に設定する必要があります。(→ P129)

ビデオなどの見かた

ソースを VTR に切り替えて、ビデオなどの映像を見ます。

注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができません。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

1 (SRC)を押してソースを VTR に切り替える (→ P12)

▼
ビデオなどの画面が表示されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

外部機器 (AUX) の音声を聞く

本機にポータブルプレーヤーなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

- 本機の IP-BUS 入力端子に RCA 出力の外部機器を接続するには、別売の RCA インターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」が必要です。
- 本機に外部機器を接続したときは、「システム設定」の「AV 入力設定」で AUX を「ON」に設定する必要があります。(→ P130)

1 **(SRC)**を押してソースを AUX に切り替える (→ P12)



外部機器の音声が出力されます。

オーディオ設定

オーディオ設定のしかた	106
チャンネルモードを切り替える.....	106
設定項目について	106
メモリーの種類について	107
CUSTOM メモリーについて	107
2 チャンネルモードのオーディオ設定	107
フェーダー / バランス.....	107
ソースレベルアジャスター.....	107
デジタルダイレクト.....	108
ダイナミックレンジコントロール	108
ダウン MIX	108
オートサウンドセッティング	109
サウンドセッティング (詳細設定)	109
マルチチャンネルモードのオーディオ設定.....	114
フェーダー / バランス.....	114
ソースレベルアジャスター	114
デジタルダイレクト.....	114
Dolby Pro Logic II	115
Neo: 6	116
ダイナミックレンジコントロール	117
ダウン MIX	117
オートサウンドセッティング	117
サウンドセッティング (詳細設定)	117
車に合わせて音場を自動で補正する (AUTO TA&EQ).....	124
AUTO TA&EQ を行う前に	124
スピーカー破損防止について	124
AUTO TA&EQ 機能について	124
AUTO TA&EQ を行う前にお読みください... 124	
AUTO TA&EQ の調整内容について	125
AUTO TA&EQ の設定方法	125

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
ユーザー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

オーディオ設定のしかた

本機では、スピーカーの数やお好みに合わせて、2チャンネルモードとマルチチャンネルモードの設定を行うことができます。

チャンネルモードを切り替える

本機は、お好みに応じて2チャンネルモードとマルチチャンネルモードを選ぶことができます。オーディオ設定も、それぞれのモードごとに行います。

1 AVソース画面で**メニュー**を押す

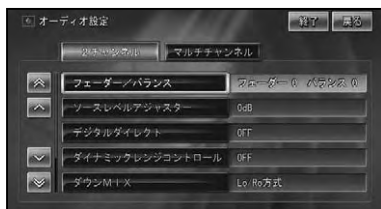
AVメニューが表示されます。

2 **オーディオ設定**にタッチする



オーディオ設定画面が表示されます。

3 **2チャンネルまたはマルチチャンネル**にタッチする



選んだモードに切り替わり、モードごとの設定画面が表示されます。

4 各項目にタッチし、設定を行う

- オーディオ設定内の画面を表示中に、音声案内、ハンズフリー通話、音声操作などがあつた場合は、各種設定はできません。ただし、消音設定がOFFに設定されている場合は、各種設定を行うことができます。
- 走行中は操作できない設定項目があります。

■ 設定項目について

2チャンネル、マルチチャンネルの各モードの設定項目は、以下のとおりです。

2チャンネルモード

フロントとリアそれぞれ同じ音 (L/R 2ch) で鳴らすモードです。

- フェーダー / バランス
- ソースレベルアジャスター
- デジタルダイレクト (→ P108)
- ダイナミックレンジコントロール (→ P108)
- ダウン MIX (→ P108)
- オートサウンドセッティング (→ P109)
- 詳細設定 (→ P109)

マルチチャンネルモード

フロント、リアそれぞれのスピーカーごとの音で鳴らすことができるモードです。DVDなどのマルチチャンネルの音源を臨場感豊かに再生することができます。

- フェーダー / バランス (→ P114)
- ソースレベルアジャスター (→ P114)
- デジタルダイレクト (→ P114)
- Dolby Pro Logic II (→ P115)
- Neo : 6 (→ P116)
- ダイナミックレンジコントロール (→ P117)
- ダウン MIX (→ P117)
- オートサウンドセッティング (→ P117)
- 詳細設定 (→ P117)

- フェーダー / バランス、ソースレベルアジャスター、ダイナミックレンジコントロール、ダウン MIX の設定は、2つのモードに共通の設定となります。

メモリーの種類について

詳細設定画面(→P109、→P117)で、メモリーボタン(例:**CUSTOM1**)にタッチすると、メモリーの種類を切り替えることができます。

CUSTOM1 → **CUSTOM2** → **CUSTOM3** → **AUTO** → **LAST MEMORY** →元に戻る

CUSTOM 1 ~ CUSTOM 3	CUSTOM メモリー(→後記)に登録した内容呼び出します。
AUTO または AUTO TA	AUTO TA&EQ で測定した結果の補正值呼び出します。
LAST MEMORY	最後に調整した内容を呼び出します。

- **AUTO** または **AUTO TA** は、AUTO TA&EQ を行っていないと切り替わりません。
- **LAST MEMORY** は、設定中の値をCUSTOM1～3のいずれかに登録していないときのみ切り替わります。
- 画面によっては、それぞれのメモリーボタンが用意されています。

CUSTOM メモリーについて

各設定画面で**メモリー**にタッチしたときや、設定値を変更した後に画面を終了したときに表示される「メモリー選択画面」で、設定値を「CUSTOM1」～「CUSTOM3」に登録しておくことが可能です。



選んだCUSTOM番号に登録されます。

2チャンネルモードのオーディオ設定

2チャンネルステレオオーディオを楽しむ場合の調整を行うことができます。「チャンネルモードを切り替える」で2チャンネルモードに切り替えてから設定します。

フェーダー/バランス

前後左右の音量バランスを調整することができます。

1 2チャンネルモードで**フェーダー/バランス**にタッチする

2 **▲、▼、◀、▶**にタッチして**前後左右のバランス**を調整する



カーソルの位置で前後左右のバランスを確認できます。

ソースレベルアジャスター

ソースを切り替えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の差をそろえることができます。工場出荷時は「0dB」です。

- FMの音量を基準に他のソースとの音量を調整するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- ソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - DTV、ワンセグ
 - CD、ROM (WMA/MP3/AAC)、DivX、マルチCD
 - AM、交通情報
 - EXT1、EXT2

1 2チャンネルモードで**ソースレベルアジャスター**にタッチする

つづく→

2 **+**または**-**にタッチする



- -14dB ~ +14dB の範囲で 2dB ごとに調整できます。

■ デジタルダイレクト

調整した各設定内容に影響されない、オリジナルの音質で聴くことができます。調整したオーディオ設定の効果を確かめるのに便利です。

工場出荷時は「OFF」です。

1 2チャンネルモード (→ P106) で**デジタルダイレクト**にタッチする

2 **ON** または **OFF** にタッチする



- | | |
|------------|---------------------------------------|
| ON | 強制的にマルチチャンネルモードに移行し、デジタルダイレクト機能が働きます。 |
| OFF | 現状を維持します。 |

- ON に設定すると、音量調整、Dolby Pro Logic II、Neo: 6 以外の設定はできません。また、センタースピーカーやサブウーファーなどを接続してしていない場合、接続していないスピーカーの音源は出力されなくなります。

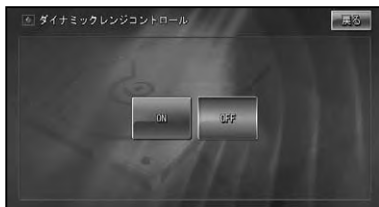
■ ダイナミックレンジコントロール

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅です。ダイナミックレンジコントロールは、この幅を圧縮することで、音量を下げた楽しむ場合に小さな音も聞きとりやすくすることができます。工場出荷時は「OFF」です。

- ダイナミックレンジコントロールの効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。

1 2チャンネルモード (→ P106) で**ダイナミックレンジコントロール**にタッチする

2 **ON** または **OFF** にタッチする



■ ダウン MIX

5.1ch 音源に収録されたサラウンド成分を左右のチャンネルに振り分ける方式を選びます。

この設定は、フロントスピーカー 2ch のみの環境に設定されているときのみ有効になります。

工場出荷時は「Lo/Ro」です。

1 2チャンネルモード (→ P106) で**ダウンMIX**にタッチする

2 **Lo/Ro** または **Lt/Rt** にタッチする



Lo/Ro	左サラウンドと右サラウンドの成分をステレオのまま、それぞれ左と右のチャンネルに振り分け、一般的なステレオ相当で出力します。
Lt/Rt	左サラウンドと右サラウンドの成分をミキシングし、左と右のそれぞれのチャンネルに逆相にして振り分け、サラウンド互換で出力します。

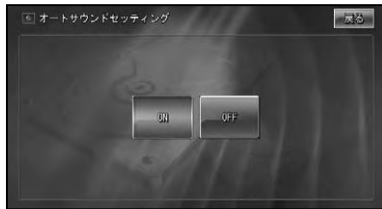


オートサウンドセッティング
 AUTO TA&EQ (→P124) の測定結果を、有効にします。
 工場出荷時は「OFF」です。

- AUTO TA&EQ (→P124) を行っていない場合は、操作できません。
- オートサウンドセッティングを ON にしている場合は、詳細設定を行うことができません。

1 2チャンネルモード (→P106) でオートサウンドセッティングにタッチする

2 ON または OFF にタッチする



サウンドセッティング (詳細設定)
 3パターンを設定を登録することができます。

- オートサウンドセッティング (→前記) を ON にしている場合は、詳細設定を行うことができません。

セッティングパターンを切り替える

1 2チャンネルモード (→P106) で詳細設定にタッチする

2 セッティング1～セッティング3にタッチする

選んだセッティングパターンの設定項目画面が表示されます。

詳細設定の項目

詳細設定の項目は、以下のとおりです。

- グラフィックイコライザー
- リスニングポジション (→P110)
- スピーカー設定 (→P111)
- カットオフ (→P112)
- タイムアライメント (→P112)
- スピーカー出力レベル (→P113)
- オートイコライザー (→P114)

グラフィックイコライザー

あらかじめ用意された5つの設定 (ファクトリーカーブ) とお好みで調整した設定 (CUSTOM) からイコライザーカーブを選ぶことができます。

工場出荷時は AVIC-ZH099G/ZH099 では「FLAT」、AVIC-ZH009 では「POWERFUL」です。

- 設定した調整値は、ミュージックサーバーへの録音には反映されません。

1 詳細設定の項目画面でグラフィックイコライザーにタッチする

2 お好みの設定にタッチする



つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

タッチするごとに、イコライザーカーブが切り替わります。

POWERFUL 、 NATURAL 、 VOCAL 、 FLAT 、 SUPER BASS	選んだファクトリーカーブが表示されます。
CUSTOM1 、 CUSTOM2 、 CUSTOM3 、 LAST MEMORY	メモリーの種類を選びます (→P107)。
メモリー	現在の設定を、CUSTOMメモリーに登録します (→P107)。
詳細設定	選んだファクトリーカーブを補正します。

- **FLAT** は何も補正しません。
- **詳細設定** にタッチすると CUSTOM 用のグラフィックイコライザーカーブ詳細設定に切り替わります。

イコライザーを補正する

選んだファクトリーカーブを、周波数ごとにさらに細かく補正することができます。補正した値は、CUSTOM1～3に登録することができます。イコライザーの値を補正した場合は LAST MEMORY に自動的に登録されます。

1 補正したいファクトリーカーブにタッチする

2 詳細設定にタッチする



3 補正する周波数を選び、▲または▼にタッチしてレベルを補正する



50Hz、80Hz、125Hz、200Hz、315Hz、500Hz、800Hz、1.25kHz、2kHz、3.15kHz、5kHz、8kHz、12.5kHz から周波数を選べます。

- ±0 を基準に 2 ステップずつ -12 ～ +12 の範囲で調整できます。
- 交通情報を受信しているときは、調整できません。

4 戻るにタッチする

確認のメッセージが表示されます。

5 はいにタッチする

メモリー番号選択画面が表示されます。

6 登録したい CUSTOM 番号にタッチする



選んだ CUSTOM 番号に補正値が登録されます。

リスニングポジション

乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます。工場出荷時は「OFF」です。

1 詳細設定の項目画面(→P109)でリスニングポジションにタッチする

2 お好みのポジションにタッチする



フロントR	右ハンドル車に運転者のみがいるときに切り替えます。
フロントL	助手席の同乗者のみに出力したいときに切り替えます。
フロント	同乗者が助手席にいるときに切り替えます。
オール	同乗者が後部座席にいるときに切り替えます。

- ポジションが選ばれていないときは、OFFになります。
- 選択中のポジションに再度タッチすると、OFFになります。

スピーカー設定

スピーカー接続の有無や接続したスピーカーのサイズ(低音域再生能力)を設定することができます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を他のスピーカーから出力させることができます。

工場出荷時は以下のとおりです。

AVIC-ZH099G/ZH099

フロント: [LARGE]

リア: [LARGE]

サブウーファー: [OFF]

AVIC-ZH009

フロント: [LARGE]

リア: [LARGE]

サブウーファー: [ON]

1 詳細設定の項目画面(→P109)でスピーカー設定にタッチする

2 各項目の、◀または▶にタッチして設定する



タッチすることにより、以下のように切り替わります。

CUSTOM1	メモリーの種類を選びます。(→P107)
フロント	SMALL ↔ LARGE
リア	OFF ↔ SMALL ↔ LARGE
サブウーファー	OFF ↔ ON
メモリー	CUSTOMメモリー登録画面(→P107)に切り替わります。

スピーカーサイズについて

スピーカーサイズ設定は、100Hz以下の周波数帯域を再生可能かどうかが目安になります。再生可能な場合は「LARGE」に、再生不可能な場合は「SMALL」に設定してください。

- 接続していないスピーカーの設定は必ず「OFF」にしてください。
- サブウーファーを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力がある限り、スピーカー設定は「LARGE」を選んでください。フロントとリア両方のスピーカー設定を「SMALL」にすると、低音が不足した感じになることがあります。

カットオフ

各スピーカーから出力される音の設定を行うことができます。

1 詳細設定の項目画面(→P109)で**カットオフ**にタッチする

2 各項目の、**◀**または**▶**にタッチして設定する



タッチすることにより、以下のように切り替わります。

CUSTOM1	メモリーの種類を選びます。(→P107)
スピーカー	フロントL ↔ フロントR ↔ リアR ↔ リアL ↔ サブウーファー
周波数	50Hz ↔ 63Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔ 125Hz ↔ 160Hz ↔ 200Hz
スロープ	-18dB ↔ -12dB ↔ -6dB ↔ 0dB
ミュート	OFF ↔ ON
PHASE	REVERSE ↔ NORMAL
メモリー	CUSTOMメモリー登録画面(→P107)に切り替わります。

各スピーカーごとの工場出荷時は以下のとおりです。

周波数 : 100Hz

スロープ : -12db/oct, NORMAL (サブウーファー)

ミュート : OFF

- スピーカー設定で「OFF」にしているスピーカーは設定できません。また、スピーカー設定で「LARGE」に設定しているスピーカーは、周波数とスロープの設定できません。
- サブウーファースの位相は、車内条件により、サブウーファーから出力される周波数帯域が、フロント/リアのスピーカーから出力される周波数帯域と打ち消し合ってしまう、聞き取りにくくなるような場合は、位相を逆にすることで聞き取りやすくすることができます。

タイムアライメント

タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整する機能です。工場出荷時は「INITIAL」です。

1 詳細設定の項目画面(→P109)で**タイムアライメント**にタッチする

2 お好みの設定にタッチする



INITIAL	初期設定値で補正します。 OFF ↔ INITIAL
AUTO TA 、 CUSTOM 1 、 CUSTOM 2 、 CUSTOM 3 、 LAST MEMORY	メモリーの種類を選びます。(→P107)
メモリー	CUSTOMメモリー登録画面(→P107)に切り替わります。
詳細設定	タイムアライメントの詳細設定画面に切り替わります。

タイムアライメント詳細設定

各スピーカーまでの距離を設定します。

- リスニングポジションがフロントLまたはフロントRのときに操作できます。

1 **タイムアライメント**の設定画面で**詳細設定**にタッチする

2 各スピーカーの、◀または▶にタッチして設定する



タッチするごとに、スピーカーからの距離が 0 ~ 500.0cm の間で 2.5cm 単位で切り替わります。

スピーカー出力レベル

各スピーカーからの出力レベルを調整することができます。

- スピーカー設定(→P111)でOFFのスピーカーは操作できません。

1 詳細設定の項目画面(→P109)でスピーカー出力レベルにタッチする

2 各スピーカーの、◀または▶にタッチして設定する



タッチするごとに、スピーカーの出力が -24dB ~ +10dB の間で切り替わります。

CUSTOM1	メモリーの種類を選びます。(→P107)
テストトーン	テストトーン画面に切り替わります。(→後記)
メモリー	CUSTOM メモリー登録画面(→P107) に切り替わります。

テストトーン

テストトーンを聴きながら、各スピーカーからの出力レベルを調整し、スピーカーシステム全体のバランスを整えます。工場出荷時は「OFF」です。

1 スピーカー出力レベルの設定画面でテストトーンにタッチする

2 開始にタッチする



約 2 秒間ずつ、以下の順番で各スピーカーからテストトーンが出力されます。フロントL→フロントR→リアR→リアL→サブウーファー→元に戻る

テストトーン出力中のスピーカーには、◀、▶が表示され、調整が可能になります。

- スピーカー設定(→P111)で「OFF」にしたスピーカーは飛び超えられます。

3 ◀または▶にタッチする



タッチするごとに、スピーカーの出力が -24dB ~ +10dB の間で切り替わります。

このモードで調整した出力レベルは、スピーカー出力レベルで調整したレベルと同じ値になります。

- 停止にタッチすると、テストトーンの出力を停止することができます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

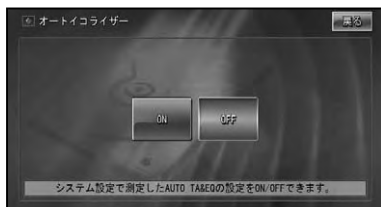
オートイコライザー

AUTO TA&EQ で自動調整したイコライザーを使用する設定を行うことができます。工場出荷時は「OFF」です。

- AUTO TA&EQ (→P124) を行っていない場合は、操作できません。

1 詳細設定の項目画面(→P109)でオートイコライザーにタッチする

2 ON または OFF にタッチする



マルチチャンネルモードのオーディオ設定

本機で、マルチチャンネルを楽しむ場合の調整を行うことができます。「チャンネルモードを切り替える」(→P106)でマルチチャンネルモードに切り替えてから設定します。

フェーダー / バランス

前後左右の音量バランスを調整することができます。

1 マルチチャンネルモード(→P106)でフェーダー/バランスにタッチする

2 ▲、▼、◀、▶にタッチして前後左右のバランスを調整する



カーソルの位置で前後左右のバランスを確認できます。

ソースレベルアジャスター

ソースを切り替えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の差をそろえることができます。工場出荷時は「0dB」です。

- FMの音量を基準に他のソースとの音量を調整するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- ソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - DTV、ワンセグ
 - CD、ROM (WMA/MP3/AAC)、DivX、マルチ CD
 - AM、交通情報
 - EXT1、EXT2

1 マルチチャンネルモード(→P106)でソースレベルアジャスターにタッチする

2 0 または +/- にタッチする



- -14dB ~ +14dB の範囲で 2dB ごとに調整できます。

デジタルダイレクト

調整した各設定内容に影響されない、オリジナルの音質で聴くことができます。調整したオーディオ設定の効果を確かめるのに便利です。

工場出荷時は「OFF」です。

1 マルチチャンネルモード(→P106)でデジタルダイレクトにタッチする

2 ON または OFF にタッチする



- ON** デジタルダイレクト機能が働きます。
- OFF** 2チャンネルモードから移行してきた場合、2チャンネルモードに変わります。マルチチャンネルモードでONにしていた場合、デジタルダイレクト機能が解除されます。

- ON に設定すると、音量調整、Dolby Pro Logic II、Neo: 6 以外の設定はできません。また、センタースピーカーやサブウーファーなどを接続してしていない場合、接続していないスピーカーの音源は出力されなくなります。

Dolby Pro Logic II

Dolby Pro Logic IIとは、ドルビーラボラトリーズ社独自のマトリックスデコーダーで、CDなどのステレオ音声やドルビーサラウンドエンコードされたステレオ音声をマルチチャンネル化してサラウンド再生する技術です。工場出荷時は「OFF」です。

- センタースピーカーとリアスピーカーが「OFF」の場合は操作できません。• Neo: 6 との、同時設定はできません。

1 マルチチャンネルモード (→P 106) で **Dolby Pro Logic II** にタッチする

2 お好みの設定にタッチする



MOVIE 映画やテレビドラマなどのステレオ音声をマルチチャンネル録音に迫る立体的な音で楽しめます。

MUSIC 広く深い音場を再現し、音楽などを臨場感豊かに楽しめます。またパラメータを調整することで、お好みに合わせた空間を再現することができます。

MATRIX 方向性強調回路がオフになるため、シンプルなサウンド再生になります。FM やテレビなどのステレオ放送で受信状態が不安定な場合に向いています。

MUSIC ADJUST Dolby Pro Logic II 詳細設定画面に切り替わります ([MUSIC] 選択時のみ)。

- 設定した項目にもう一度タッチすると、「OFF」になります。

Dolby Pro Logic II の MUSIC の詳細設定

Dolby Pro Logic II の詳細設定を行う場合は、以下のように操作します。

1 Dolby Pro Logic II の設定画面で **MUSIC** にタッチする

2 **MUSIC ADJUST** にタッチする

3 お好みのモードにタッチし、それぞれを調整する



つづく→

PANORAMA ON/OFF	フロントのステレオイメージをサラウンドスピーカーまで拡張して包み込みの効果を大きくします。
DIMENSION ◀/▶	音場の位置をフロント側、リア側に、-3~+3の間で調整します。▶はフロント側(+)に、◀はリア(サラウンド)側(-)に音を移動します。
CENTER WIDTH	センターの音を、フロントのLRチャンネルとセンターチャンネルの3つのスピーカーに、どのように振り分けるかを0~7の間で設定します。 ▶は7側に、◀は0側に調整します。 推奨は3で、ほとんどの録音に適しています。0はセンタースピーカーだけでセンターの音を再生します。7は通常のステレオと同様にセンターの音をフロントのLRに振り分けれます。

Neo: 6

Neo: 6とはDTS社独自のマトリックスデコーダーで、CDなどのステレオ音声をマルチチャンネル化してサラウンド再生する技術です。
工場出荷時は「OFF」です。

- ✎ 交通情報受信中は、いったん強制的に「OFF」になります。
- センタースピーカーとリアスピーカーが「OFF」の場合は操作できません。
- Dolby Pro Logic IIとの、同時設定はできません。

1 マルチチャンネルモード(→P106)で**Neo: 6**にタッチする

2 お好みの設定にタッチする



CINEMA 映画やテレビドラマなどのステレオ音声をマルチチャンネル録音に迫る立体的な音で楽しめます。

MUSIC 広く深い音場を再現し、音楽などを臨場感豊かに楽しめます。またセンターイメージを調整することで、お好みに合わせた空間を再現することができます。

MUSIC ADJUST Neo: 6の詳細設定画面(→後記)に切り替わります([MUSIC]選択時のみ)。



• 設定した項目にもう一度タッチすると、「OFF」になります。

Neo: 6のMUSICの詳細設定

Neo: 6の詳細設定を行う場合は、以下のように操作します。

1 Neo: 6の設定画面で**MUSIC**にタッチする

2 **MUSIC ADJUST**にタッチする

3 ◀または▶にタッチしてセンターイメージを調整する



0~10の間で調整できます。

■ ダイナミックレンジコントロール

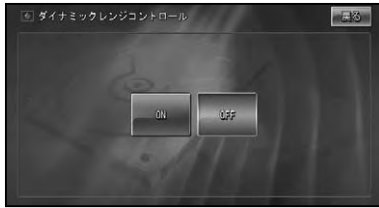
ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅です。ダイナミックレンジコントロールは、この幅を圧縮することで、音量を下げた楽しむ場合に小さな音も聞きとりやすくすることができます。工場出荷時は「OFF」です。



・ダイナミックレンジコントロールの効果が見られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。

1 マルチチャンネルモード (→P 106) でダイナミックレンジコントロールにタッチする

2 ON または OFF にタッチする



■ ダウン MIX

5.1ch 音源に収録されたサラウンド成分を左右のチャンネルに振り分ける方式を選びます。

この設定は、フロントスピーカー 2ch のみの環境に設定されているときのみ有効になります。

工場出荷時は「Lo/Ro」です。

1 マルチチャンネルモード (→P 106) でダウン MIX にタッチする

2 Lo/Ro または Lt/Rt にタッチする



Lo/Ro 左サラウンドと右サラウンドの成分をステレオのまま、それぞれ左と右のチャンネルに振り分け、一般的なステレオ相当で出力します。

Lt/Rt 左サラウンドと右サラウンドの成分をミキシングし、左と右のそれぞれのチャンネルに逆相にして振り分け、サラウンド互換で出力します。

■ オートサウンドセッティング

AUTO TA & EQ (→P124) の測定結果を、有効にします。

工場出荷時は「OFF」です。



・AUTO TA&EQ (→P124) を行っていない場合は、操作できません。
・オートサウンドセッティングを ON にしている場合は、詳細設定を行うことができません。

1 マルチチャンネルモード (→P 106) でオートサウンドセッティングにタッチする

2 ON または OFF にタッチする



■ サウンドセッティング (詳細設定)

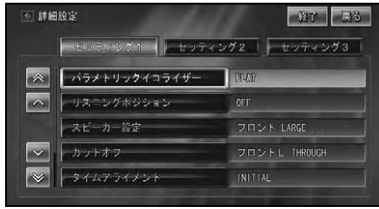
3 パターンの設定を登録することができます。

セッティングパターンを切り替える

1 マルチチャンネルモード (→P 106) で詳細設定にタッチする

つづく→

2 セッティング1～セッティング3 にタッチする



選んだセッティングパターンの設定項目画面が表示されます。

- 選んだセッティングパターン(1～3)は、ソースごとに登録できます。

詳細設定の項目

詳細設定の項目は、以下のとおりです。

- パラメトリックイコライザー
- リスニングポジション (→ P119)
- スピーカー設定 (→ P120)
- カットオフ (→ P121)
- タイムアライメント (→ P121)
- スピーカー出力レベル (→ P122)
- オートイコライザー (→ P123)

パラメトリックイコライザー

あらかじめ用意された5つの設定(ファクトリーカーブ)とお好みで調整した設定(CUSTOM1、CUSTOM2、CUSTOM3)からイコライザーカーブを選ぶことができます。また、各スピーカーのバンドごとに中心周波数を設定し、レベル調整やカーブの傾きの切り替えを行うことができます。

工場出荷時は以下のとおりです。

AVIC-ZH099G/ZH099 : 「FLAT」

AVIC-ZH009 : 「POWERFUL」

イコライザーの調整について

センタースピーカーは、音像を定位させるのに影響が大きいスピーカーです。このため、他のスピーカーと同時にバランスをとるのは、とても難しい作業です。全体のバランスをとるため、2チャンネルの音声(CDなど)を再生し、センターを除く全てのスピーカーのバランスを調整した後、5.1チャンネルの音声(ドルビーデジタルやDTS)を再生し、センタースピーカーを全体のバランスに合わせるように調整すると、スムーズに行うことができます。

中心周波数について

各バンドの中心周波数は、26種類の周波数の中から選ぶことができます。周波数は、1/3オクターブずつのステップで切り替えることができますが、各バンドの中心周波数の間隔を1オクターブ未満に設定することはできません。

- 設定した調整値は、ミュージックサーバーへの録音には反映されません。

1 詳細設定の項目画面で**パラメトリックイコライザー**にタッチする

2 お好みの設定にタッチする



タッチするごとに、イコライザーカーブが切り替わります。

POWERFUL 、 NATURAL 、 VOCAL 、 FLAT 、 SUPER BASS	選んだファクトリーカーブが表示されます。
CUSTOM 1 、 CUSTOM 2 、 CUSTOM 3 、 LAST MEMORY	メモリーの種類を選びます。(→ P107)
メモリー	CUSTOM1～3の選択画面に切り替わります。
詳細設定	選んだファクトリーカーブを補正します。

- **FLAT**は何も補正しません。
- **詳細設定**にタッチするとCUSTOM用のパラメトリックイコライザーカーブ詳細設定に切り替わります。

イコライザーを補正する

選んだファクトリーカーブを、周波数ごとにさらに細かく補正することができます。補正した値は、CUSTOM 1~3に登録することができます。

1 補正したいファクトリーカーブを選ぶ

2 詳細設定にタッチする



3 補正する周波数を選び、◀または▶にタッチして設定する



「ポジション」:

タッチすることにより、以下のように切り替わります。
フロント ↔ リア ↔ センター

「バンド」:

タッチすることにより、以下のように切り替わります。
LOW (低音) ↔ MID (中音) ↔ HIGH (高音)

「周波数」:

タッチすることにより、各バンドの中心周波数が、以下のように切り替わります。
40Hz、50Hz、63Hz、80Hz、100Hz、125Hz、160Hz、200Hz、250Hz、315Hz、400Hz、500Hz、630Hz、800Hz、1kHz、1.25kHz、1.6kHz、2kHz、2.5kHz、3.15kHz、4kHz、5kHz、6.3kHz、8kHz、10kHz、12.5kHz

「レベル」:

タッチすることにより、-12dB ~ +12dB の間で調整できます。

「Q ファクタ」:

タッチすることにより、以下のように切り替わります。
NARROW (急な傾き) ↔ WIDE (緩やかな傾き)

• 交通情報を受信しているときは、調整できません。

4戻るにタッチする

確認のメッセージが表示されます。

5 はいにタッチする

メモリー番号選択画面が表示されます。

6 登録したい CUSTOM 番号にタッチする



選んだ CUSTOM 番号に補正値が登録されます。

リスニングポジション

乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます。工場出荷時は「OFF」です。

1 詳細設定の項目画面(→P117)でリスニングポジションにタッチする

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
ユーザーインターフェース

その他の機器

オーディオ設定

システム設定


その他の機能

付録

2 お好みのポジションにタッチする



フロントR	右ハンドル車に運転者のみがいるときに切り替えます。
フロントL	助手席の同乗者のみに出力したいときに切り替えます。
フロント	同乗者が助手席にいるときに切り替えます。
オール	同乗者が後部座席にいるときに切り替えます。

-  ポジションが選ばれていないときは、OFF になります。
- 選択中のポジションに再度タッチすると、OFF になります。

スピーカー設定

スピーカー接続の有無や接続したスピーカーのサイズ（低音域再生能力）を設定することができます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を他のスピーカーから出力させることができます。

工場出荷時は以下のとおりです。

AVIC-ZH099G/ZH099

フロント：「LARGE」

センター：「OFF」

リア：「LARGE」

サブウーファー：「OFF」

AVIC-ZH009

フロント：「LARGE」

センター：「LARGE」

リア：「LARGE」

サブウーファー：「ON」

1 詳細設定の項目画面(→P117)でスピーカー設定にタッチする

2 各項目の、◀または▶にタッチして設定する




タッチするごとに、以下のように切り替わります。

CUSTOM1	メモリーの種類を選びます。(→P107)
フロント	SMALL ↔ LARGE
センター	OFF ↔ SMALL ↔ LARGE
リア	OFF ↔ SMALL ↔ LARGE
サブウーファー	OFF ↔ ON
メモリー	CUSTOM メモリー登録画面(→P107) に切り替わります。

スピーカーサイズについて

スピーカーサイズ設定は、100Hz 以下の周波数帯域を再生可能かどうかが目安になります。再生可能な場合は「LARGE」に、再生不可能な場合は「SMALL」に設定してください。

-  接続していないスピーカーの設定は必ず「OFF」にしてください。
- サブウーファーを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力がある限り、スピーカー設定は「LARGE」を選んでください。フロントとリア両方のスピーカー設定を「SMALL」にすると、低音が不足した感じになることがあります。

カットオフ

各スピーカーから出力される音の設定を行うことができます。

- 1 詳細設定の項目画面(→P117)で**カットオフ**にタッチする
- 2 各項目の、**◀**または**▶**にタッチして設定する



タッチすることにより、以下のように切り替わります。

CUSTOM1	メモリーの種類を選びます。(→P107)
スピーカー	フロントL ↔ センター ↔ フロントR ↔ リアR ↔ リアル ↔ サブウーファー
周波数	50Hz ↔ 63Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔ 125Hz ↔ 160Hz ↔ 200Hz
スロープ	-18dB ↔ -12dB ↔ -6dB ↔ 0dB
ミュート	OFF ↔ ON
PHASE	REVERSE ↔ NORMAL
メモリー	CUSTOM メモリー登録画面(→P107)に切り替わります。

各スピーカーごとの工場出荷時は以下のとおりです。

周波数 : 100Hz
スロープ : -12db/oct. NORMAL (サブウーファー)
ミュート : OFF

- スピーカー設定で「OFF」にしているスピーカーは設定できません。また、スピーカー設定で「LARGE」に設定しているスピーカーは、周波数とスロープの設定ができません。
- サブウーファースの位相は、車内条件により、サブウーファーから出力される周波数帯域が、フロント/リアのスピーカーから出力される周波数帯域と打ち消し合ってしまう、聞き取りにくくなるような場合は、位相を逆にすることで聞き取りやすくすることができます。

タイムアライメント

タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整する機能です。工場出荷時は「INITIAL」です。

- 1 詳細設定の項目画面(→P117)で**タイムアライメント**にタッチする
- 2 お好みの設定にタッチする



INITIAL	初期設定値で補正します。 OFF ↔ INITIAL
AUTO TA、CUSTOM 1、CUSTOM 2、CUSTOM 3、LAST MEMORY	メモリーの種類を選びます。(→P107)
メモリー	CUSTOM メモリー登録画面(→P107)に切り替わります。
詳細設定	タイムアライメントの詳細設定画面に切り替わります。

タイムアライメント詳細設定

各スピーカーまでの距離を設定します。

- リスニングポジションがフロントLまたはフロントRのときに操作できます。

1 タイムアライメントの設定画面で**詳細設定**にタッチする

2 各スピーカーの、**◀**または**▶**にタッチして設定する



タッチするごとに、スピーカーからの距離が0～500.0cmの間で2.5cm単位で切り替わります。

スピーカー出力レベル

各スピーカーからの出力レベルを調整することができます。

- スピーカー設定 (→P120) でOFFのスピーカーは操作できません。

1 詳細設定の項目画面(→P117)で**スピーカー出力レベル**にタッチする

2 各スピーカーの、**◀**または**▶**にタッチして設定する



タッチするごとに、スピーカーの出力が-24dB～+10dBの間で切り替わります。

CUSTOM1 | メモリーの種類を選びます。(→P107)

テストトーン	テストトーン画面に切り替わります。
メモリー	CUSTOMメモリー登録画面(→P107)に切り替わります。

テストトーン

テストトーンを聴きながら、各スピーカーからの出力レベルを調整し、スピーカーシステム全体のバランスを整えます。

1 **スピーカー出力レベルの設定画面**で**テストトーン**にタッチする

2 **開始**にタッチする



約2秒間ずつ、以下の順番で各スピーカーからテストトーンが出力されます。

フロントL→センター→フロントR→リアR→リアL→サブウーファー→元に戻る

テストトーン出力中のスピーカーには、**◀**、**▶**が表示され、調整が可能になります。

- スピーカー設定 (→P120) で「OFF」にしたスピーカーは飛び超されます。

3 **◀**または**▶**にタッチする



タッチするごとに、スピーカーの出力が-24dB～+10dBの間で切り替わります。

このモードで調整した出力レベルは、スピーカー出力レベルで調整したレベルと同じ値になります。

- **停止**にタッチすると、テストトーンの出力を停止することができます。

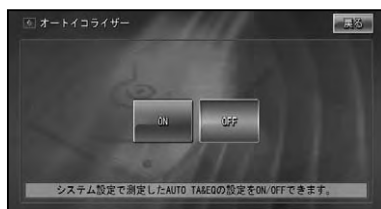
オートイコライザー

AUTO TA&EQ で自動調整したイコライザーを使用する設定を行うことができます。工場出荷時は「OFF」です。

- AUTO TA&EQ (→P124) を行っていない場合は、操作できません。

1 詳細設定の項目画面(→P117)で**オートイコライザー**にタッチする

2 **ON**または**OFF**にタッチする



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

車に合わせて音場を自動で補正する(AUTO TA&EQ)

車室内の音響特性を自動的に計測して、最適に自動補正することができます。

AUTO TA&EQを行う前に

AUTO TA&EQ（オートタイムアライメント&イコライジング）を行う前に必ずお読みください。



警告

- 走行中に AUTO TA&EQ を行わない。



禁止

- 自動車が走行中に AUTO TA&EQ を行わないでください。AUTO TA&EQ 機能は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

■スピーカー破損防止について

次の状態で AUTO TA&EQ を行うと、スピーカーが破損する恐れがあります。AUTO TA&EQ を行う前に、よく確認してください。

- スピーカーの接続を誤っている場合（例：サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合）
- スピーカーの耐入力を超える出力のパワーアンプを接続している場合

■AUTO TA&EQ 機能について

- 車室内空間は、その広さや複雑な形状、材質により、ホームオーディオに比べ、一般的に音響特性が大きく乱れています。このような車室内の音響特性を補正するためにイコライザーを使用しますが、測定器などを使用せずに設定するのはかなり困難な作業になります。

- 本機の AUTO TA&EQ 機能は、車室内の音響特性を自動的に測定し、そのデータに基づいて、車室内の音響特性が乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動的に補正します。（イコライザーカーブを呼び出したときは、AUTO TA&EQ により乱れの少ない滑らかな特性になった上でイコライザーカーブが設定されますので、より効果的になります。）また、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を自動的に測定し、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整します。

■AUTO TA&EQ を行う前にお読みください

- AUTO TA&EQ は、なるべく静かな所で、車のエンジンおよびエアコンやヒーターを止めで行ってください。また、携帯電話や自動車電話などを車載している場合は、電話を車外へ持ち出すか電源を切ってから AUTO TA&EQ を行ってください。計測音以外の音（車周辺の騒音、エンジン音、電話の着信音など）によって、車室内の音響特性が正しく測定できないことがあります。
- AUTO TA&EQ は、必ず付属の音響特性測定用マイクを使用してください。付属の音響特性測定用マイク以外のマイクでは、AUTO TA&EQ が実行できなかったり、車室内の音響特性が正しく測定できません。
- フロントスピーカーが接続されていない場合は、AUTO TA&EQ が実行できません。
- 入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプの入力レベルコントロールを下げていると、AUTO TA&EQ が実行できない場合があります。パワーアンプの入力レベルコントロールは推奨位置に合わせてください。

AUTO TA&EQ の設定方法

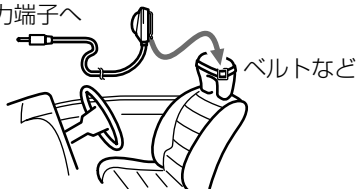
1 車の環境を整える

- 静かな所に停車し、ドア、窓ガラス、サンルーフなどを閉める。
- エアコンやエンジンを止める。

2 マイクを設置する

テープ・ベルト・輪ゴムなどで付属の音響特性測定用マイクを座席のヘッドレストの中央に仮止めします。

音響特性測定用
マイク入力端子へ



3 車のエンジンスイッチを ACC または ON にする

4 **NAVI/AV** を押し、AV 画面に切り替える

- AVソースがOFFになっていないときは、**(SRC)**を1秒以上押してソースをOFFにします。(→P12)

5 **メニュー** を押し、**システム設定** にタッチする



6 **AUTO TA&EQ** にタッチする

既に設定されている場合、「測定済」と表示されます。



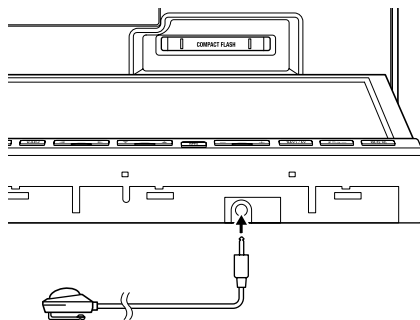
モニターが自動的に開きます。

- ローパスフィルター付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプのローパスフィルターはOFFにして測定してください。また、パワードサブウーファー内蔵のローパスフィルターは、カットオフ周波数を最も高い周波数に設定してください。
- AUTO TA&EQ 測定時に算出したタイムアライメントの値は、次の場合に実際の距離と異なることがあります。計測状況によりコンピューターが算出した正確な遅延時間をもとに設定された距離です。そのままの値でご使用ください。
 - 車室内の反射音が直接音より強く、かつ遅延を生じている場合。
 - パワードサブウーファーや外部アンプのローパスフィルターの影響により、低音に遅延が生じている場合。
- AUTO TA&EQ を行うと、各モードの内容が次のように変更されます。
 - 前後左右の音量バランス調整（フェーダー/バランス）の設定がリセットされ、初期設定に戻ります。
 - イコライザーカーブは、フラット (FLAT) になります。
 - オートサウンドセッティングは、全ソース ON に設定されます。
 - フロントやセンター、リアハイパスフィルターの設定が調整されます。内蔵 DSP でサブウーファーを接続している場合は、サブウーファー出力とリアハイパスフィルターの設定が調整されます。

■ AUTO TA&EQ の調整内容について

一度 AUTO TA&EQ を行ったあとに、再度 AUTO TA&EQ を行うと、前の AUTO TA&EQ の調整内容は消去されます。

7 マイクを本機に接続する



AUTO TA&EQ 操作が終わったら、セットしたマイクを取り外し、モニターを閉じてください。

- 外したマイクはグローブボックスなどに、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因になる恐れがあります。

8 測定ポジションを選ぶ

- 測定ポジションは、マイクを設置した側（通常はフロントR／運転席）を選びます。

9 START にタッチする

中止するときは、**STOP** を選びます。



- 本機にマイクを接続せずに **START** にタッチすると、「マイクを確認してください。」とメッセージが表示されます。この時点で本機にマイクを接続しても操作を続けることはできません。**戻る** にタッチして [OPEN] を押し、もう一度手順 **6** から操作してください。

10 車外に出る

10 秒のカウントダウンが始まるので、10 秒以内に車外に出て、ドアを閉めます。計測音（ノイズ）が各スピーカーから出力され、測定が始まります。

10 分程度で自動的に終了します。



システム設定

システム設定のしかた.....	128
システム設定をする.....	128
AUTO TA&EQ.....	128
デジタルアッテネーター.....	128
録音設定.....	128
消音設定.....	128
ワイドモード.....	129
AV 入力設定.....	129
ガイド/ハンズフリー SP 設定.....	130
オーディオ設定リセット.....	130
オートアンテナ・ACC 電源連動.....	130
光デジタル入力設定.....	131
DivX VOD コード.....	131

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

システム設定のしかた

本機のいろいろな機能を使うための基本的な設定をすることができます。

システム設定をする

本機の動作環境の設定を行います。

1 AV ソース画面で **メニュー** を押す

AV メニューが表示されます。

2 **システム設定** にタッチする



システム設定画面が表示されます。

3 各項目にタッチし、設定を行う



AUTO TA&EQ

車の特性に合わせて音場を自動で補正します。
→説明は本書の「車に合わせて音場を自動で補正する」(→P124)に記載しています。

デジタルアッテネーター

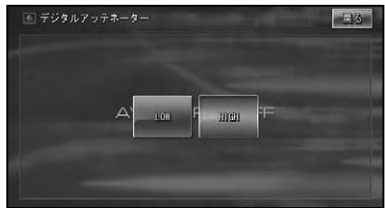
デジタルアッテネーターはイコライザーカーブの調整による音の歪みをなくすことができます。
工場出荷時は「HIGH」です。

✎ イコライザーカーブの調整(→P110, 118)で、レベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの調整で音が歪んだように感じるときは、デジタルアッテネーターの設定をLOWに切り替えてください。

1 ソースをOFFにする(→P12)

2 システム設定画面で**デジタルアッテネーター**にタッチする

3 **HIGH** または **LOW** にタッチする



録音設定

ミュージックサーバーへの録音時間や録音モードを設定します。
→説明は本書の「ミュージックサーバーに録音する」(→P61)に記載しています。

消音設定

音声案内、ハンズフリー通話の着信、音声操作などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞き取りやすくすることができます。
工場出荷時は以下のとおりです。

- 消音タイミング「電話、認識」
- 消音レベル「-20dB」

1 システム設定画面で消音設定にタッチする

2 消音タイミングと消音レベルを設定する



消音タイミング


消音するタイミングを設定します。

ガイド・電話・認識	音声案内やハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます。
電話・認識	ハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます。
OFF	オーディオの音量を下げません。

消音レベル

消音のレベルを設定します。

-20dB	音量が 1/10 になります。
-10dB	音量が 1/3 になります。
MUTE	音量が 0 になります。

 ・消音タイミングが OFF のときは消音レベルは設定できません。

■ワイドモード

映像系ソースの画面表示のモードを設定します。

→説明は本書の「ワイド画面の拡大方法を切り替える」(→P138)に記載しています。

工場出荷時は以下のとおりです。

- DVD/DivX ソース時「AUTO」
- それ以外のソース時「FULL」

■AV入力設定

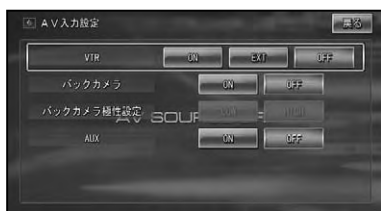
VTR (ビデオなど) や別売のバックカメラユニット「ND-BC2」などの外部機器を本機に組み合わせた場合、機器に合った設定に切り替えます。

工場出荷時は以下のとおりです。

- VTR 「OFF」
- バックカメラ 「OFF」
- バックカメラ極性設定 「HIGH」
- AUX 「OFF」

1 システム設定画面でAV入力設定にタッチする

2 機器を接続した端子に応じて、以下のように設定する



VTR

ON	接続したビデオなどの映像を表示するとき (→P103)
EXT	接続したエクスターナルユニットの映像を表示するとき (→P102)
OFF	何も接続されていないとき

バックカメラ

ON	接続したバックカメラの映像を表示するとき (→『ナビゲーションブック』)
OFF	バックカメラが接続されていないとき

バックカメラ極性設定

LOW	グラウンド (バックギアに入れたときに、バック信号線の電圧が LOW となる車両の場合に選択します。)
HIGH	バッテリー (バックギアに入れたときに、バック信号線の電圧が HIGH となる車両の場合に選択します。)

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

AUX

ON	AUX に接続した機器の音声を聞くと き (→ P104)
OFF	何も接続されていないとき



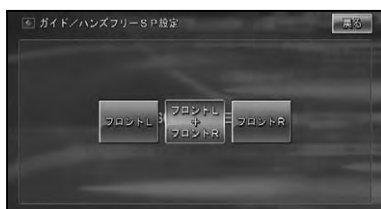
- AUX はソースが OFF のときのみ設定
できます。
- バックカメラを接続するときは、必ずバック
信号入力線 (紫 / 白) を接続してくだ
さい。バック信号の極性については、ナビ
ゲーションの情報メニューから「ハード
ウェア情報」で確認できます。→「ナビ
ゲーションブック」

■ ガイド / ハンズフリー SP 設定

ナビゲーションの音声案内やハンズフリー
通話の受話音、音声操作音などを、どのス
ピーカーから出力するかを設定します。
工場出荷時は「フロントL + フロントR」
です。

1 システム設定画面 (→ P128) でガイド / ハンズフリー SP 設定にタッチする

2 スピーカーにタッチする



フロントL	フロント左側から出力します。
フロントL+ フロントR	フロント左右から出力します。
フロントR	フロント右側から出力します。

■ オーディオ設定リセット

オーディオの各種設定や調整をリセットす
ることができます。

1 ソースを OFF にする (→ P12)

2 システム設定画面 (→ P128) でオーディオ設定リセットに タッチする

3 リセットにタッチする



確認メッセージが表示されます。

4 はいにタッチする

各設定・調整がリセットされ、工場出荷
時の状態に戻ります。

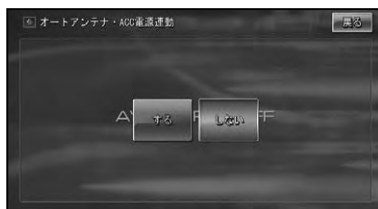
■ オートアンテナ・ACC 電源連動

オートアンテナの ON/OFF 動作を、ACC
電源 (本機の電源) に連動させるかしないか
を設定します。

工場出荷時は「しない」です。

1 システム設定画面 (→ P128) でオートアンテナ・ACC 電源 連動にタッチする

2 するまたはしないにタッチする



しない	ラジオソース (FM/AM) 選択に連動 して ON にします。
する	ACC 電源 (本機の電源) ON と連動し て ON にします。

2 システム設定画面(→P128)で**DivX VODコード**にタッチする

レジストレーションコードが表示されます。

■ 光デジタル入力設定

地上デジタルTVの光デジタル入力のON/OFF設定を行います。
工場出荷時は「OFF」です。

1 ソースをOFFにする(→P12)

2 システム設定画面(→P128)で**光デジタル入力設定**にタッチする

3 **ON**または**OFF**にタッチする



■ DivX VOD コード

DivX VODとは、「DivX Video On Demand (ビデオオンデマンド)」の略です。

DivX VOD ファイルを再生する場合、そのDivX VOD ファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。そのような場合に、本機の登録コードを確認できます。

- ✎ DivX VOD ファイルは、DRM コピープロテクションがかかっています。DivX VOD ファイルは、登録されたプレーヤーでのみ再生ができます。
- 本機の登録コードが承認されていないDivX VOD ファイルを再生すると、警告メッセージが表示され、再生できません。
- DivX VOD ファイルには、視聴回数が設定されているものがあります。そのようなDivX VOD ファイルを本機で再生すると残りの視聴可能回数が表示されます。残りの視聴可能回数が0になったファイルを本機に挿入すると警告メッセージが表示され、再生できません。
- 視聴回数の設定されていないDivX VOD ファイルは、何度でも再生できます。

1 ソースをDVD/CD/ROM (WMA/MP3/AAC)/DivXにする(→P12)

その他の機能

AV スケジューラー	134
AV スケジューラーとは.....	134
スケジュールを作成する.....	134
スケジュールが実行されると	135
予約したスケジュールを確認・編集する	136
予約したスケジュールを消去する.....	136
画面を設定する.....	138
画質を調整する	138
ワイド画面の拡大方法を切り替える.....	138
ワイドモードの種類.....	139
画面の表示モードを切り替える	139
ピクチャーサイドピクチャーに変更する	139
ピクチャーインピクチャーに変更する	140
リアモニターを組み合わせる.....	141
リアモニターに表示される映像について	141
タッチパネルのタッチ位置を調整する (タッチパネルキャリブレーション)	142

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

AV スケジューラー

AV スケジューラーとは

AV スケジューラーとは、指定した時刻に AV 機能 (MSV や DVD など) を実行するものです。

注意

- 音声を再生するスケジュールが実行されると、大きな音量で再生されることがあります。音量設定にご注意ください。

- 最大 100 件までのスケジュールを作成できます。

スケジュールを作成する

ここでは、スケジュールの例として、指定した時刻になるとミュージックサーバーを実行 (再生) するスケジュールの作成方法を説明します。

1 AV ソース画面で **メニュー** を押す (→ P10)

2 **スケジューラー** にタッチする



3 **新規作成** にタッチする

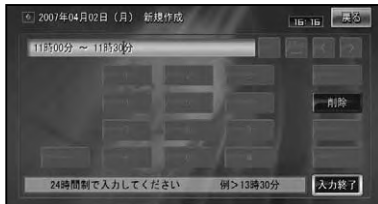


4 実行する日付を指定する



- **毎日**または**毎週**にタッチすると、毎日同じ時間、毎週同じ曜日の同じ時間を指定することができます。
- **次月**または**前月**にタッチすると、カレンダーの月を切り替えることができます。
- すでにスケジュールが予約されている日付には、青色の下線が表示されます。

5 時間を指定し、**入力終了**にタッチする



時刻は 1 分単位で、24 時間制で入力します。

例：09：15 と入力 → 9 時 15 分になるとスケジュールが実行される

例：09：15 ~ 10：15 と入力 → 9 時 15 分 ~ 10 時 15 分の間に本機の電源が入るとスケジュールが実行される

- 現在の時刻より前の時刻は入力できません。
- 同じ日の同じ時刻に複数のスケジュールを作成することはできません。

6 実行する AV ソースにタッチする



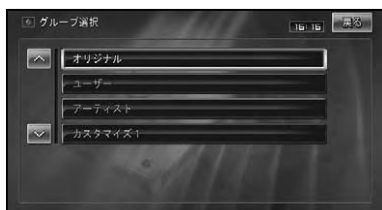
ここでは例として、**MSVを聴く**を選びます。

選んだソースにより以降の操作が異なりますが、操作のしかたは各ソースの操作と同様です。

ラジオ放送の受信	プリセットメモリーのリストが表示されますので、受信したい放送局を選ぶと、手順 10 に進みます。
DTV・ワンセグの受信	手順 10 に進みます。
DVD・CD・ROMの再生	手順 10 に進みます。
オプション機器・VTR・EXT などの実行	手順 10 に進みます。

● 接続されていないソースは選択できません。

7 グループにタッチする



8 再生するプレイリストにタッチする

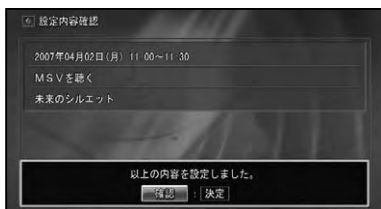


9 決定にタッチする



● **トラック選択**にタッチすると、再生するトラックを選ぶことができます。

10 確認にタッチする



スケジュールが作成され、予約されます。

■ **スケジュールが実行されると**
予約した時刻になると、以下の画面が表示され、スケジュールが実行されます。



はい	スケジュールを実行します。
いいえ	スケジュールをキャンセルします。

● リモコンの **決定** または **発話** を押しても、スケジュールを実行できます。
● リモコンの **戻る** または **訂正** を押しても、スケジュールをキャンセルできます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ユーザーインターフェース

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

予約したスケジュールを確認・編集する

日付から予約したスケジュールを確認・編集することができます。

✎ ・編集できる内容は、日時のみです。

1 AVソース画面で**メニュー**を押し、**スケジューラー**にタッチする(→P134)

2 設定済み予約編集にタッチする



3 確認・編集したいスケジュールにタッチする



予約したスケジュールの内容が表示されます。



- ✎ ・スケジュールは、毎週、毎日、日時の順番にリスト表示されます。
- ・確認して終了する場合は、**戻る**にタッチします。
- ・スケジュールを編集する場合は、手順 **4** に進んでください。

4 **日付**にタッチする

スケジュールを作成し直します。



選んだスケジュールのカレンダーが表示されます。



以降の操作手順は、「スケジュールを作成する」(→P134)の手順 **4**、**5** と同様です。

予約したスケジュールを消去する


1 AVソース画面で**メニュー**を押し、**スケジューラー**にタッチする(→P134)

2 設定済み予約消去にタッチする



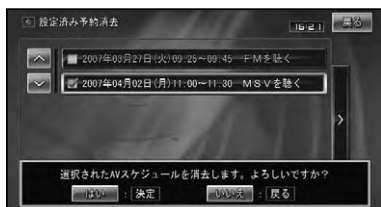
3 消去したいスケジュールにタッチする



- タッチすると、 チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。再度タッチすると、選択が解除されます。
-  にタッチしてサイドメニューを表示すると、**全選択**が表示され、全てのスケジュールを選択することができます。選択を解除するには、**全解除**または解除したいスケジュールにタッチします。

4 戻るにタッチする

5 はいにタッチする



▼
選んだスケジュールが消去されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

画面を設定する

画質を調整する

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「黒の濃さ」、「コントラスト」、「色の濃さ」、「色合い」、「明るさ」を調整することができます。

- 「黒の濃さ」、「コントラスト」の設定は、昼(☀)と夜(☾)で別々に設定登録できます。
- 設定内容は、映像の種類ごとに別々に設定・登録できます。
- 走行中は操作できません。
- 選択中の設定項目は青色で表示されます。

1 調整したい画像の表示画面で **V.ADJ** を押す

2 **▲ / ▼** にタッチする



バックカメラ	バックカメラの画質調整を行います。
---------------	-------------------

黒の濃さ

<input type="checkbox"/> (白)	薄くなります。
<input checked="" type="checkbox"/> (黒)	濃くなります。

コントラスト (明暗)

低	白黒の差が小さくなります。
高	白黒の差が大きくなります。

色の濃さ

淡	薄くなります。
濃	濃くなります。

色合い

<input checked="" type="checkbox"/> (赤)	赤が強くなります。
<input checked="" type="checkbox"/> (緑)	緑が強くなります。

明るさ

暗	暗くなります。
明	明るくなります。

- 映像の種類によって、調整できる項目は異なります。

3 **ESC** にタッチする

ワイド画面の拡大方法を切り替える

DVDやワンセグ、DTVおよびVTR(ビデオなど)の映像は、通常の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

- 通常映像は縦横比4:3、ワイド映像は縦横比16:9です。
- 設定内容は、映像の種類ごとに別々に設定・登録できます。
- ナビゲーションや音声系ソース(CD、WMA/MP3/ACC、ミュージックサーバーなど)は、ワイドモードの切り替えはできません。

1 ソースを切り替える (→ P12)

2 **メニュー** を押し、**システム設定** - **ワイドモード** にタッチする

3 お好みの表示方法にタッチする



→それぞれの表示の説明は、「ワイドモードの種類」を参照してください。

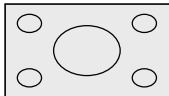
- 通常のテレビ放送の番組で ZOOM、NORMAL 以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差が出ます。
- CINEMA、ZOOM で映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると (FULL、ZOOM など画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

4 戻るにタッチする

■ワイドモードの種類

FULL (フル)

4 : 3 の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



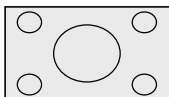
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



ZOOM (ズーム)

4 : 3 の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかがって表示されるものに適しています。

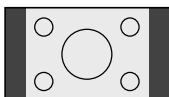


NORMAL (ノーマル)

4 : 3 の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。

AUTO (オート)

DVD ソースまたは DivX ソース表示中に選択できます。画面サイズを最適な大きさに自動設定します。



画面の表示モードを切り替える

本機の画面の表示のしかたには、次の 3 種類があります。

1 画面	地図の 1 画面表示です。
ピクチャーサイドピクチャー	画面を 2 分割して、ナビゲーション画面と AV ソース画面を同時に表示します。
ピクチャーインピクチャー	ナビゲーション画面の中に AV ソース画面を小さく (子画面) 表示します。

- ピクチャーサイドピクチャー、ピクチャーインピクチャー表示中に **(NAVI/AV)** を押すとソースの 1 画面に切り替わります。再度押すと 2 画面に戻ります。
- ピクチャーサイドピクチャー、ピクチャーインピクチャー表示中に **(メニュー)** を押すとナビゲーションメニューが表示されます。AV メニューを表示させるには **(NAVI/AV)** を押してソースを 1 画面にしてから **(メニュー)** を押してください。2 画面に戻るには、**(現在地)** を押してください。

■ピクチャーサイドピクチャーに変更する

1 本体の **(NAVI/AV)** を 2 秒以上押す

画面表示モード選択画面が表示されます。

2 「PsideP」の **(上)** または **(下)** にタッチする



1 画面に戻すには「1 画面」の **(上)** にタッチします。

つづ<→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

- 2画面とも同じ画面にすることはできません。
- AVソース画面どうし（テレビとDVD、DVDとビデオなど）の2画面表示はできません。
- ナビゲーションの操作をしやすいするため、一時的にナビゲーション画面だけになる（1画面になる）ことがあります。

■ピクチャーインピクチャーに変更する


1 本体の **NAVI/AV** を2秒以上押す

画面表示モード選択画面が表示されます。

2 「PinP」の 、、、 のいずれかにタッチする



画面サイズ 子画面の大きさを以下のように変更することができます。
1/16 → 1/9 → 1/4 → 元に戻る

1画面に戻すには「1画面」の  にタッチします。

- テレビ、ビデオ、DVD/DivX を選んでいる場合のみ子画面のサイズを変更することができます。
- 走行中は子画面のサイズを変更することはできません。
- ナビゲーションの操作をしやすいため、一時的にナビゲーション画面だけになる（1画面になる）ことがあります。
- ピクチャーインピクチャーの親画面と子画面の入れ替えはできません。

リアモニターを組み合わせる


本機のリアモニター出力端子に後部座席用モニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

→接続のしかたは『取付説明書』を参照してください。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、TV、DTV、ワンセグ、DVD、DivX、VTR、EXT1、EXT2の映像が表示されます。ナビゲーション、バックカメラ、AVソース画面の映像は表示されません。
- リアモニターは、走行中／停車中に関係なく映像が表示されます。

注意

- リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。
-  • リアモニター出力はコンポジット信号のため、リアモニターに表示される映像は、本機のモニターに表示される映像と比べて不鮮明になります。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

タッチパネルのタッチ位置を調整する

(タッチパネルキャリブレーション)

画面のタッチキーと実際に反応するタッチ位置にずれを感じたときなど、以下の方法で調整することができます。

注意

- 必ず付属のタッチパネル用調整ペンを使用し、画面に軽く触れてください。タッチパネルを強く押すとタッチパネルが破損することがあります。また、ボールペンやシャープペンなどの先の尖った物は使用しないでください。

- 調整には画面四隅で行う4点調整と、画面全体で詳細に行う16点調整があります。
- タッチパネル調整を途中で終了する場合は、**現在地**を押すか**V.ADJ**を長く押ししてください。ナビゲーション画面に戻ります。

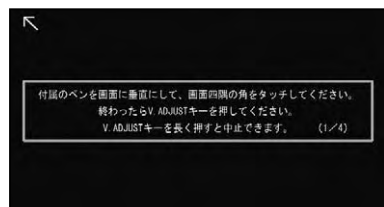
1 **V.ADJ**を押す

画質調整画面が表示されます。

2 **V.ADJ**を長く押す

タッチパネル調整画面が表示されます。

3 画面の四隅にタッチする



4 **V.ADJ**を押す

調整結果が保存されます。

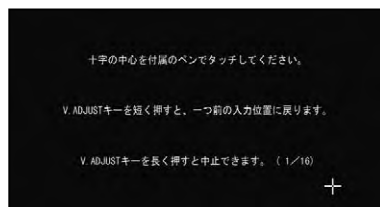
- 保存中はエンジンを切らないでください。
- 4点調整で終了する場合は、**V.ADJ**を長く押し、ナビゲーション画面に戻ります。

5 もう一度**V.ADJ**を押す

16点調整に進みます。

6 画面に表示される+マークの中心にタッチする

全てタッチすると調整結果が保存されます。



- 保存中はエンジンを切らないでください。
- 1つ前の調整に戻るには、**V.ADJ**を押してください。
- 調整を取り止めるには、**現在地**を押してください。

7 **V.ADJ**を長く押す

調整を終了し、ナビゲーション画面に戻ります。

- タッチパネル調整が正しく実施できない場合は、カスタマーサポートセンターにご相談ください。

付録

再生できるディスクの種類.....	144
DVD に表示されているマークの意味.....	145
ディスクの操作について.....	145
ディスクの構成について.....	146
DVD ビデオ.....	146
映画など.....	146
カラオケディスク.....	146
CD.....	146
WMA/MP3/AAC ディスクについて...147	
フォルダーと WMA/MP3 および AAC ファイルについて.....	147
WMA とは?.....	148
再生できる WMA ディスクについて.....	148
MP3 とは?.....	148
再生できる MP3 ディスクについて.....	148
AAC とは?.....	149
再生できる AAC ディスクについて.....	149
DivX とは?.....	149
Gracenote について.....	150
故障かな?と思ったら.....	151
共通項目.....	151
TV.....	152
FM/AM.....	152
DVD.....	153
CD、ROM (WMA/MP3/AAC).....	154
ミュージックサーバー.....	154
地上デジタルテレビ.....	155
ワンセグ.....	157
メッセージと対処方法.....	159
共通項目.....	159
DVD、CD、ROM (WMA/MP3/AAC).....	159
ミュージックサーバー.....	160
iPod.....	160
地上デジタルテレビ.....	160
ワンセグ.....	162
索引.....	163
メニュー索引.....	163
用語索引.....	166
五十音順.....	166
アルファベット順.....	167

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。本機は NTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ / 再生面
DVD ビデオ 	DVD ビデオ 12cm/ 片面 1 層 2 層
	12cm/ 両面 1 層 2 層
	DVD ビデオ 8cm/ 片面 1 層 2 層
	8cm/ 両面 1 層 2 層
CD 	CD 12cm/ 片面
	CD シングル 8cm/ 片面

本機で再生できるのは、上記に記載されているマークの付いたディスクのみです。



- DVD オーディオディスクは再生できません。
- DVD ビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVD ビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RW ディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されファイナライズされたもの、および WMA/MP3/AAC ファイルが収録されたものに限り、再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット（VR モード）で記録された DVD-RW ディスクは再生できません。
- ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録した DVD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-Extra は、音楽 CD として再生することができます。
- CDDA（Copy Control CD）は正式な CD 規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用 CD レコーダーで録音したもの以外の CD-R/RW ディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RW ディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R ディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていない CD-R/RW ディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCA（Double Density CD）形式で録音された CD-R/RW ディスクは再生できません。
- 音楽用 CD レコーダーで録音した音楽用 CD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC（パソコン）で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）
- CD-TEXT には対応していません。

ハイビジョン画質 (AVCHD 規格) で記録されたディスクについて






- 本機は、AVCHD 規格に非対応のため再生できません。
- ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD 規格で記録されたディスクは入れないでください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」の DVD の面は再生可能です。
- DVD 面ではないオーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

DVD に表示されているマークの意味

DVD ディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数
	字幕の数
	アングルの数
	画面サイズ (アスペクト比: 横と縦の比率) の種類
	再生可能な地域番号 (リージョン番号) 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ディスクの操作について

DVD では、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル / チャプターの構成上リPEATなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サービシング

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

ディスクの構成について

DVD ビデオ

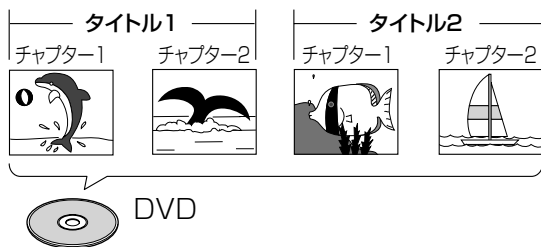
DVD ビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。


■映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

■カラオケディスク

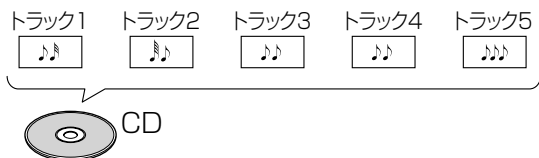
1曲が1タイトルとなっています。



 • 上記のような構成(区切りのしかた)になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

CD

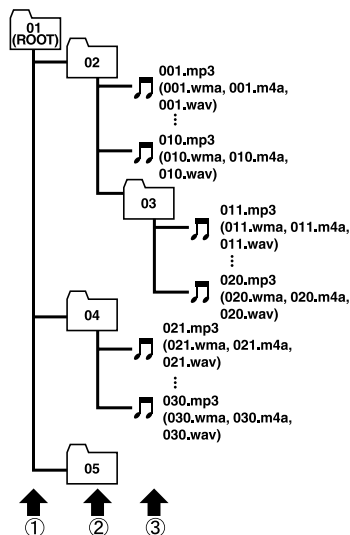
CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



WMA/MP3/AACディスクについて

フォルダーと WMA/MP3 および AAC ファイルについて

- WMA/MP3/AAC ファイルを収録した CD-R/CD-RW/CD-ROM のイメージは下図のようになります。



1階層 2階層 3階層

- 本機は WMA/MP3/AAC ファイルが記録された DVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW/CD-ROM (CD-ROM モードはモード1、モード2 (FORM1/FORM2) に対応) の再生に対応しています。ディスクは、ISO9660 のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3u のプレイリストには対応していません。

- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.wma, .mp3, .m4a) を含め、全角で16文字、半角で32文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は全角で16文字、半角で32文字までです。
- 拡張フォーマット (Romeo) に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から16文字、半角では先頭から32文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。



- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- DVD-R、DVD-RW、CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CD ディスクに WMA/MP3/AAC ファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、WMA/MP3/AAC ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り替えることができます。WMA/MP3/AAC ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り替えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- WMA/MP3/AAC ファイルを含まないフォルダーは認識しません (フォルダー番号の表示をせず、スキップします)。
- 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が255個まで再生可能です。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

WMA とは？

WMA とは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮方式です。

WMA データは、Windows Media Player Ver.7 以降を使用してエンコードすることができます。

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

■再生できる WMA ディスクについて

- WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子 (.wma) を付けしないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver7/7.1/8/9 を使用してエンコードした WMA ファイルを再生することができます。

- 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 8kHz ~ 48kHz です。
- 対応ビットレートは 5kbps ~ 320kbps です。VBR に対応しています。
- 下記形式には対応していません。
 - ・ Windows Media Audio 9 Professional (5.1 ch)
 - ・ Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - ・ Windows Media Audio 9 Voice

MP3 とは？

MP3 とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

■再生できる MP3 ディスクについて

- MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けしないでください。

- ID3 Tag の Ver1.0 および Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3 の album(ディスクタイトルとして表示)、title(トラックタイトルとして表示)、artist(アーティストとして表示)、genre(ジャンルとして表示)、year(発売年として表示)の表示に対応しています。
- 再生可能な MP3 ファイルの対応サンプリング周波数は、8kHz ~ 48kHz です。エンファシスに対応しています。
- 対応ビットレートは 8kbps ~ 320kbps です。VBR に対応しています。

AAC とは？

AACとは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

■再生できる AAC ディスクについて



- AAC ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.m4a) を付けてください。
 - 本機では、Ver. 4.6 以前の iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルの再生に対応しています。
 - 本機は、iTunes で作成された拡張子 (.m4a) が付いているファイルを AAC ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AAC ファイル以外には拡張子 (.m4a) を付けしないでください。
 - 画像データを含む AAC ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AAC ファイルをエンコードした iTunes のバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
 - 再生可能な AAC ファイルのサンプリング周波数は 8kHz ~ 48kHz です。
 - 対応ステレオビットレートは 8kbps ~ 320kbps です。
 - この製品は、下記の形式には対応していません。
 - * Apple Lossless

DivX とは？

- DivX® は、DivX, Inc. が開発したデジタルビデオフォーマットです。本機は DivX ビデオを再生する DivX® Certified 製品です。お持ちのファイルを DivX® ビデオフォーマットに変換するソフトウェアやその他の情報については、www.divx.com をご覧ください。
- DivX Certified® 製品で DivX® Video-on-Demand (VOD) のコンテンツを再生するには登録が必要です。登録コードの生成は、デバイスのセットアップメニューの DivX® VOD セクションで行います。登録が完了すると vod.divx.com にアクセスして DivX® VOD の詳しい内容を確認できます。
- 本機では、CD-R/RW/ROM、DVD-R/RW に記録された DivX® ファイルを再生できます。再生できる DivX コーディックバージョンについては、『スタートブック』の『仕様』のページをご覧ください。
- DivX Ultra には対応していません。
- この取扱説明書では、それぞれの DivX® ファイルを DVD にあわせて「タイトル」と呼びます。DivX® ファイルはタイトルのアルファベット順に再生されますので、ディスクに記録する際はタイトル名の付けかたにご注意ください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

概要

音楽認識技術と関連情報は Gracernote® 社によって提供されています。Gracernote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracernote® 社のホームページ www.gracernote.com をご覧ください。

特許及び商標

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracernote® により提供されます。Gracernote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次の Web サイトをご覧ください：www.gracernote.com Gracernote からの CD および音楽関連データ：Copyright(c)2000-2007 Gracernote. Gracernote Software: Copyright 2000-2007 Gracernote. この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数の実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許（#6,304,523）用に Open Globe, Inc. から提供されました。「Gracernote」および「CDDDB」は、Gracernote の登録商標です。Gracernote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracernote」ロゴは、Gracernote の商標です。Gracernote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください：www.gracernote.com/corporate。

Gracernote® エンドユーザー使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracernote, Inc.（以下「Gracernote」）のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracernote 社のソフトウェア（以下「Gracernote ソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracernote データ」）などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、または製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracernote サーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracernote データを使用することができます。

お客様は、Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、および Gracernote サーバーをお客様個人の非営利目的のみに使用することに同意するものとします。

お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracernote ソフトウェアや Gracernote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。

お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、または Gracernote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、および Gracernote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様

は Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、および Gracernote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracernote は、Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、および Gracernote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracernote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracernote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracernote として行使できることに同意するものとします。

Gracernote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracernote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracernote のサービスに関する Gracernote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracernote ソフトウェアと Gracernote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用許諾が行われるものとします。Gracernote は、Gracernote サーバーにおける全ての Gracernote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracernote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracernote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracernote ソフトウェアまたは Gracernote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracernote ソフトウェアまたは Gracernote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracernote は、Gracernote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracernote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracernote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracernote は、お客様による Gracernote ソフトウェアまたは任意の Gracernote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracernote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

©Gracernote 2006

Gracernote データについて

- 本機内蔵の Gracernote データ、専用サーバーの Gracernote データともに、データの内容を 100%保証するものではありません。
- 専用サーバーの Gracernote データは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。
- 専用サーバーによる Gracernote データの通信サービスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他のサービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なくその提供を中止することがあります。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

共通項目

症状	原因	処置
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。
映像が出ない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
	スタンバイ状態になっている。	スタンバイを解除してください。→『スタートブック』
モニターにナビゲーションの画像が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り替わっていない。	(NAVI/AV)で画面を切り替えてください。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整・設定してください。→「フェーダー/バランス」(P107, 114)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調整が適切でない。	
バックガイドモニターに切り替わらない。	バックカメラの設定が適切でない。	適切に設定してください。→『ナビゲーションブック』
画質調整ができない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	—

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

TV

症状	原因	処置
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 →「テレビを見る」(P19)、「地上デジタルテレビを見る」(P22, 32)、「ワンセグを見る」(P34)
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーション画面になっている。	(NAVI/AV) で画面を切り替えてください。

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。→「ラジオを聞く」(P16)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→「ラジオを聞く」(P16)

症状	原因	処置
再生できない。	PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーション画面になっている。	[NAVI/AV] で画面を切り替えてください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合があります。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイ(→P56)をONに設定してください。
オートプレイが正しく動作しない。	オートプレイが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合はオートプレイをOFFにして再生してください。→「オートプレイ」(P56)
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。→「視聴制限」(P56)
音声言語、字幕言語が切り替えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り替えられません。
	ディスクのメニューでしか切り替えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り替えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り替わりません。
アングルを切り替えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り替えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出る場合があります(故障ではありません)。
⓪(禁止マーク)が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	
画面が止まり、操作を受け付けられない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	■にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD、ROM (WMA/MP3/AAC)

症状	原因	処置
CD-R や CD-RW、CD-ROM を再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3/AAC ファイルを再生できない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録された WMA/MP3/AAC ファイルにしてください。
WMA/MP3/AAC ファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があていない。	ディスクを交換してください(WMA 形式でないファイルに「.wma」、MP3 形式でないファイルに「.mp3」、AAC 形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けた CD-ROM を再生しないでください)。
聞きたい WMA/MP3/AAC ファイルが見つからない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AAC ファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AAC ファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字(0102 など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

ミュージックサーバー

症状	原因	処置
CD が録音されていない。	CD の録音が中止された。	CD の録音には制限があります。 →「CD 録音の制限について」(P61)
プレイリストのタイトルに「CD - 日付 時刻」が表示されている。	タイトルが複数候補あったかタイトル情報が HDD に収録されていない。	タイトルの取得を行ってください。
プレイリストのタイトル情報が取得できない。	通信機器が接続されていない。	通信機器の接続を確認してください。
	通信接続設定が正しくされていない。	通信接続設定を行ってください。 →『ナビゲーションブック』
	ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。
	本機ハードディスク内のデータベースで複数のタイトル候補があった。	手動でタイトル情報を取得してください。→「タイトル情報を取得する」(P92)

地上デジタルテレビ

症状	原因	処置
ソースがDTVに切り替わらない。	地上デジタルTVチューナーのモードスイッチが、「STAND ALONE」になっている。(GEX-P09DTV/P07DTV/P9DTV/P7DTV)	地上デジタルTVチューナーのモードスイッチを「IP SOURCE」に切り替えてください。→『 地上デジタルTVチューナーの取扱説明書 』 ※「GEX-P09DTV/P07DTV」をお使いの場合は、「IP SOURCE(OSD OFF)」に切り替えます。
	地上デジタルTVチューナーにIP-BUSケーブルが接続されていない。 地上デジタルTVチューナーの電源コードが接続されていない。	IP-BUSケーブル、電源コードの接続を確認してください。→『 取付説明書 』
	地上デジタルTVチューナーのヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。→『 取付説明書 』
	ノイズなどが原因で地上デジタルTVチューナーのマイコンが誤動作している。	地上デジタルTVチューナーのリセットボタンを押してください。→『 スタートブック 』または『 地上デジタルTVチューナーの取扱説明書 』それでも解決しない場合は、車のバッテリーを一度外してください。
画面全部が単色になり、映像が表示されない。	コンポーネントケーブルが接続されていない。	コンポーネントケーブルの接続を確認してください。→『 取付説明書 』
音声が出ない。	地上デジタルTVチューナーのIP-BUSケーブルの接続先(IP-BUS INとOUT)が間違っている。	IP-BUSケーブルの接続先を確認してください。IP-BUSケーブルは、同じ色どうしを接続してください。→『 取付説明書 』
リスト画面にプリセット番号(P01～P12)、BAND、サービスクリップしか表示されない。 AVソースメニューに キャン しか表示されない。	地上デジタルTVチューナー「GEX-P7DTV」をお使いの場合：「GEX-P7DTV」の場合は、そのような表示になります。 地上デジタルTVチューナー「GEX-P09DTV/P07DTV」をお使いの場合：地上デジタルTVチューナーのモードスイッチが、「IP SOURCE(OSD ON)」に設定されている。	「地上デジタルテレビを見る(GEX-P7DTVを接続した場合)」(→P32)をご覧ください。本機から操作できない機能は、「GEX-P7DTV」に付属のリモコンで操作します。
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。	受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

マイナー機能

その他の機能

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

地上デジタルテレビ (つづき)

症状	原因	処置
受信できない。 「受信できません」というメッセージが表示される。 「チャンネルスキャンをしてください」というメッセージが表示される。	チャンネルスキャンをしていない。	初めて使うときやバッテリーを外したとき、地上デジタルTVチューナーのリセットボタンを押したとき、「視聴者設定クリア」(→P30)をしたときは、チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P28, P33)
	移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。	他の中継局(チャンネル)に切り替えてみてください。エリアプリセットで受信中は、受信可能な中継局を自動的に探して切り替えることができます。→「受信可能な中継局を探す」(P24)
	放送局(チャンネル)が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わった。	受信環境が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P28, P33)
	受信レベルが低下して、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。画面に「@ワンセグ切り替え可マーク」が表示されているときは、ワンセグ放送に切り替えできます。→「サービスを切り替える」(P25, P32)
	車両に電波シールドガラスが使われている。	外付けの地上デジタルTV用アンテナを使用してください。
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。	受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
メッセージが表示され、視聴ができない。	B-CASカードを挿入していない。	車のエンジンスイッチをOFFにしてからB-CASカードを挿入してください。→『スタートブック』または『地上デジタルTVチューナーの取扱説明書』
	地上デジタルTVチューナーが対応しない放送を視聴しようとしている。	地上デジタルTVチューナーは、以下の放送には対応していません。 <ul style="list-style-type: none"> 番組単位で購入できる有料放送(ペイ・パー・ビュー) 双方向通信を使うデータ放送 ワンセグのデータ放送 対応している放送に切り替えてください。

地上デジタルテレビ（つづき）

症状	原因	処置
データ放送画面に切り替えられない。 映像切替、音声切替、字幕切替 のタッチキーが薄く表示されていて、切り替えられない。	受信中の番組が、それらの情報を放送していない。	それらの情報を放送している番組で操作してください。
操作 タッチキーが表示されない。	AVIC-ZH009 の場合は、表示されません。	リモコンのモードスイッチを「DTV」に切り替えて、リモコンで操作してください。
画質が悪くなった。	ワンセグに切り替わっている。	ワンセグを通常放送に手で切り替えるときは、 サービス切替 にタッチします。(→ P25, P32)

ワンセグ

症状	原因	処置
ソースがワンセグに切り替わらない。	ワンセグチューナーにIP-BUSケーブルが接続されていない。 ワンセグチューナーの電源コードが接続されていない。	IP-BUSケーブル、電源コードの接続を確認してください。→『 取付説明書 』
	ワンセグチューナーのヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。→『 取付説明書 』
	ノイズなどが原因でワンセグチューナーのマイコンが誤動作している。	地上デジタルTVチューナーのリセットボタンを押してください。→『 ワンセグチューナーの取扱説明書 』 それでも解決しない場合は、車のバッテリーを一度外してください。
ワンセグ放送の映像が表示されない。	映像ケーブルが接続されていない。	映像ケーブルの接続を確認してください。→『 取付説明書 』
音声がでない。	ワンセグチューナーのIP-BUSケーブルの接続先（IP-BUS INとOUT）が間違っている。	IP-BUSケーブルの接続先を確認してください。IP-BUSケーブルは、同じ色どうしを接続してください。→『 取付説明書 』

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

ワンセグ (つづき)

症状	原因	処置
受信できない。 「受信確認中」というメッセージが常に表示される。 「受信できません」というメッセージが表示される。	チャンネルスキャンをしていない。	初めて使うときやバッテリーを外したとき、ワンセグチューナーのリセットボタンを押したときは、チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P36)
	移動により、受信中の中継局(チャンネル)の電波が弱くなった。	他の中継局(チャンネル)に切り替えてみてください。エリアプリセットで受信中は、受信可能な中継局を自動的に探して切り替えることができます。→「受信可能な中継局を探す」(P24)
	放送局(チャンネル)が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わった。	受信環境が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P36)
	受信レベルが低下して、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
	取付車両に電波シールドガラスが使われている。	外付けの地上デジタルTV用アンテナを使用してください。
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る。 コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。	受信状態が悪くなった場合などは、左記のようになります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
メッセージが表示され、視聴ができない。	ワンセグのデータ放送を視聴しようとしている。	ワンセグのデータ放送には対応していません。対応している放送に切り替えてください。
音声切替、字幕切替 のタッチキーが薄く表示されていて、切り替えられない。	受信中の番組が、それらの情報を放送していない。	それらの情報を放送している番組で操作してください。
画像が鮮明に映らない。	ワンセグ放送は、移動体型受信機器などの小さな画面(QVGA: 320 × 240画素または320 × 180画素)に向けた放送の為、通常の地上デジタル放送の画質と比べて粗く表示されます。	通常の地上デジタル放送の画質を楽しむには、別売の地上デジタルTVチューナーが必要です。

メッセージと対処方法

メッセージが表示されたときの原因と処置方法について説明します。

共通項目

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
Error-5 Error-6	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	リセットボタンを押してください。 →『スタートブック』
温度保護回路作動中	本機の内部温度に異常がある。	本機が正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。

DVD、CD、ROM (WMA/MP3/AAC)

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
Error-2	ディスクの読み取り状態に異常がある。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
再生できません。 ディスクを取り出して ください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
ディスクが入っていません。	ディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→「再生できるディスクの種類」(P144)
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出して ください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店またはサービスステーションにご相談ください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

ミュージックサーバー

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
このCDは録音できません。	CD-R などコピー禁止のディスクから録音しようとしている。	一般のCD など、コピー可能なディスクに交換してください。
低温のため HDD にデータが書き込めませんでした。	低温のため、データが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
ハードディスク容量不足のため、録音できません。	ハードディスクの残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。→「グループ内のプレイリストを消去する」(P85)、「プレイリストからトラックを消去する」(P89)
このトラックはすでに録音されています。	マニュアル録音モードで、録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは、同じCDから重複して録音できません。

iPod

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
ERROR	iPod が何らかの原因で再生できないとき。	iPod を本機から取り外し、iPod が問題なく動作していることを確認してから再度接続してください。

地上デジタルテレビ

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
受信できません	地上デジタル放送の電波を受信できない。	「故障かな?と思ったら」の「地上デジタルテレビ」の「受信できない」(→P156)をご覧ください。
スキャンを実行してください	選局用サービスリストにチャンネルが登録されていない。	チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)」(P28, P33)
チャンネルが登録されていません	プリセットチャンネルリストにチャンネルが登録されていない。	
サービスが登録されていません。電波状況の良い場所でスキャンをしてください。	サービスが登録されていない。	
このチャンネルは登録できません	ユーザープリセットにメモリーできないチャンネルを登録しようとした。	登録できるチャンネルを探して登録します。
現在、このサービスは視聴できません	放送 (サービス) としては存在するが、放送されていない。	—
映像情報がありません	音声のみの番組です。	—
有料放送につき事業者との契約が必要です	契約が必要な放送を選局している。	有料放送を見るときは、有料放送事業者との契約が必要です。有料放送事業者と契約をしてください。

地上デジタルテレビ (つづき)

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
有料放送です。本機では対応していません	地上デジタル TV チューナーが対応していない有料放送 (双方向通信を使うデータ連動放送、番組単位で購入できる有料放送 (ペイ・パー・ビュー)) を受信している。	地上デジタル TV チューナーが対応している放送に切り替えてください。
ダウンロード待機中	ダウンロード設定を「ON」にしたことによる、ダウンロードの待機を知らせるメッセージです。 ダウンロードが予定された時刻の 5 分前から、メッセージが表示されます。	5 分後に自動的にダウンロードを開始します。エンジンを切らずにそのままお待ちください。 →「ダウンロードの手順」(P31)
ダウンロードを正常に終了しました。ソフトウェアの更新を行うには再起動してください	ダウンロードが成功したことをお知らせするメッセージです。	指示に従って、地上デジタル TV チューナーを再起動します。 →「ダウンロードの手順」(P31)
ダウンロードに失敗しました	ダウンロードに失敗したことをお知らせするメッセージです。	「ダウンロードに失敗したとき」(→P31) をご覧ください。
DTV で高温を検出しました。保護のため停止中です。 HEAT (ERROR-12) HEAT (ERROR-13)	地上デジタル TV チューナーの内部温度が高くなった。	地上デジタル TV チューナーが、正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されないときは、設置場所に問題がないか確認してください。 →地上デジタル TV チューナーの取付説明書
アンテナ接続エラーの可能性あります。 ANTENNA (ERROR-20)	地上デジタル TV チューナーのアンテナに不具合がある。	地上デジタル TV チューナーのアンテナに不具合がないか確認してください。 →地上デジタル TV チューナーの取付説明書
地上デジタル TV チューナーに不具合が発生した可能性あります。 ERROR-11 (ERROR-11)	地上デジタル TV チューナーに不具合がある。	地上デジタル TV チューナーのリセットボタンを押してください。 →地上デジタル TV チューナーの取扱説明書
IC カードを正しく装着してください	B-CAS カードが装着されていない。 B-CAS カードが違う向きで装着されている。 B-CAS カード挿入口や B-CAS カードにゴミなどが付いている。	B-CAS カードが正しく装着されているか確認してください。 →『スタートブック』または『地上デジタル TV チューナーの取扱説明書』
この IC カードは使用できません	B-CAS 以外のカードを装着している。	B-CAS カードを装着してください。 →『スタートブック』または『地上デジタル TV チューナーの取扱説明書』
IC カードの交換が必要です	B-CAS カードが破損している。	B-CAS カードのカスタマーセンター (TEL: 0570-000250) に連絡して、B-CAS カードを交換してください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

メニュー操作

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

ワンセグ

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
サービスが登録されていません。電波状況の良い場所でスキャンをしてください。	サービスが登録されていない。	チャンネルスキャン (→ P36) を行ってください。
受信確認中 受信できません 受信可能なサービスがありません。	ワンセグ放送の電波を受信できない。	「故障かな?と思ったら」の「ワンセグ」-「受信できない」(→ P158) をご覧ください。
ワンセグで高温を検出しました。保護のため停止中です。 HEAT (ERROR-12) HEAT (ERROR-13)	ワンセグ チューナーの内部温度が高くなった。	ワンセグが、正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されないときは、設置場所に問題がないか確認してください。 →ワンセグチューナーの取付説明書
アンテナ接続エラーの可能性が あります。 ANTENNA (ERROR-20)	ワンセグチューナーのアンテナに不具合がある。	ワンセグチューナーのアンテナに不具合がないか確認してください。 →ワンセグチューナーの取付説明書
ワンセグチューナーに不具合が発生した可能性が あります。 ERROR-11 (ERROR-11)	ワンセグ チューナーに不具合がある。	ワンセグ チューナーのリセットボタンを押してください。 →ワンセグチューナーの取扱説明書

索引

メニュー索引

CD/ROM

- (メニュー) ▶ **リピート** → P42
- スキャン** → P43
- ランダム** → P42
- CD切替** → P44
- ROM切替** → P44
- DivX切替** → P44
- サーチモード** → P43
- オーディオ設定** → P106
- システム設定** → P128
- スケジューラー** → P134

FM/AM

- (メニュー) ▶ **BAND** → P17
- BSM** → P17
- オーディオ設定** → P106
- システム設定** → P128
- スケジューラー** → P134

テレビ

- (メニュー) ▶ **BAND** → P20
- 音声多重** → P20
- BSSM** → P20
- リスト小/リスト大** → P21
- オーディオ設定** → P106
- システム設定** → P128
- スケジューラー** → P134

地上デジタルテレビ

- (メニュー) ▶ **BAND** → P23
- アイコン一覧** → P22
- 操作タッチキー** → P23
- 番組表** → P24
- 裏番組表** → P25
- スキャン** → P28
- リスト小/リスト大** → P28
- 機能設定** → P28
- オーディオ設定** → P106
- システム設定** → P128
- スケジューラー** → P134

地上デジタルテレビ (GEX-P7DTVと接続した場合)

- (メニュー) ▶ **BAND** → P32
- スキャン** → P33
- オーディオ設定** → P106
- システム設定** → P128
- スケジューラー** → P134

ワンセグ (AVIC-ZH099)

- (メニュー) ▶ **BAND** → P36
- アイコン一覧** → P34
- 操作タッチキー** → P34
- 番組情報** → P35
- スキャン** → P36
- リスト小/リスト大** → P37
- オーディオ設定** → P106
- システム設定** → P128
- スケジューラー** → P134

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

DVD/DivX

- (メニュー) ▶ **リピート** → P53
- L/R 切替** → P53
- CD 切替** → P54
- ROM 切替** → P54
- DVD 初期設定** → **基本字幕** → P55
- オーディオ設定** → P106
- システム設定** → P128
- スケジューラー** → P134
- 基本音声** → P55
- メニュー言語** → P55
- アシスト字幕** → P55
- マルチアングル** → P56
- テレビアスペクト** → P56
- 視聴制限** → P56
- オートプレイ** → P56

MSV

- (メニュー) ▶ **リピート** → P67
- ダイジェスト** → P68
- ランダム** → P68
- 通常再生** → P71, 76, 80
- ヒットチャートプレイ** → P69
- フィーリングプレイ** → P74
- リンクゲートプレイ** → P79
- 編集** → **グループの編集** → P84
- オーディオ設定** → P106
- システム設定** → P128
- スケジューラー** → P134
- プレイリストの編集** → P86
- トラックの編集** → P90
- タイトル情報取得** → P92

オーディオ設定

- ▼
- 2チャンネル** → **フェーダー/バランス** → P107
- マルチチャンネル**
 - **ソースレベルアジャスター** → P107
 - デジタルダイレクト** → P108
 - ダイナミックレンジコントロール** → P108
 - ダウンMIX** → P108
 - オートサウンドセッティング** → P109
 - 詳細設定** → **グラフィックイコライザー** → P109
 - **フェーダー/バランス** → P114
 - ソースレベルアジャスター** → P114
 - デジタルダイレクト** → P114
 - Dolby Pro Logic II** → P115
 - Neo:6** → P116
 - ダイナミックレンジコントロール** → P117
 - ダウンMIX** → P117
 - オートサウンドセッティング** → P117
 - 詳細設定** → **リスニングポジション** → P110
 - スピーカー設定** → P111
 - カットオフ** → P112
 - タイムアライメント** → P112
 - スピーカー出力レベル** → P113
 - オートイコライザー** → P114
 - **パラメトリックイコライザー** → P118
 - リスニングポジション** → P119
 - スピーカー設定** → P120
 - カットオフ** → P121
 - タイムアライメント** → P121
 - スピーカー出力レベル** → P122
 - オートイコライザー** → P123

システム設定 → **AUTO TA&EQ** → P128
デジタルアッテネーター → P128
録音設定 → P128
消音設定 → P128
ワイドモード → P129
AV入力設定 → P129
ガイド/ハンズフリー SP 設定 → P130
オーディオ設定リセット → P130
オートアンテナ・ACC電源連動 → P130
光デジタル入力設定 → P131
DivX VOD コード → P131

スケジューラー → **新規作成** → P134
設定済み予約編集 → P136
設定済み予約消去 → P136

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

■五十音順

- あ行** 明るさ 138
 アシスト字幕 55
 アーティストグループ 65
 アングル 52
 アングル選択マーク 52
 暗証番号 56
 イコライザー
 オートイコライザー 114, 123
 グラフィックイコライザー 109
 パラメトリックイコライザー 118
 色合い 138
 色の濃さ 138
 エクスターナルユニット 102
 エリアプリセット 16, 19, 23, 35
 エンファシス 148
 オーディオ設定画面 106
 オーディオ設定リセット 130
 オート (ワイドモード) 139
 オートイコライザー 114, 123
 オートサウンドセッティング 109, 117
 オートプレイ 56
 音場 124
 音声言語 52, 55
 音声多重放送 20
- か行** ガイド/ハンズフリー SP 設定 130
 外部機器 104
 画質 138
 画像 88
 基本音声 55
 基本字幕 55
 グラフィックイコライザー 109
 グループリスト 65
 黒の濃さ 138
 言語コード表 57
 交通情報 18
 コマ送り 48
 コントラスト 138
- さ行** 再生順変更 85
 サウンドセッティング (詳細設定) 109, 117
 サーチモード 43
 システム設定画面 128
 視聴制限 56
 シネマ 139
 字幕言語 51, 55
- ジャスト 139
 ジャンル 88
 主音声 20
 消音タイミング 129
 消音レベル 129
 詳細情報 41, 66, 84, 87
 情報取得 92
 初期設定 10, 55
 シングル 62
 スキャン再生 43, 99
 スケジューラー
 → AV スケジューラー 134
 ズーム 139
 スロー再生 48
 静止画 48
 操作タッチキー 46
 ソース 12
 ソースメニュー 10
 ソースレベルアジャスター 107, 114
- た行** ダイジェストスキャン再生 68
 タイトル 61
 タイトル情報 92
 ダイナミックレンジコントロール 108, 117
 ダイレクトサーチ 51
 ダウン MIX 108, 117
 タッチパネルキャリブレーション 142
 地上デジタルテレビ 22, 32
 チャプター 48, 146
 ディスクメニュー 47
 デジタルアッテネーター 128
 デジタルダイレクト 108, 114
 テレビ 19
 テレビアスペクト 56
 トラックリスト 75
- な行** ノーマル 139
- は行** バックカメラ 129
 早送り 40, 43, 48, 49
 早戻し 40, 43, 48, 49
 バレンタルロック → 視聴制限 56
 バンド 17, 20, 23, 32, 36, 119
 ヒットチャートプレイ 69
 ファイナライズ 144
 フィーリングプレイ 74
 フェーダー/バランス 107, 114
 フォルダー 40, 41, 43, 50, 147
 副音声 20, 26, 36
 ブックマーク 49

プリセット	
エリアプリセット	16, 19, 23, 35
ユーザープリセット	16, 19, 23, 35
フル	139
プレイリスト	65
プレイリスト詳細情報画面	87
ポジション → リスニングポジション	110, 119
ポーズ / 再生	41
ま行	
マルチ CD	98
マルチアングル	52, 56
マルチ音声	52, 55
マルチ字幕	51
マルチセッション	147
ミックス CD	44
ミュージックサーバー	60
メニュー言語	55
メモリーデバイス	94
や行	
ユーザープリセット	16, 19, 23, 35
ら行	
ラジオ	16
ランダム再生	42, 68, 99
リアモニター	141
リージョン番号	145
リスニングポジション	110, 119
リターン再生	52
リピート再生	42, 53, 67, 99
リンクゲートプレイ	79
連続複製防止システム	61
録音	61
録音設定	63
録音モード	63
わ行	
ワイド画面	138
ワイドモード	139
ワンセグ	34
ワンセグ放送	34

■アルファベット順

A	AAC	41, 147, 149
	AM	16
	AUTO (ワイドモード)	139
	AUTO TA&EQ	124
	AUX → 外部機器	104, 129
	AV 初期設定	10
	AV スケジューラー	134
	AV 入力設定	129
B	BSM	17
	BSSM	20
C	CCCD	144
	CD	40, 144
	CD-DA	147
	CD TEXT	98
	CHAPTER REPEAT	53
	CINEMA	139
D	DDCD	144
	DISC REPEAT	42, 53, 99
	DivX	131, 149
	Dolby Pro Logic II	115
F	FILE REPEAT	53
	FM	16
	FOLDER REPEAT	42, 53
	FULL	139
G	Gracenote	150
	GROUP REPEAT	67
I	ID3 Tag	41, 148
	iPod	96
	ISO9660	147
	ITS	100
J	Joliet	147
	JUST	139
M	m3u	147
	MAGAZINE REPEAT	99
	MP3	41, 147, 148
	MSV → ミュージックサーバー	60
N	Neo: 6	116
	NORMAL	139

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付録

P	PinP	140
	PLAYLIST REPEAT	67
	PsideP	139
R	ROM	41
	Romeo	147
S	SCMS → 連続複製防止システム	61
	SRC	12
T	TITLE REPEAT	53
	TRACK REPEAT	42, 67, 99
W	WMA	41, 147, 148
Z	ZOOM	139

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

その他の機器

オーディオ設定

システム設定

その他の機能

付
録



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる **☎**フリーコール および **☎**フリーコール および **☎**フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなどからはご使用になれません。また、**☎**【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

●カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話：**☎** **0120-944-111** 【一般電話】 **044-572-8101** FAX：**044-572-8103**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内お客様登録など

●カーナビゲーションのネットワーク接続(携帯電話、Bluetooth接続は除く)

電話：**☎** **0120-702-383** 【一般電話】 **044-572-8070** FAX：**044-572-8103**

カーナビゲーション「訪問宅電話番号検索機能」に関するご相談窓口

「訪問宅電話番号検索機能」に関する個人情報の削除等の受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話：**☎** **0120-817-088**

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名、②ご購入日、③故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口(沖縄県を除く全国)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話：**☎** **0120-5-81028** 【一般電話】 **044-572-8100** FAX：**☎** **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービス認定店(沖縄県のみ)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話：**【一般電話】 098-987-1120** FAX：**098-987-1121**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品(付属品/リモコン/取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話：**☎** **0120-5-81095** 【一般電話】 **044-572-8107** FAX：**☎** **0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.039

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社 2010

< KAMFF > < 10F00000 > < CRA4393-A >